愛國婦人會機關

愛國婦人

每月十日廿五日發行

（定價）一枚金錢五厘一ヶ月分七錢　三ヶ月貳拾壹錢半年分四拾貳錢壹ヶ年分八拾四錢全國無遞送料郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割增
廣告料五號活字一行四拾錢

發行所　東京市麴町區下二番町三十七番地大日本女學會內　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

社說

偶感

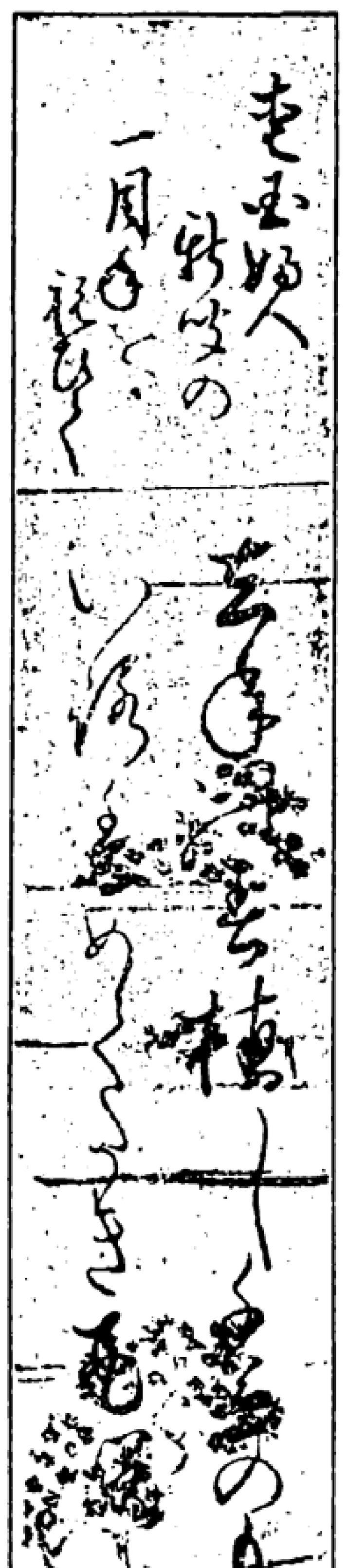
人によって好惡が違ふから、自分には面白い事と思うとも、人には一向趣味が無いかも知れぬ。社交の花たる婦人は此點に深く注意が入ると思ふ。佛蘭西のセクレイといふ詩人の話に『嘗て自分は詩が出來ると、逢ふ人毎に讀み聞かせて居ッた。所が友人の某詩人が、亦近來詩が出來ると來訪して自分に讀み聞かせる。隨分出來の良い詩でも、半ば過ぎまで讀み聞かされると、飽が來て厭になる。其處で自ら省みて其後詩を人に讀み聞かすとを一切止めにした』といふとがある。詩人同志でさへもさうであるから、文學趣味のない人は、如何に迷惑を感じるかも知れない。自分の面白く感じる事は、誰も面白がるであらうと速斷するは、大なる誤りである。

又自分が其趣味を解せずして、人のする事を、一概につまらぬ事と速斷するのも大間違である。德川家康の遺訓に『予は兵馬倥偬の間に人となッたので、若年の頃から、碁など弄ぶ暇がなかッて、擲方を知らず、常に碁を圍む人を見ては、無下に痴漢と思うて居ッた。然るに老年に及んで徒然なまゝに、圍み始めて見ると、中々面白いものである、殊に無聊を慰めるには極めて良い遊戲である。由て思ふに、何事でも、自ら究めずに他人のする事を見て非難するのは、所謂不食嫌で、大きな僻事であるから、愼まねばならぬ。』といふ意味の事がある。實に世の中には、斯樣な僻事が多い。洋學者は漢學者を迂儒と嘲り、漢學者は洋學者を高襟と笑ひ、佛教家は耶蘇教を外道と謗り、耶蘇信者は佛敎を惡魔と罵るなど、其例は枚擧に遑がない程澤山にあらう。世の中に成立ッて居る以上は、何事に限らず、理窟を備へて居らぬものはない筈であるから、左樣に一概に非難すべきものではない。たま〳〵書を讀んで感じたから、玆にしるして、我が親愛なる會員方の同感を求める。

◎風俗改良に付て

伯爵　板垣退助

○我國の進歩は總ての點に於て著しく發達して居るが、只社會改良の點は實に調うて居らぬ。之を外人が評して日本人は裸にフロックコートを着て居ると云ふが之は適評である○日本は今や外國に對し國と國との交りは對等に出來ても、人民と人民との交りは對等に出來ぬ有樣である○近來の政海の腐敗は見るに忍びぬが、其原因はつまり選擧が眞正に行はれぬからである、金の爲には政黨主義、人物の如何は顧みずして選擧する結果である。○實業の不振も社會の信用が發達せぬからである。信用なき處には取引が止まり、金融が付かぬも當然である、之を救濟するには矢張り社會から改良せねばならぬ○學校敎育は如何によく行き屆いて居ても、學校以外の教育即ち社會教育が盛に行はれぬ時は、教育の目的は達せられぬのである○社會改良風俗改良は如何にすれば行はれるかと云ふに、輿論を作ッて世の風潮を制せねばならぬ。之を制せんとするには、最も通俗で入り易き事より始めねばならぬ○風俗の問題は人の內心の關係よりも、外形の關係である。心の改良よりは形の改良である。心がよくば形はどうでもよいと云ふ譯に往かぬ。道德が盛なればとて、それで直ちに風俗が改良せらるゝとはいかぬ○風俗改良を道德の方面より行ふとするはむつかしい事である。道德のみで往けば政事はいらぬ。政事は外形に顯はれた行爲を、法律によッて制するのであるが、法律以外に社會の制裁力を以て或點迄は改良せねばならぬ○今日日本の社會の有樣はどうであるか、英國人などか吾野卑な風俗を見たらどうであらうか、決して日本人と相親まぬであらう。相親まねば信用も生ぜぬ、實業も發達せぬ譯である○日本人の不謹愼な事は、內地のみならず、外國に迄往ッて行うて居る。支那朝鮮あたりでも頗る亂暴である。如何に外交が巧妙であッても、後から人民が之を破壞して往ッては、國運を發展せしむる事は出來ぬ○日本人も今日では交際の範圍が昔とは余程異なッて來た。只命令に服從するのみでない、自治の民である外國人と、對等の交際をせねばならぬから、海外の事もよく審かにして、國家の汚辱とならぬ事をばよく心懸けねばならぬ○日本婦人が一寸他人を訪問するにも、土產物を携へねばならぬと云ふ如きは、交際の狹い證據で、之れ等は斷して廢せねばならぬ○年頭歲暮の僅なる贈物の如きも虛禮に近い、自分の贈たものが又轉々して自分の處へ戻るが如き事は赤面すべき風俗である○風俗に大關係を有するは行住坐臥で衣服家屋が改良すべき重なる點であるが、日本人の端座の制は足利の二三代頃より出來たものである西洋人が日本人は足の短い人種であると云ふが之は端坐の結果である、之は直ちに椅子にかけると迄は往かずとも、箕踞位には改良したいものである○日本の衣服は唐の制度を採用したもので、始めは公卿が用ゐて武家は用ゐぬ。歷史にも長袖者流何んぞ兵を知らんと云ふ事がある。處が德川時代より長袖の人となッて平民まで行はれる事になッた○袖か勞働の爲に不便な事は明かである。勞働は神聖である。神聖なる勞働の爲には最も便利なる衣服を作らねばならぬ○日本の下等社會の言葉に一はだぬがふかと云ふ言葉がある。之は即ち袖の不便を證して余りある言葉である○婦人服にも實用的と美術的のものとを選ばねばならぬ。京都の大原女などの服は便利で且つ美術的であるが東北地方の股引は、餘り極端であると思ふ。要は其中庸を採るにありだ○日本の家屋には疊が敷いてある。これはごろ〳〵して寢るには便利であるが、起ッて働くには不便である。それで一寸した事にも人を使ふ樣になる。衣服も之に準して二樣に用ゐて外所往きには着替る。之に反して洋服ならば應接も心安い○上流社會に至ると洋館と日本室とを作り、衣服も洋服と日本服とを作るなどは甚だ不經濟な譯である○如此云へば夫れなら妙案を立てゝ貰ひたいと云ふ人もあらうが、我々が別に立案するにも及ばぬ。兩陛下は畏くも既に其例を御示しになッて居る依て上流社會より段々其例にならうて變更せねばならぬ。其變更方法も日本の歷史を鑑みて、長短取捨せねばならぬ。三千年來の風俗にして、其善良なるものは保存せねばならぬ。



評議員棚橋絢子筆

京都支部第二回大會の盛會をよほきて
京都　會員　花輪余志野子

赤心の花とさきたるこのまとゐ
　いよ〳〵さかりになるぞうれしき

愛國婦人の社說を見る度毎に感ずるの
あまり

見む人よ永久にわすれそ此文の
　世にをしへたる花の言の葉

閑院宮妃殿下を總裁に頂きたりと聞て
長崎　會員　式守澄江子

いや高き富士をあふぎて今日よりは
　裾野の松も千代にさかえん

閑院宮妃殿下の總裁にならせ給ふをか
しこみまつりて
宮城　會員　山田さと子

大御代に盡させ給ふみこゝろを
　あふぎまつるもかしこかりけり

雲井より移らせ給ふ姫ゆりを
　千代のかざしと仰ぎまつらん

宮城縣支部第一回總會のまとひにつら
なりて
宮城縣副幹事長　錦戸順子

眞心のちかひてなれるけふとて
　さかえゆく世の末ぞうれしき

朝日子の惠の露のかゝらずは
　老木のうめはにほはさらまし

電話番町壹千三百三十番

◎本號には附錄として評議員山內侯爵夫人同鴻池夫人同一ノ瀨夫人の肖像附錄を添へたり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論説

◎音樂談

東京音樂學校教授　幸田幸子談話

孃は郡司大尉幸田露伴及び幸田延子諸氏の令妹なり。夙に音樂に志し音樂學校卒業後選ばれて獨乙留學を命せられ、業成りて此程歸朝し、去にし一日同校春期演奏會に於て各内親王殿下の御前に其獨特の技を演じて、各殿下及び斯道の達人として自ら任ずる各教授諸氏の喝采を博せられたり、本篇は同孃を訪問して、得たる談話の要領なり、聽誤りの責は記者にあり。

私が獨乙の伯林に留學致して居りましたのは僅に三年餘りで、同地の音樂專門學校で研究し、此程歸朝致して未だ日もありませぬから、十分の御話は出來ませぬが、始め學校への入學試驗はなか〳〵むづかしい方でありましたが、幸に入學を許されまして、同校の教授ヨアヒム氏に就て專らヴァイオリンを研究致しました。始めの程はピアノも兼修して居りましたが、後にはヴァイオリンばかり習ふ事に致しました。私の入學しました學校の生徒の重なる目的は、技術家として世に立たんとするものが多數で、中には教員となる目的のものもありましたが、獨乙は流石音樂の本場だけありまして、世界各國の人が入り込んで居ります。日本よりも、私の外に某と云ふ婦人が一人入學して居りました。獨乙の音樂が盛な事は非常なものて、中等以上の家庭にはピアノの一臺位備へ付けてない家は無い位であります、特に家庭に於ての音樂が盛でありまして、家内一同晩餐を濟ました後は、老幼となく集まッて、音樂を奏して遊ぶと云ふ有樣で、之が爲に家庭も融和して、十分に家の内で快樂を取ることが出來ます。又晩餐等に友人などを招きますと、來客の方から譜本などを携へて來て、音樂を奏して家内のものに聞かすと云ふ樣な風で、子供なども亦之に和して歌ふと云ふ有樣であります。交際と音樂とは常に相伴ふものゝ樣になッて居りまして、中等社會以上のものは、男女に拘はらず音樂が出來ないものはありませぬ。よし音樂が出來ぬにしても、音樂の嗜好のないものはありませぬ。第一交際場裏に於ける話の種としても、音樂の事を知らぬと手持無沙汰であッて、趣味深き交際は出來ぬと云ふ有樣です。夫れてありますから、社會の好みが音樂界に向ひ、總ての會合遊技などには必ず音樂が伴なッて居ります。社會も音樂家を中々優待して居りまして、有名な人になりますと、政府より勳章を貰ッたり、位階を貰ッたり致します。又獨乙の宮中には立派なる音樂隊が組織されてあります。ヲペラへ出る音樂家などは中々高名な人で、音樂會は中々盛んに行はれ、其種類も多くて、大概毎晩ある位であります。獨乙皇帝陛下及び皇后陛下の御前で、私が彈いたかとの事ですか……左樣一度あります夫れは或る女學校の開校式へ御臨場の際てありましたが、其時には一同と一緒に彈きました。私が獨乙で箏を彈た事ですか……夫れは同地の博物館に於て、各國からの樂器が出品せられ、東洋からも日本支那の樂器もありましたが、其中に日本の箏がありまして、之を說明する委員の方から私に彈いて呉れとの御依賴でありましたから、昔し習ひ覺えの一曲を其席で彈じ、日本の箏といふものはどう云ふ音が出るかを知した迄であります。

學校と音樂との關係の事は、よく調べて居りませんが、小學校時代では唱歌が余程よく行渡つて居る樣に思ひます、上流社會になりますと、家庭に音樂教師を傭ひ入れて子弟に習はすのもあります、何しろ一般に音樂が盛んでありますから、幼少の時から何時となく自然に聞き覺えて、音樂的趣味を解するやうであります。日本へ歸つて見ますと僅の年月の間に中々音樂界も盛んになつた樣です、音樂會を開く度毎に、多くの聽衆が堂に充つると云ふの有樣を見ても、一般に社會の人が音樂を嗜む樣に至つた事も知れます。併し私の見た處では、音樂會に集まる人々が悉く音樂を理解し、面白く愉快に聞く人であるか、或は此度は誰が演奏するとか、誰が往くから自分も往と云ふ風に、聞くよりは見に來る人が多くあるのではないか、其邊の處はまだ日も淺し、確かと知れませんが、學校のコーラスなどは以前に比べると餘程進歩して居ると云ふ事は確かに認むる次第であります。日本の音樂會では兎角歐州に流行して居る樂曲などを其儘持つて來て演奏致しますから、始めて聞く人や素人の方には耳が慣れて居りませぬから聞き難うて、折角の面白い處も聞き逃がして仕舞ふと云ふ恐れがあります。之は聞く人の程度に應じて、段々に簡單なものより複雜なものに移ると云ふ有樣でなくてはなりませぬ。つまり聞く人と彈く人との意氣相投ずる樣に仕組まねばならぬ事と思ひます。夫れでありますから折角苦心して彈かれる曲も聞く人には何だかさッぱり分らぬといふ風では斯界の進歩もむつかしい事と思ひます。私は日本に歸りまして、未だ日も淺うありますし、音樂界の觀察も屆きませず、又音樂を普及せしむる方法等についても、別段大した考へを以て歸つた譯でもありませぬから、御話しの材料が少くて御氣の毒であります。

◎衣食住と體育との關係

女子高等師範學校教授　井口あくり子

○米國の婦人は概して交際し易い。何事にても、打解けて話をする。日本婦人は之に反して打解け難く、天眞爛熳と云ふ樣な交際は出來ない○米國の婦人は快闊と進取の氣象に富んで居る。新智識を得んとする心掛は老ても衰へない。之は體育を重ずる結果、身體が健なのに起因するのだらうと思ふ○米國の婦人は少し氣分でも惡い時は散歩するとか運動するとかして、頭を爽にし氣を快闊に持つ、之に反して日本婦人は一室に垂籠て仕舞ふ流儀であるから、自から身體か惡くなる道理である。

○服裝改良の說は近來やかましいが筒袖が高等女學校以上の學校に行なはれて居らぬのは缺點である。何故行はれぬかと聞くと、只見ともないと云ふので之が身體のため利益であるとの考へは一もない、女學校に海老茶袴は流行して居るが、之は今日では一の見榮の爲に我れも〳〵と着るやうになつた爲、種々な惡評さへ受けるに至つたのは流行の弊であります○日本の婦人は衣服に甚だ金を掛けて居る。歐洲の婦人と比べると餘り贅澤て、歐洲では一年に衣服を一二度も新調する樣な事は決してない○殊に小兒の內から、衣服を幾枚も持つて居るのは日本に限ると思はれる、他國では夏冬大概一枚位のものである○歐洲人は食物に比較的多くの金を掛ける。三度とも肉食と云ふ有樣であるから壯健である。日本では衣類に金を掛けて重いものを着て身體をつからし其上によき食物を食はない、是て以て壯健なる國民が出來る譯がない○特に日本に於て父兄教師の注意すべき事は小兒の學校辨當が至つて少い事である。何故かと聞くと是れも少いのを持て行くを一の見榮の樣にして大な辨當を持つて往けば大食ひとそしられるとの事であるが之は間違ひである、少食して永く勉强する力が續く道理がない○日本人は小い上に脚部か短いか爲に、殊に少さく見える、之れは小供の時より端坐するので脚部の營養不良の結果である。之は日本の家屋の造り方にもよるのであるから之も早晚改良すべきものである○日本婦人の足が内輪に曲つて居るは、端坐の爲であつて端坐は天然の形さへ變更する恐るべきものである○以上種々なる缺點は世間多くの人は知つて居つても中々改良が出來ぬ。其次第は要するに金がないからである、併し金がないからとて、出來ぬ事はない。安價な机と椅子とを一つ宛求めても端坐の弊を廢する事が出來るではありませぬか○今日では日本婦人は美術なり文學なりを以て樂しみとして居るが、今後は少し運動の方面を熾んにして、運動によつて氣を快闊にし、精神を慰める事を計るやうにしたいものである。

◎男女早婚一覽表

(前號早婚及び晩婚の話參照)

統計局審査官　呉文聰

府縣	結婚組數	結婚毎百早婚 夫十九歲まで	結婚毎百早婚 妻十七歲まで
青森	五、〇八一	一八、〇五	四〇、四四
岩手	四、八二八	二四、一九	四〇、一八
秋田	五、四三五	一四、四一	三七、六八
山形	六、九三四	一三、七〇	二二、五五
宮城	六、二八四	一二、五七	二五、九四
福島	六、九二九	一六、八四	一九、七〇
新潟	一五、三一三	一一、七四	一五、〇一
富山	五、七四〇	六、三一	二四、三二
石川	五、三八三	五、六三	一〇、六七
福井	四、六八四	七、七一	一六、一六
栃木	五、五七二	一四、〇一	一二、一七
茨城	七、二七一	一二、七九	一三、四五
群馬	五、八六九	一四、三五	一一、〇一
埼玉	九、二〇七	一二、七〇	一〇、三八
千葉	八、九二六	一三、六七	一六、六六
東京	一三、一三三	二、九八	九、一一
神奈川	六、二八四	三、五八	八、六二
長野	六、四八九	六、六七	一二、〇二
山梨	三、五九九	六、五六	八、三八
靜岡	九、一九〇	一〇、〇二	二〇、九八
愛知	一〇、三四二	五、六七	一三、四四
岐阜	六、四八九	四、二五	一二、六八
滋賀	四、四九八	三、八九	七、八三
三重	六、三〇〇	六、一三	一一、二七
和歌山	四、三六七	四、一四	八、八四
奈良	三、〇〇一	五、七五	六、八〇
京都	六、一四八	二、九一	九、七四
大阪	八、七三二	三、二九	八、〇九
兵庫	一〇、一五九	五、一九	一一、九〇
鳥取	二、四二九	一一、四〇	一四、一二
島根	四、〇五一	七、一六	一三、八〇
岡山	六、〇七三	七、〇八	一二、九二
廣島	八、六二二	七、四〇	一五、五四
山口	七、〇八一	四、四一	一二、九二
香川	四、一八七	六、三五	一一、九七
德島	四、一五五	八、七八	一一、八四
愛媛	六、二七二	四、九三	一四、二九
高知	三、五六九	七、六五	一九、三一
長崎	四、七三一	五、五八	一一、五〇
福岡	九、一一三	四、二一	一一、〇七
大分	四、九〇五	五、七一	一二、四二
佐賀	三、九四一	五、一〇	九、五二
熊本	六、八八四	三、九五	七、七九
宮崎	二、四二四	七、六五	一二、六二
鹿兒島	五、九二三	三、四四	七、〇七
北海道	六、三一五	六、一三	一八、七八
沖繩	二、四九五	一六、五二	七、六二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人傳

松尾多世子の傳（承前）

評議員　下田歌子

斯くて、四方勤王の士雲のごとく起りて、皇家の御稜威をかゝげ、武臣の專横をおさへんと呼はるゝ聲の次第々々に、高く且つ多く成りもて行くまゝに久しく廢滅に歸したりし、行幸の通も辛うじて開け初めたり。名は尊嚴に借りて、其實は實權を奪ひ、畏くも一天萬乘の君は、ひとへに座敷牢獄にとらへ置き奉りしが如くなし申しゝかば廣くもあらぬ　皇居のなかにおぼすに適はぬ世を明し暮らさせ給ひ、みじめの内なる比叡、愛宕の高峯にまよふ浮雲も我が世の外のものとのみ、打ち眺め在しましけんを、いと珍らかにも裝ひたつる鳳輦の御簾のすき影、むかしに還る色もめでたし。さて文久三年といふとしの春三月　天皇加茂の御社に行幸ましけるほど、洛中洛外、さゞめき渡りて、近國の民とも、恰も蟻の甘きにつくがごとく、寄り集ひて立ちこみたるさま、まことに立錐の地も無しとは、それをこそ云ふらめと覺えて、夥しといふもおろかなり。多世女、この盛典をつたへ承りて、そゞろに感涙にむせびつゝ、

君と臣と道をたゞすの神垣に、いてましの世となるぞうれしき。

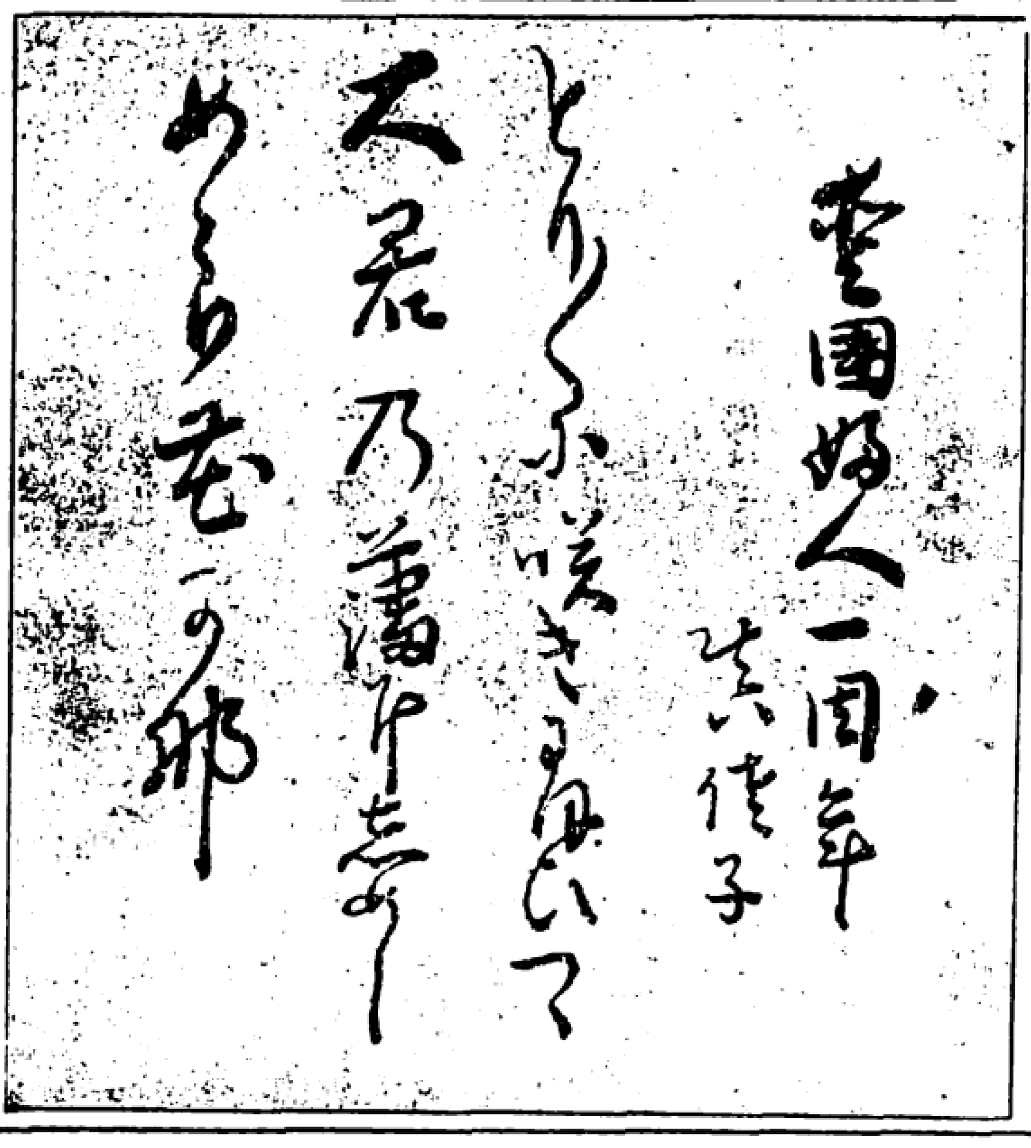
とぞうたひたりける。

さるほどに諸國の有志遠く長洲侯が、勤王の志深く且つ士を愛するの情厚きよしを傳聞きて、或は藩を脫し、或は衛りを遁れて、爰に來り集まる者、日に月に多きを加へぬ。斯かりしかば、中には尊王攘夷に借りて、其實已れが口を糊せんとするあり、又は憂國志士の形を眞似て竊かに幕府の探偵をつとむるの徒あり。殊に斯く亂を胎める世のたゞすまひ、昨日は無二の味方と賴みつる人も、今日は忽ちにして敵となり、始めて千尋なす巖り撼かし難き心ぞと信じたりしも、終には柔軟なる綿のごと化し去るも、亦少しとせず。されは死を誓ひ、規律を固くして結べる中の友垣も、狐疑猜忌の念やむ時なく、いと淺間しき世の形態とは成りにたりけり。是故に多世女は常にその潜中に潜伏せる人々の言語擧動にも、子細に能く心をとゞめて、時々そが馬脚を見あらはし、竊かに同士の人に告げて、禍を未發に防ぎしこともしば〳〵なりき。されば女史が注意の大方ならずして且つは人を見る眼の明かなるに誰とて感ぜぬ者も無くいよ〳〵諸士が女史に對する尊敬の心を深めぬ。

◎家庭の快樂と下流に對する同情

文學士　下田次郎述

家庭は一家に於ける樂園で、主婦は此樂園の主であれば、此樂園に集まる人々に各々適當な樂を與へる事は即ち樂園の主の働きに屬します。故に



（評議員　三輪田眞佐子筆）

此樂園は常に春風駘蕩の有樣でなくてはなりませぬ、主人なり子供なり外部の働に疲勞して夕暮時に此樂園に入つて慰籍を受けんが爲に歸つて來るのであります、故に此樂園の主は如何にせば是等の人々を樂しましむるに足るかと云ふ事を常に工夫する事が緊要であります。所が我日本の家庭には其邊の用意がとんと整うて居らぬ樣であります。かくては主人の活働力も十分に續かず隨ッて社會の事業も發達せぬ譯であります。さて其工夫も色々あるでありませうが、其一二を申せば、第一家庭的音樂の奬勵、第二文學的趣味の注入、第三家庭的遊技の勵行であると存じます。殊に第三の方法は身體の壯健を來たすの効力と相伴ふものでありまして家内一同が集まッて簡單なる遊技を行ふは頗るよい事と思ひます。

家庭が愉快にありませぬと、主人は家に居ないで家を飛出します。これは日本ばかりでなく、外國にも其弊がありまして、殊に其弊は下等の勞働者に多くあります。何處でも無敎育な婦人は主人を樂ましめる工夫を知りませぬから、兎角家庭の和樂を缺く樣になります。故に外國では主人を家に引付け置くだけの伎倆を養成せしむる爲めに、貴婦人方の計ひで夜學校が設立してあります。即ち工女其他下等社會の婦人が、主婦となッて後、家庭の快樂を作るに必要なる智識を養成する處であります。日本に於いても追ては其樣の設備が欲しいものであります。

次に外國では貴婦人が下等社會のものに同情を表する事が甚だしいのであります。夫の英國に於ける皇室の貧民饗應などは大したもので、一度に五十万人を招き、その爲に費した酒量が船に三艘、牛は幾十頭、團子が列車に幾十列積む程であッたと云ふ位盛なものでありました。貴族も個人で時々貧民を饗應し貴婦人が自から其席に出て斡旋の勞を執るゝと云ふ有樣であります。又、時々下女の饗應會と云ふものがあります。これは時には皇后陛下よりの饗應もありますが、貴婦人の催して饗應會を開いて下女を慰める事になつて居るのであります。日本では下女を奴隸の樣に朝から晩まで制限なく使うて居りますが、之れ等は何んとか工夫して、下女の生活を愉快にせしめ、時々は饗應會を開くと云ふ樣にしたい事と思ひます。

◎家計整理の事について

會員　某夫人談話

貴紙に毎號掲載せらるゝ家計收支の實況は、實に面白く拜見して居りますが、家計の有樣は各々家々によッて種々相違のあるもので、同じ收入の家でも官吏と商人とは暮し向きが違ひ、子のある家と、ない家とは費用の掛り方が余程異ひます。又田舍の生活と東京の生活とは、まるで狀態が異ひますから、田舍の人の出された表は幾ら善く出來て居りましても、私共の參考にはなり兼ます。そこで此東京生活でも、中等社會の人が一番暮し易う御座います。上流社會でも余程上の方になると、暮し易いのは勿論でありますが、其中間のものが實に暮し難いものであります。なぜかと申すと、中等社會の人になると、下女も置かずして濟むし、買物も自身に出掛けて往ッて、最も適當な品を選んで、廉價に買ひ求められますが、少し上流となると、自ら出掛けると云ふ譯には參らぬ慣習になッて居りますから、高價のものと知りながら、出入の八百屋肴屋より買求めねばならず隨て現物を見ないで買ふ樣になりますから、高價なばかりでなく、分量の多い少いの見計ひが付かず、自然不用のものをも買ッたりする事がありまして、不經濟の事が多くあります。其他交際上に付きましても、主人の方も多くかゝりますが、家庭の方も多くかゝる譯であります。夫れて中等上等の標準は、私の考へては先つ五六十圓位が中等て、百二三十圓以上が上流のものと考へます。次に子供のある家と、子供のない家とは費用が余程違ひます十歲以上の子供二人と、成年以上の者一人との割合は、子供二人の方が多くかゝります。又哺乳兒は中々手間がかゝるもので、主婦の働きを拘束しますから、家計の經濟上には餘程影響を及すものであります。夫れから話が變りますが、日本も歐米各國の樣に、手形が流行すると大變に便利てあります。私共の如き官吏に於ても貰ッた金を銀行に預けて、魚屋でも呉服屋でも二三圓以上の支拂には、總て手形で出すと云ふ風習になりますと、會計帳も非常に整理して往きますが、今日では何處でもさうてありませうが、會計帳などは人樣の前に恥かしくて出されぬと云ふ有樣てあります。そこで私は新發明と申す程ではありませぬが、紙の袋を作りまして、之に飮食費、被服費、敎育費、交際費、衛生費、租稅小遣と云ふ風に、大躰の科目を書き記し置き、俸給を貰ッた時は其科目に割當、金を其袋の中に入れて置きまして、必要の時其袋より出して仕拂ひ、可成其袋の金と他の袋の金と流用を許さぬ事に致して、殘余があッたら、之を預金する事に致して居りますが、之もまだ十分な方法とは覺えませぬから、どうか皆さんの家計整理上の樣子を少し聞かして戴きたう存します。云々

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎家政要領

家事衛生　食物

海藻・昆布・乾海苔・裙帶菜・荒布・羊栖菜等最も廣く用ゐられ、孰れも多少の蛋白質を含めども、滋養に富める食物にあらず。又、凍瓊脂・心太も賞すべきにあらず。唯、凍瓊脂は魚膠に代用して適當なる食料なり。其他鷄冠菜・海蘊・水松等は、殆んど食物としての効なし。

菌類　松茸・香蕈・靑頭菌・松露等は殊に珍重すれども、食料としての價値なし。香蕈・松茸は多少の蛋白質を含めども、消化極めて悪し。又、菌類は腐り易く、且つ其形の食ふべき物に似て毒あるもの多し、普通以外の菌類は一切食ふべからず。

果實　果實は野菜と畧同じく、皆酸類・水分及糖分に富み、香氣(特有の揮發油)を有するを以て、人之を嗜好す。現に肉類は勿論五穀をも斷ち、木食のみを爲す修行者あるを見ても、能く榮養を支へ得べき食物たるを知るべし。果實は之を適量に用ゐれば腸胃の工合を整へ、食物の消化を促し、疾病を豫防するの效あり。されども、之を過量に用ゐる時は、下利を生ずることあり。總じて水菓子は食後直に用ゐるを可とす。間食として夜分に食するは殊に宜しからず。小兒に與ふるには、別して疵なく腐敗に傾かざるものを用ゐるべし。蛔虫は大抵水菓子より生ずるものなり。

油類　西洋にては豚脂・精製牛脂・牛酪を用ゐれども、我國にては其用無し。此等の動物性脂肪の外植物の油は、西洋にては橄欖油を多く用ゐ、我國にては胡麻、支那にては落花生・榧・胡桃の油を用ゐる。胡麻油は白搾りは害なけれども、油を多く得んが爲に炒りて搾りたるもの、又は陳敗せるものは害あり。又菘子油或は棉實油を以て、本胡麻に代用することあり。是等は消化を害し下利を生ずることあり。總じて油にてあげたる物は、日本人の如く米飯を食する者には宜しからず。

砂糖　砂糖は其種類に由て糖分を異にす。糖分の最も多きは棒砂糖にて、百分の九十八あり。和三盆は九十六、天光は八十六、黑砂糖(薩摩・大隅產)は僅に七十六だけ糖分にて、其他は交雜物なり。交雜物の多き砂糖中には糖虫の混じ居るものあり。此虫は衛生上害はなきも、是れにて其不潔なるを知るべし。砂糖は容易に躰内に吸収せらるれども、過量に用ゐる時は、胃中に脂肪酸類を生じ、いはゆる酸敗を起す。近來化學的製法に由てサクカリンといふ物を製せり。是れは砂糖の二百八十倍の甘味を有す。今日は尙進んでヅクケリン・ヅルシンなどの發明ありたり。

飴　飴の製法は麥芽を煎熬めて之に澱粉(もと)を混ずるに在り、而して其澱粉を混ぜざるを水飴といふ。堅糖には種々の物を混じたるなり。水飴は百分の七十弱の糖分あり。大に吸収宜しきものなれども、是れのみにて小兒の發育を計るには足らず。

蜜　蜜は糖中の結晶せざる部分にて、粗製の品に多し。蜂蜜は之に反して最も良き糖分なり。

◎東京帝國大學學生の學費計算

文科大學生某報知

小生は東京文科大學の一學生に候、小生の父は地方の一官吏に候而して小生のために毎月俸給の三分一を割くの苦を受けつゝあるものに候、毎月の定額のみにても一小官吏には餘りに苦しき負擔に候、況して此の定額の外毎年歸省の旅費往復凡そ拾六圓を要すべく、又敎科書丼に衣服類に又拾五六圓を要すべく候へば之等を合算し其他臨時の費用を以てすれば少くも一月平均廿五圓を要すべく候　さて〳〵なるまじきは小官吏、持つまじきものは男の子に候、記者足下以て如何となす。

一金貳拾圓也　學費收入高
一金貳拾圓也　支出合計高

內譯

金九圓八拾五錢	宿料拂
內　金六圓五拾錢	食料
內　金貳圓五拾錢	間代
內　金八拾五錢	炭油
金貳圓五拾錢	授業料
金貳圓拾五錢	交際費
內　金壹圓五拾錢	飲食物
內　金六拾五錢	會費其他
金壹圓五拾錢	書籍新聞雜誌
金四圓	雜費
內　金五拾錢	湯、散髮
內　金四拾五錢	郵便切手
內　金貳圓	日用雜品
內　金參拾五錢	見料、傘、馬車賃
內　金七拾錢	飲食物

◎日本女子大學校學生の學費計算

日本女子大學校內　某子報知

左の計算書は私の同寮内一組の一人分にて候まゝ、人々により多少の差異はまぬかれざれども、彼是斟酌せし一ヶ月分の計算に御座候。尙左表の外、別科又は隨意科目を實習するものは、その外壹圓以上を要し候。又化粧装飾品に大費ある方々も隨分見受け候も、實行せぬ身には相わからず候かしこ。

一金拾參圓也　學費收入
一金拾貳圓八拾七錢也　支出高

內

金參圓	授業料及校費	金拾錢	親睦會費
金七圓	食料及會費	金參拾錢	鄕友會費
金貳拾錢	車代	金參錢	紙
金參拾錢	小包郵便代	金參錢	切手
金貳錢	髮洗粉	金五錢	洗濯石鹸
金參錢	ペン先	金參錢	齒磨粉
金拾八錢	卷紙	金五錢	短册二枚
金五錢	運動會費	金壹圓五拾錢	國文大觀豫約代

殘高拾參錢也

◎各地特殊の料理　(寄稿を募る)

(二二)精進薩摩　岡山縣　會員某

前々號に尾の道の姉君より薩摩飯報知せられたるに由り、私も心つき候まゝ薩摩飯の精進のものを御報知申上候

先づ胡麻を煎りて擂り置き、味噌を鍋の葢にぬりつけて燒きたるを、胡麻にすりまぜ、胡麻味噌をつくりおくなり。又蒟蒻を細く短册に切り、堅魚節のだし醬油味淋にて煮あげ、薄く味をつけたるを、前にこしらへ置きたる胡麻味噌に混ぜ、更に湯を少し注ぎてそれをゆるめ、(漸く箸にてはさめる位にゆるめるにて、ドロ〳〵してはよろしからず)熱き飯を茶碗に盛りたる上に、適宜にかけて用ゐるなり。藥味は好みに由り何にてもよし、但し蒟蒻の代りに、松茸を用ゐれば一層美味なり、罐詰の松茸にても差支へなし。

編者曰　薩摩飯につき前號揭載後、德島縣愛媛縣よりも報知ありたれど、重複に付き遺憾ながら省きぬ。唯大同の中小異あり、德島よりの報には魚と味噌とすりまぜ、ゆるめたる後に鍋に入れ火にかけ、三度位ふかすべしとあり。愛媛よりの報には味噌をゆるめるに、水にてゆるめず、魚をやきて肉をむしりたるあとの骨を煮出して、其汁にてゆるめるとあり、參考の爲に附記す。

(二三)鰡の丸鮨　大分縣宇佐郡某女報知

鰡の新らしいのを背開きにしまして、骨と眼玉とを除き(小骨は毛拔でぬきます、鰭は鋏でつみます)、能々洗ひ、酢に鹽を少々入れ浸して置きます。さて飯をたきまして、酢に鹽・砂糖をよき程に入れ、能くまぜてさまします。其飯を握り、鰡にはらませ、切溜につめ、暫く壓し置き、八分位の厚さに切り客に出します。

此料理は宇佐郡地方特殊の物の樣に聞きました。其起原はしかと存じませんが、當地方では酒宴のをり專ら用ゐます。

◎奥村刀自遊說日記

四月十八日　午后一時より、京都下京區松原通り烏丸因幡藥師堂に於て開會、聽衆六七拾名に過ぎざりしかども二時間の大演說、一同大に感激したり。同四時閉會。

同　十九日　京都師範學校女子部教員河島末菊子(支部評議員)の周旋により、午后六時より同校に於て開會す。聽衆は專ら同校生徒(男子三百名 女子百八十余名)にて同十時閉會せり。

同　二十日　午後七時より上京區間の町通竹屋町下る竹間小學校にて開會、聽衆約五百名、同九時半閉會、本日は午後一時より支部に於て幹事會を開き、大森幹事長始め各幹事八名會合、大會の始末に關し協議せられたり。

同　廿一日　午前八時京都支部を出て、九時十三分七條驛より發車、十一時大坂市なる廣岡評議員の邸に入る。午後二時より大坂支部大會に臨む。來會者約一千名にして盛會なりき。當日の盛況は之を別項にかゝげたり。

同　廿二日　廣岡松本鶴原三評議員及び土居鴻池の幹事諸氏の案內にて博覽會を觀る。

同　廿三日　午後一時半廣岡邸を發す、難波停車場迄廣岡評議員見送らる。二時半發車、五時半和歌山停車場に着す、椿幹事長樺山副幹事長以下九鬼折原加藤櫻井橘の各幹事折原參事官楠見縣屬山本市書記外有志家數名出迎はれ、市の有力家橘吉右衛門氏邸に入る。知事及び書記官訪問せられ諸般の協議をなす。

同　廿四日　午前八時より茨木中將小島少將瀧本大佐中村陸軍會計監督椿知事加藤市長樺山書記官櫻井警部長の諸氏を訪問す。午後二時より縣會議事堂に於て開會、聽衆は官吏及び同夫人有志者夫人師範學校男女生徒等約一千名、即時五十餘名の入會者あり、同五時閉會。幹事長各幹事は勿論市長參事官等も斡旋勸誘せられたり。

同　廿五日　午前十時より縣會議事堂に開會す。聽衆約千三百名、即時入會者數十名あり、午後一時閉會。昨今兩日を以て會員百五十餘名を增加せりと聞く。幹事長以下の斡旋前日の如し。午後三時橘邸を發し役員一同と共に紀三井寺に參詣し和歌浦妹脊山の某樓に於ける慰勞會の招に應ず。椿幹事長以下有志者の款待を受けたり。

◉京阪支部大會餘聞

◉京都支部大會　當日の會計係たりし幹事たちは深更までかゝりて會計を整理せら[illegible]式後より二千餘ケ所に奔走勸誘し、深更までかゝられたりとぞ。

◉大阪博覽會に行幸啓遊ばさるゝ爲、京都御所に御駐輦の御都合なれば、去月九日十日先以て京都へ行幸啓あり、兩日共、京都支部の會員方ま[illegible]御注目に預り、一同よろこびあへりとぞ。

◉大阪支部總會は、總裁殿下の御都合を伺ひ、急に開會[illegible]たるもあり。殊に博覽會の爲に、何れの家にても各地の親戚知人など來客ありて、婦人方は多忙[illegible]の新橋に奉迎せられたる人々左の如し、松平すま子　岡本とみ子、松平久子、佐藤なほ子(以上評議員)[illegible]服部文子　藤田幸子(以上芝區幹事總代)

◎正誤　前號服部内氏の總裁殿下御旅行記事中會長[illegible]

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉京阪支部大會餘聞
◉京都支部大會　當日の會計係たりし幹事たちは
式後[illegible]深更までかゝりて會計を整理せら
[illegible]
式後より二十餘ケ所に奔走勸誘し、深更までかゝ
られたりとぞ。◉大阪博覽會に行幸啓遊ばさるゝ

爲、京都御所に御駐輦の御都合なれば、去月九日
十日先以て京都へ行幸啓あり、兩日共、京都支部
の會員方は、[illegible]
[illegible]
御注目に預り、一同よろこびあへりとぞ。◉大阪
支部總會は、總裁殿下の御都合を伺ひ、急に開會

したるもあり。殊に博覽會の爲に、何れの家にて
も各地の親戚知人など來客ありて、婦人方は多忙
[illegible]
[illegible]
新橋に奉迎せられたる人々左の如し、松平すま子
高木とみ子、松平久子、佐藤なほ子、（以上評議員）

服部文子、藤田幸子（以上芝區幹事總代）
◉正誤　前號堀内氏の總裁殿下御旅行記事中會長
[illegible]

愛國婦人會記事

◉評議員會　本月中の評議員會は左の日割の通り開會す。

五月十三日　（第二水曜日）　第四の組
五月二十日　（第三水曜日）　第五の組
五月二十七日　（第四水曜日）　第一の組

◉評議員會の景況　四月二十二日第一組評議員會に出席せられたるは、一條、谷兩理事始め清浦錬子、島田信子、仁杉歌子、濱尾作子、松平久子、神山万佐子、佐藤猶子、阪井春子の各評議員諸氏なり。又四月廿九日第二組評議員會に出席せられたるは、近衞理事始め松平須磨子、鳩山春子、中山幸子神山万佐子の各評議員にて種々會務の協議ありたり。

◉神奈川支部發會式　本月廿四日（日曜）午後三時より、神奈川縣支部大會を横濱市横濱小學校内に於て開く筈なり。當日は總裁閑院宮妃殿下も御臨場あらせられ、會長、理事、評議員方も列席せらるゝ都合なるが、今同會に於ける殿下奉迎の順序及開會の次第を記さんに、幹事長又は副幹事長は新橋にて奉迎し午後一時十五分新橋御發車、同二時十一分横濱停車場御着、幹事一同茲にて奉迎、直に横濱小學校内に御參着御休憩、會員は御休憩所前に於て奉迎、午後三時式場に御臺臨の御豫定なり。尚式の順序は（一）午後一時三十分諸員休憩所に參集（二）午後二時三十分諸員式場に整列（三）總裁殿下御臺臨（諸員敬禮）（四）幹事長支部發會式を兼第一回總會を開く旨を告く（五）幹事長會員表を捧呈す（六）總裁殿下御諭旨（七）幹事長答詞（八）副幹事長事務報告（九）本會出張員演説（十）會員總代祝詞（十一）有志者祝詞（十二）幹事長式の終りを告く（十三）總裁殿下御退場（十四）諸員退場（四時終了の見込）（十五）餘興（四時より開始）殿下御歸京奉送の順序は奉迎の時に同、時間は午後五時或は同五時三十分御發車の御豫定なり。尚同縣下の會員は極めて多數にて、本部よりも職員の方々出張せらるゝ事なれば當日は定めて盛會なるべし。

◉宮城縣支部第一總會　本會宮城縣支部に於ては、第一回總會を去にし三月廿日仙臺市北一番町元赤十字社支部内に於て開きたるが、今其景況を記さんに、午後二時半會員一同着席、平岡副幹事長開會の辭を陳べ、錦戸副幹事長事務の報告をなし、來賓中平岡書記官石橋參謀長の祝詞演説あり、嶺幹事會員總代として答辭を陳べ、夫れより餘興に移り、同地滯在米國人の喇叭の吹奏あり、茶菓の饗應に移り、席上平岡錦戸兩副幹事長交々熱心なる擴張演説をなし、一同撮影し、午後四時半散會したるが、來會者は頗る多數にて、中々の盛會なりしと云ふ。

◉大阪支部總會の詳況　去にし四月廿一日を以てもよほし、同總會の概況はとりあへず前號欄外にて報じ置きたるが、再び詳細にものして、會員方に其盛況を報ずべし。會場は中の島公園なる公會堂（此の公會堂はこたび博覽會協贊會が建築せしにて、大阪ホテル住友圖書館等と相並びて輪奐たる建物なり、優に三千人を容るべしとぞ聞く）を以て之に充て門前に大緑門をたて、祝總會の文字を花もてしつらひたる額面をかゝげ、赤地に白く愛國婦人會大阪支部といふ文字を染めぬきたる會旗を交叉し門内の左右に侍女控所馬車人車溜場及び堂脊に茶菓所を設けたり。玄關には、評議員幹事方並び立ちて來會者を迎へられぬ、堂の内外大小の各國旗を縱横につるし、正面なる上段を總裁殿下の御坐所とし、大挿花の位置よくおかれたるなど裝飾いとうるはし。やがて二時半頃數發の烟花をうちあぐると共に、總裁殿下御着あり、劉亮たる奏樂の中に廣岡評議員の先導にて、御用係（花房男爵世嗣夫人）を從へさせ樓上なる御休憩室に入らせらる、次で役員達に拜謁を賜ひそれより藤田幹事（とみ子）開會の旨を上申し併せて開會の辭を述べ了るや、總裁殿下より御諭旨を賜はる、つゞいて松本みつ子幹事總代として答辭を述べ、次に鶴原市長の祝詞（菅沼助役代讀）會員總代土居よし子の祝辭、奥村女史の演説あり、藤田幹事閉會を告げ、奏樂の中に總裁殿下御退場暫時御休憩の後、樓上なる設けの席に御着坐ありて、當日の餘興筑前琵琶七檢校の琴合奏及び狂言等御覽遊ばされ、四時二十分頃烟花と奏樂の間に奉送の役員達に御會釋ありて御馬車に召させ給ひぬ當日は幸に雨も晴れ、來會者殆んど壹千名に及びたり。其中重なる人々は廣岡・鴻池・松本・土居・菊池・鶴原の各評議員高崎幹事長を始め、支部幹事數十名大阪府各郡長府廳市役所諸員新聞記者等にて、其他兵庫支部よりは服部幹事長田中薫丘氏、東京よりは跡見評議員、新潟よりは書記官田中坤六氏秋山縣屬等他府縣よりの來會者もありき、尚ほ當日の御諭旨答詞祝辭を左にかゝぐ。

御諭旨

愛國婦人會大阪支部會員諸氏は夙に本會の趣旨を贊成して其擴張に勉めたるの結果漸く隆盛に赴くに至りしは智惠子の深く喜ぶ處なり茲に總會に臨み諸氏の今後益其志を堅うして撓まず本會の爲に盡さんことを望む　（前號欄外再録）

答詞

こたび愛國婦人會大阪支部にてはしめの總會を開くにあたり殿下の御臨場を辱うし加ふるにたふとき御諭旨をさへ賜りしは當支部のいとも光榮として光子等の喜び何にたとへ侍るべき此會の成立ちしより此方日數なほ淺けれと殿下の御餘光により日に月にいや榮えにさかえ行くは誠にあり難き極みにこそ去れば會員たるものは力のあらん限り此會の務をおしひろめて御國の爲に盡しいくさ人等を慰めあるは其道の遺族の人々を扶持するの助ともなりて御諭旨の片端に答へまつることを勉め侍るになん

愛國婦人會大阪支部幹事總代
松本光子

日清の役拳匪の亂我軍行て北清の野に在り將校士卒異域に戰死せし者其數尠なからす是れ忠死也是れ國光を發揚したる戰死也然れ共其遺族たる鰥寡孤獨は如何國法救助の道ありと雖も而も我同胞にして渠等を憐むの情なくんは實に君子國たるに背むく者多し愛國婦人會の突如として起る寔に偶然に非らさるなり夫慈愛は婦人の德なりと雖往々一家の外に出てす今や本會の成ると共に婦德を廣く世に及ほすもの所謂博愛也博愛は仁也此仁心あるに到りて婦德始めて完きを得たり誠に喜ふべく賀すべきなり本日此發會式のあるに當り聊所感を述べて祝詞に代ふと云爾

大阪市長　鶴原定吉

我愛國婦人會の目的は我國を守る軍人等をして後顧の憾みなからしめん爲にしあればこの大日本に住める人々の爭てか之を贊成せさるべきやは去れど御國の廣き蒼生のしげき普くその趣旨を知りえざらんこそ遺憾なれ今や本會は賢德に富ませらるゝ殿下を戴き總裁と崇めまつりたれば御光の餘りをうけて一層の光輝をそへ鄙の隈におし致るまで本會を知るに至りしは誠に喜しきのかぎりになん當支部も組織日淺きに拘はらず會務次第に發達して日々に榮えゆきこゝに第一回の總會を開くに及びしは偏に總裁殿下の御庇蔭のたまものと何れも深く感激しまゐらせて今より後は畏き御諭旨を服膺して會員互に相勵み相奬みて本會のために愈々盡し侍らん爰に支部會員一同に代りよろこびをのべて祝詞とす

土居芳子

◎故會員小林しま子　本紙の愛讀者の念頭には、定めて大なる記憶の存するならん。そは昨年十月發行の本紙第十五號に於て記載したる、長野市松代町の小林しま子が製糸場の女工たる身を以て本會に同情を寄せ、其將に死せんとするに當り、本會々費の滯納を憂ひ、遺言して之を納付せしめ、且つその妹にも入會を勸誘して死亡したる美談なり。此篤志なる行爲は、はしなくも本會職員方の感激する處となり、種々彼女の身元を取調べし處一家貧困にして墓表さへ建つるの資なき由を探知し、身貧賤に生まれながら、其志の高潔にして然諾を重んじたると婦人社界の師表となすも耻からざるものなれば一片の石碑を建て永く其名を後世に傳へんとの議起り、島津公爵夫人を始め、多數の貴婦人奮ッて財資を喜捨し、松代町の片傍り此篤志なる婦人の永眠せる土地に、新らしき紀念の石碑を愈々建設するの運びに至りしと云ふ

●友人の結婚を祝ふ

万代にいろもかはらす榮えなむこかれしろかれ祝ひ重ねて　福岡　帆足親子
ひな鶴のこゑぞまたるゝ相生のまつの榮えはもとよりにして　岡山　稲葉八千代子
上もなきまなひ卒へし君のまた今日のみいはひきくそうれしき　神奈川　寺田光子
色もかもきよきふたきのわかさくらくもにやちよの春なしむらん　岡山　淺沼てふ子
あらたなる君かつまゝにれかはくはちよの春風たえずふかなん　長崎　高木さか子
相生の二葉の松の緑さへ杖つくまでも榮えませ君　和歌山　油　月子
花わらひ鳥もうたひて末遠ききみかちきりな祝ふけるかな　兵庫　吉田梅子
家の風ふきおこすへき若松もやかて生ひ出ん君かそのふに　宮崎　四居保子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮廷録事

◉還幸御日取　天皇陛下には既に大阪博覽會御覽濟みと爲りたるを以て十日京都御發輦靜岡御一泊翌十一日宮城還幸の旨仰出されたり。尚。議會開院式は來る十二日頃御舉行あらせらるべしと承はる。又皇后陛下に於かせられても、同日に御發輿あらせらるゝ旨仰出されたり。

◉皇太子殿下關西行啓　皇太子殿下には同妃殿下御同伴にて、本月末頃東京御出發、京阪地方に行啓相成るべき御内定なる由

◉皇孫御近狀　迪宮・淳宮兩殿下とも極めて御健勝にて、御成育相成り、迪宮殿下は昨年十一月御避寒の前より少しづゝ御歩を覺えさせられ、昨今は御運動も十分なるより御肉附もよく御言も續きたる事は尚むづかしけれど單語は御話の事少からず。時々は淳宮殿下に御揶揄などあそばされ、御兄弟の間柄いと御親密に拜せらるゝ由。又淳宮殿下は既に自由に御匍ひ遊ばさるゝ程にて御體は極めて御肥滿あらせられ、全體に於て御兄君より大きやかにて、數年の後には却て御身長け高きに至らせらるゝやも知るべからずとなり。

◉本年の御避暑地　兩殿下の御避暑には東京近地に別に適當の御場所なき上、富美宮、泰宮兩内親王殿下及前年迪宮殿下の御經驗に依り、本年の夏も矢張り函根宮の下に御避暑あらせらるゝ御豫定なり。

◉迪宮御殿新設　迪宮殿下の御殿は霞ケ關なる現有栖川宮御本邸の三年町新築邸に移轉後同所に新設相成るべく、右は殿下の滿七歳に達せさせられ、學習院御入學の前を以て行はせらるべき筈なるも、萬一有栖川宮新築邸の竣工これなきに於ては、赤阪新築の東宮御所來る四十年迄に落成の上、御移轉の筈なるを以て、當分迪宮殿下の御殿は其後青山御所に置かせらるゝ事となるべしと云ふ。

◎婦人論梗概

◉女學生鉛白禁止　報知記者は近時學校の規則頗る嚴重にして、干渉主義の流行するにも拘はらず、特に重要なる女學生の鉛白禁止の件なきは何故ぞ。鉛白は第一衛生上有害なり、即ち排泄管口を閉鎖し、鉛毒に中てられて皮膚を損傷す。第二道德上有害なり、即ち天眞を蔽ひ人を欺くものなり。第三風俗上有害なり、即ち風俗華美に傾き、墮落するものあるに至る。云々と論せし處、鳩山春子女史は反對論者として説いて曰く、近來女學生の服裝を制限し、或は頭髮の結び方に迄干渉するか如きは、個人の自由意思に迄干渉するものにて、不法の事なり。如此婦人に對する制限著しきに至らば、女學勃興の流勢を防害するに至るべし。況や鉛白は歐洲の婦人と雖、盛に之を用ゐ、獨り日本婦人のみ之を用ゐるにあらず。もと衛生上よりの立論は、其程度によるものにて鉛白の如きは道德上風俗上何れも左迄禁ずへき必要なし。云々、矢島楫子女史は賛成論者にして、其説に曰く、西洋婦人が用ゐればとて日本婦人亦之を用ゐざるべからざるの理なし。殊に衛生上有害なるは万人の認むる處にして、其量の多少は問ふ處にあらず。況や女子は此害を忍んて迄も面貌の美を保つべき必要なし。干渉主義はもとより之を好まざれども禁止の程度に近かしむる事を要す。云々、

◉中島德藏氏の家庭と倫理　婦人を導くに理窟を以てするは無謀にして思想上又は感情上より之を導くの勝れるに如かず。即ち女大學或は女今川流を以て可なりとす。母たるもの若し道德堅固ならば不言不語の間に感化を其子に及すものなり。故に同情或は模倣との點より進むを以て宜しとす。家庭は唯其圓滿なるのみを以ては普通なる家庭と稱し難し、必ず兒童を相應に修養せしむるだけの勢力なかるべからず。故に獨乙國等には要女學校の設立ありて其教授は十分些細の點に關して之を教導する制度なり。又孃を相互交換して之を教育する法あり。即ち親友の孃と自分の孃とを相互に下女代りに使役して以て家政を實習せしむる仕組なり。要するに自分は、女大學的教育の普及を望むものなり。（婦人界十二號）

◉時事新報記者の離婚の訴訟　我國に離婚沙汰の多きは、心あるものゝ眉を顰むる所なるが、去る三十二年中に於ける離婚の統計を見るに六万余の多數にして、其内訴訟となりしものは夫よりのもの二十七件、妻よりのもの百四十件、合せて百六十件にて、我國に於て專ら行はるゝは協議上の離婚其多數を占む。此原由は民法の運用を知らざる爲なるべきも、重なる原由は我國に於ける男尊女卑の陋習に在りりと云はざる可からず。夫權盛んにして法律の力を借るを要せず、非理不正に協議上の離婚行はれ、夫よりの申出は主權の命令の如く心得て、之に服從するの結果に外ならざるべし。之に反して妻より離婚を請求する事は實に容易の事にあらずして、訴訟を起すにあらざれば離婚する能はず。故に統計上にても、妻より起したるもの夫より起したるものに超過する所以なり。要するに婚姻に關しては男女平等に權利を有し、正當の理由だにあらば、協議上の離婚を拒絶し得るは勿論、妻よりしても離婚訴訟を起す事を得るを以て、万一離婚沙汰の如き事に際會せば、爾後婦人も法律の保護に依賴して、男子の不正を防禦すべし。

雜報

◉東京音樂學校　同校にては去にし日春期音樂會を催したるが、當日は常宮・周宮・富美宮・泰宮の四内親王殿下も御臨場あらせられ、内外貴顯紳士數百名來會せられたるが、職員の和洋音樂數番及びコーラスもありたりとぞ。

◉女子高等師範學校　新築せし同校の體操科は主として新歸朝者井口あくり孃の受持ちにて、日々教授せるよしなるが、從來の女子には授けし事なき器械體操兵式體操の類も教授する趣きなり。當同校は男子部の方小石川新築校舍に移轉後は、舊校舍を教授用に供すべき筈のよし。且つ同校附屬高等女學校に於ては今十日春期運動會を開く趣きなり。

◉女子美術學校　同校に於ては此程二人の支那婦人入學し西洋畫を研究する趣きなるが、兩人共に同校の寄宿舍に入り、日本婦人と起居を同うして學習するよし。

◉日本女子大學校　同校本科入學生は家政科志願者最も多數にして、附屬高等女學校の卒業生七十餘名も本科に入學せし趣きにて、目下新學期に授業を始めつゝあるが、校堂の外音樂室雨中體操場をも新築に着手せりと云ふ。且つ同校第二週年の紀念日は去月廿日に當りしを以て、同日は紀念の爲め、校内植樹を行ひたるよし。

◉共立女子職業學校校友會　神田區一ツ橋通町の同校は去にし二日三日の兩日校友會を催し各科の授業及び製品陳列場を設けて父兄等に觀覽せしめたり。階上の各室には裁縫刺繡編物圖畫の各科階下には造花圖畫割烹の各科に區分し五百餘名の生徒各其課業に營々たり。製品陳列場の造花刺繡の中目立ちて美しきもの數十點あり早くも外國婦人等の買取る所となれり。

◉家庭學校　北豐島郡巣鴨村の同校は名は家庭學校なるも婦人の家庭的教育を授くる學校には非ずして、不良少年感化を目的とし、篤志家留岡幸助氏の設立し居る學校なるが、昨年夏第一家族舍燒失したるを以て、氏は其後苦心經營の結果漸く家族舍一棟禮拜堂及び教場一棟を新築し此程落成を告げたるを以て去にし三日其捧堂式を執行したり。

◉婦人衛生會總會　同會は去にし二日午後一時より小石川なる後樂園涵德亭に於て總會を兼ね春季懇親會を開きたるが、今其景況を記さんに、午後二時半會員着席し事務會計の報告あり、後ち役員改撰の結果鳩山春子・羽田三緒子・岡田德子・高木鍒子・松平芳子・三浦教子・山本多穗子の諸夫人選ばれて幹事となられ、餘興には蓄音器及講談あり。來會者には粟餅茶菓來賓には立食の饗應ありたり。當日は連日の雨俄かに晴れ渡り、緑したゝる若葉のにほふ好天氣なりしかば來會者も非常に多く、特に同會總裁たる東伏見宮妃殿下も御臨場あらせられ、會員の外家族同伴者多く、其數凡そ五六百人に達し、廣き庭園の東西に令孃たちの三々五々相伴ひ蓮化草摘みて遊ばるゝなど近頃のどけき集會なりき。

◉癸卯園遊會の景況　同會の催しについては屢々報道せしが、愈々去月廿五廿六の兩日を以て舉行せり。來會者は兩日共非常の多數にて前日には獨乙の皇族も臨場せられたる程にて、一般に評判よく、大に成功したりとぞ。今二日間に集まりし金額を聞くに收入總高九千三百八十三圓にして諸費用二千三百六十八圓八十三錢四厘を差引殘金七千十四圓十六錢六厘を得たるを以て内六千五百圓を帝國婦人協會附屬學校寄宿舍建築費に贈與し、又五百圓は式場借入費として水交社に寄附する都合なりと云ふ。

◉大日本婦人教育會懇親會　同會は去にし六日芝二本榎毛利男爵邸に於て開會文學士下田次郎氏の女子教育談あり餘興には講談もありいと盛會なりきと云ふ。

◉割烹の大家赤堀翁の賀筵　割烹を多くの婦人に教授して、食物調理の上に進歩をあらはしたる斯道の大家赤堀峯翁の米壽を祝せんため、門弟知人相集まり去にし三日日本橋倶樂部に於て賀筵を張りしが、來會者約四百名非常に盛會なりしと云ふ。

◉獨乙に於ける日本學生の母　囊に英國に於ける我水兵の母たるマクリン孃の事を詳細報道せしが、獨乙伯林にも亦我日本學生の母として尊敬せらるゝ婦人あり。名をラーゲル、ストレームと云ひ本年八十歳の高齡に達したるが、日本學生を愛する事甚だしく千八百六十八年以來此に三十六年の長年月を獨逸遊學の我國人の爲めに盡し、婦人の住宅には年中我國人の寓居するもの絶ゆる時なく、其深切にして世話の行届く事親身の母も及ばぬ程にて、一度同婦人の好意を受し者は、何人も其慈愛に感ぜざるものなきよし。さても、來る六月十日は第八十回の誕辰に當るを以て同地在留の日本人相會して盛んなる祝意を表する計畫あるよし。

◉交詢

愛國婦人二十八號紙上滋賀の部の建碑記事中御尋ねの女先生は四月初滋賀縣師範學校より東京府第一高等女學校へ御轉任になりましたので只今は三年級ろの組即ち私共の級の主任ていらつしやいます御住所は本郷區切通坂町十九番地石野先生と申方で御坐います御教へをうけし日もいまだ淺う御坐いますが過日の記事を拜讀致しかゝる先生に御をしへをうくる此組の幸ひいか計りぞと嬉しく一同御したひ申して居ります先は御報まてかしこ

東京府第一高等女學校三年級ろの組生徒より

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

理學博士三好學先生新著

博物叢書 植物の感覺

精巧口繪入　菊判頗美本　定價卅五錢　郵稅金四錢

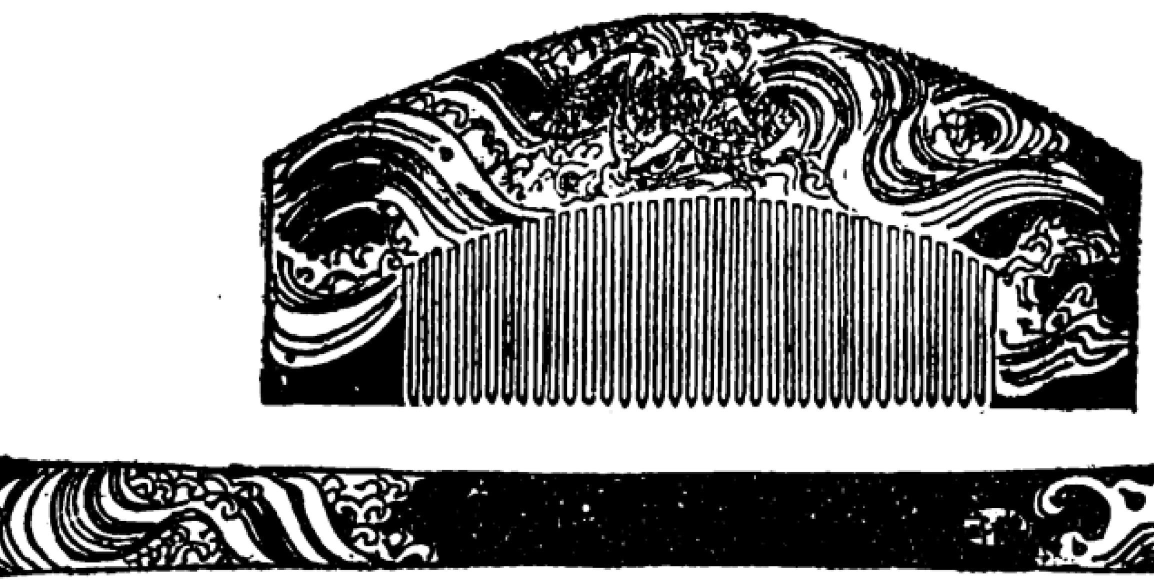
博物叢書は、一般讀書界の科學智識の要求に應ぜんが爲に、特に石川三好兩先生に請うて自然界に於る最も興味ある事柄を擇み、何人にも解し得るやう、又何人にも好んで讀ましむるやう、平易明快なる言文一致體を以て綴りたる者也。全部廿四冊、決して浩瀚ならずとせず、その材料の豐富にして講述の多趣味なるは言を俟たず。蓋し通俗にして典據すべき方今唯一の博物叢書たるを信ず

新刊　理學博士石川千代松先生著　博物叢書第二篇

動物社會

全一冊（近刊）

發兌元　東京裏神保町　神田　冨山房



美術蒔繪櫛笄

柳の髮のうるはしきに映めを添る月ならで四季を選まぬ櫛笄は花紅葉いろ〳〵候へど今般新製致せしは黒鼈甲又は四方張を以て流行の中京形に造り是に諸大家の意匠を凝せし名花山水其他の模樣を蒔繪せしもの又は斉貝寶玉類を彫刻嵌入せし佳麗の品なれば世の貴婦人方は流行に後れ給はぬうち御注文あらんことを

黒鼈甲臺一組價　十圓十三圓十五圓　廿圓以上五十圓迄

四方張臺一組價　三圓五圓六圓八圓　十圓以上十三圓迄

東京市京橋區尾張町

白牡丹本店

松田幸治郎　電話新橋五百五十一番

文學博士黒川眞頼閲　文學士芳賀矢一序　飯田武郷閲弁に序　黒川眞道序　松平靜講述

枕の草紙詳解

全三冊正價各冊五十錢　郵稅廿錢

國文學の註釋多しと雖も未だ枕の草紙の註釋を見ず本書は斯道に精しき松平靜先生の手に成り更に二大先生の說を以て補ふ其解釋文は平易にして流暢丁寧親切にして餘す所なし國文學に初めて志す者と雖も一讀して直に此草紙の妙味を味ふ事を得べし敢て黙せず江湖の諸彥乞ふ本書を繙きて本店の言の虛ならざることを知り賜はらんことを

● 紫式部日記講義　三木氏著　價三十錢　郵稅六錢

發行所　神田鍛冶町　電本九四九　誠之堂

婦人ふるちの藥

定價一貼五錢三貼十四錢五貼廿三錢七貼三十二錢

一此藥劑は婦人血の道一切の藥にして淸血を補ひ古血をめぐらすとかんようにして少しも脾胃にさわるとなく血を下すにてはなく血をみちびき通ずる藥なり第一月々めぐり少き婦人はたッぷりと見るなり數年古血滯りある婦人は其のふるちのかたまり殘らずつうずるなり●○南まけづつう目まひによし○ふるちとゞこほり○ながち○しらち○手あしいびれ○○血しやく○ひゑるときさしこみいたむに功あり○むねこしいたみ○つきむしによし○さんごあとはらのいたみはいかほどつよきいたみにても一ト包にて功あり○さんごわるちのとどこほりに用ひて功あり○猶能書にくわしくしるす

本家製藥所　東京市本所區東兩國横綱町一丁目

[illegible]店　伊勢吉本店（電話浪花二一七五八）

皮膚病專門醫坂本李堂氏著

婦人美顏法

一名美貌之秘訣

正價金四拾錢　郵稅金六錢　郵劵一割增

著者多年ノ實驗ニ照シ最モ容易ニシテ何人ニモ得可キ美貌ノ秘訣ヲ說キ且ツ美貌ノ要素ハ健康ト順良ナル精神ニアル事ヲ詳說セル者ナレハ風致上及衛生上大ニ有益ナル珍書ナリ冀クハ諸氏本書ニ縮ヒテ美ハ倍々其美ヲ表ハシ醜亦此ノ方法ヲ以テ其容貌ヲ艶麗ナラシメンコトヲ

發兌元　東京京橋區弓町　松村三松堂　電話新橋三一七三番

目牟ゑり帯揚類

縮緬肩掛數多　縫模樣絞り形

○絞り形染模樣帯片側○絞り形兵兒帯地○帛紗地
○染形しぼり形帯揚○新橋〆下締○染形け出し
○雀形○ゑり治まげ入　おろし小賣

高等洗粉　チエリー　バイオレット　特製　入發賣元本舗　ゑり治

第五回博覽會御觀覽の際は弊店出品に一覽を乞ふ

抽店出品御賣約品は閉會後東京府下市內御屆仕候

新橋竹川町十二番地　電話新橋二千二十七番

婦人最良藥

子宮病血の道　產前、產後の諸症にて種々の藥を用ゐて其効なく久しく病床に苦しむ人は本劑を試みよ

●如何なる難病も二三週間に全治す

●詳しき効能は大廣告の時御注目ありたし

定價　一日七錢五厘、三日廿錢、一週四十五錢　二週八十五錢、三週り一圓二十五錢

●本舗へ御注文の方は病人の容躰御申込あれ

本舗　東京日本橋通四丁目　津村順天堂　大阪堺筋鹽町北入　津村順天堂

中將湯は全國各藥店にあり

帝國貯蓄銀行

銀座一丁目河岸通り

本郷支店（本郷一丁目）　飯倉支店（飯倉ヶ辻）　赤坂支店（赤坂一ツ木一丁目）　四谷支店（四谷大通り）　品川支店（南品川一丁目）　横濱支店（横濱吉田町）

神樂坂支店（牛込神樂坂）　須田町支店（神田須田町）　米澤町支店（兩國米澤町）　吾妻橋支店（淺草雷門前）　代理店　田中銀行（日本橋坂本町）

●一錢以上何程にても御預り及び御返却に取扱申候
●毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

醫院案內

院長　醫學博士　榊順次郎

婦人科產科榊病院　東京麴町三番町卅三　電話番町三百九十五　診察午前　入院隨時

●水原產科婦人病院

○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千七百○九番）○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立產婆學校の設あり

東京小兒科院　駿河臺西紅梅町（電話本局一九五五）

院長　醫學博士　瀨川昌耆

東京產科婦人科病院　神田駿河臺袋町（電話本局壹四三四）

院長醫學博士　濱田玄達　副院長醫學士　辻高俊

電話改正

●外科●皮膚病●ヂフテリア●痔疾●成形術●脚氣

院長　醫學士　丸茂文良

東京下谷區上野櫻木町　電下谷百十三　丸茂病院

●內科　下谷仲徒町二　電下谷百十二　院長自宅診察午前九時限り

新療法開始

瘰癧　如何なる難患にても切開を要せずして治癒す

心臟病　不治と斷念せし大患も根治療法を行ふ

脚氣　衝心性に陷りしものも轉地を要せずして忽ち全癒す

神田區三崎町三丁目一番地（西通廿五番）　千葉內科院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮廷錄事

◉天皇皇后兩陛下　京都御所に御駐輦中の御模樣を漏れ承るに京都は兩陛下の生ひ立ち給ひし御故郷といひ、山紫水明の土地にて、御苑内の空氣良好なるが上に、御殿の構造及び御庭園の御模樣も、東京の宮城と趣きを異にしあれば、屢　御苑内を御逍遙あらせられ、益々御健全にあらせらるゝよし。

◉皇太子及妃殿下　兩殿下は大阪博覽會御見物旁た來る五月十日前後行啓相成るべきよし。皇太子殿下には常に農事にも御心を懸けさせられ、御所内に三段歩ばかりの畑地を設け、時々御手づから蔬菜の種を下し給ひ、其生育の有樣に付き御研究遊ばさるゝよし。

◉迪宮淳宮兩殿下　來る廿八日頃沼津より御歸京あらせられ、翌廿九日は迪宮殿下第三回の御誕辰に相當するを以て、川村伯邸に於て御養育主任以下の人々へ御祝酒を賜はるよし。

◉兩内親王御學問所　昨年來高輪御殿内に新築中なる常宮、周宮兩内親王殿下の御學問所は、既に竣功せしを以て、此程より御二方共日々新學問所にて御修學あそばされつゝありと申す。

◉三若宮殿下測候所視察　千葉縣下へ御修學御旅行遊ばされたる成久王鳩彥王稔彥王三若宮殿下には、去にし十七日風雨を冒し、同窓生徒百三十餘名と共に、銚子測候所へ成らせられたり。同所長は業務の大要を認めたる書面を捧呈して、御研學の料に供し奉りたるよし。

◎下田歌子女史の形態の淸潔と精神の高潔と　太古の人は長命したるが、後世に至る程短命なりと云ふものあれども、そは誤りなり。古代は天然に任せて生命を長くする法を講ずる事を知らざりしが、開明に趣くに及んで衛生の方法進みて壽命は益す長くなる道理なり。然るに日本には古代より自然に淸潔の方法行はれて長命したるもの多し。其法とは禊と云ふ事是なり、之は神代より行はれたるものにて、身體の禊と精神の禊と二つながら行ひたるものなり。其方法は淸き流れに入りて身體を淸め、然る後神に向つて懺悔して罪を謝する也。斯くして精神の高潔を計りたるものなるが佛教の擴まるに從かつて此法の廢れたるは甚だ惜むべき事なり。要するに形態と心とは相伴ふものにして、形態を淸潔にすれば、自然心も高潔となる理なれば互に注意して衛生を重んじ、長命する事を務めざるべからず。云々（大日本婦人教育會雜誌）

◎日本新聞記者の女學者　數日間引續き掲載せる大文字なり。其論の一節に曰く、男子には男子の職分あり、女子には女子の職分ありて、古來より女子にして男子のなすべき部分に事業を行ふたるもの　よく成功したるものなしと。又婦人の特權としては、慈善の事業等に從事するを適當なりとし、其例として佛國革命黨の領袖ダーリヤンの夫人の左の女權請願書を示して、以て婦人に最適切なる希望なるべしと論定せり。『男子は國債を拂ひ國土を護るの義務あり、女子亦た同じく義務を盡すを要す、凡そ未婚の婦女は少なくとも一年間、施療院又は慈善會又は救貧所に運動するの義務を負ふべし。是れ獨り義務にあらずして又た權利なり又た名譽なり。寡婦に至りては勿論なり。余は廿一歲の寡婦にして、一生の大望は唯だ第一番にこの名譽職に就かんと欲するのみ』

◎小山作之助氏の平民音樂と趣味性　人は天然の樂器と云ふべき口舌を有するを以て、宜しく此樂器を完全に使用する法を考ふべきなり。即ち極めて通俗的の音措を用ゐて、しかも高尚なる趣味を養ふに適する歌謠を作り、之を最も面白くして歌ひ易き曲となして廣く世人に頒つとは最も必要の事なりとす。我邦人は慨して沒趣味にして音樂又は遊戲杯によりて、精神を休養し慰藉することは非常に實益の存するものなることを知らず。元來人は心が面白からずんば何事にも成功するを難し、而して心を樂しますには、音樂に如くものなし、音樂は人の趣味性を高尚に導き、國民の品格を高むるものなれば社會國家のために一日も忽にすべからざるものなり。云々（成功二卷ノ一）

雜報

◉女子高等師範學校　同校本科入學生は豫定の如く、七十五名入學を許され、新學期を開き目下既に授業しつゝありと云ふ。又國語體操科の新募集生も三十名入學を許可せられ、近日より授業を始むるよし。

◉東京音樂學校　同校の甲種師範科の生徒は愈よ二十五名假入學を許す事となり、内女子の入學生は十七名にして、去にし廿一日より既に授業を始めたり。尚同校にては來月五日頃春期演奏會を催す豫定のよし。

◉東京美術學校の女生徒養成の議　上野の東京美術學校にては、曾て岡倉覺三氏校長在任の當時も詮議あり、物議多くして遂に立消えとなりしが、現校長正木直彥氏は時期既に到りとして、此程女生徒養成の意見を具して文部大臣に建議したりと云ふ。右に對して當局者中にも校規紊亂を招くの基なりとて、反對の意見を有するものもある由なれば、中々容易には實行に至るまじと云ふ。

◉實踐女學校　本會評議員下田歌子女史の專ら經營せらるゝ同校は、府下豐多摩郡澁谷村に新築中の處、此程漸く教場の一部出來上りて移轉し去にし十八日十九日の兩日生徒作品展覽會を開き、關係の人々を招待したり。

◉芝區高等女學校　芝區三田四國町の舊水產講習所跡へ建築中なりし私立高業女學校は、去にし十九日落成式を兼ね開校式を行ひたるが、同日は校長棚橋絢子女史始め、來賓岡田文部總務長官の演說ありたり。同校は新設にも拘はらず、既に七十餘名の出願者あるよし。

◉和洋裁縫實修女學校の設立　同校は今度神田區北神保町に設立せられたるが、其の學科課程を、本科、教員養成科、洋服專攻科、刺繡科の四科とし傍ら女子に必要なる學科をも授くべしといふ。

◉各府縣高等女學校の景況　此の程發表せられたる、文部省の報告によれば、從來高等女學校の設備甚だ少く、隨ッて生徒の數も少く不振の有樣なりしが、高等女學校令發布せられ各縣に必ず之を置くべき制度となりし以來、大に其趨勢を一變し、現に本年度に在ても增設新設を爲したるもの多く、一縣に四校を設立せるもの四縣もある趣なるが、兎角女子は中途廢學するもの多く一ヶ年六千餘人の廢學者と、千餘名の除名者を見るに至るは全く女子の素志堅固ならず、一時の風潮に誘はれたるものに外ならすと云ふ。

◉癸卯園遊會　屢報導せし同會は愈々今廿五日廿六日の兩日水交社に於て催す由なるが、當日は華族女學校に關係ある宮樣方も、多分出席あるべし。催主の中にて夫れ〳〵役割あるものは去にし廿二日より日々水交社に集まり、熱心に豫習を行はれたりと云ふ、定めて當日は盛會なる可し、詳細は次號に讓る。

◉婦人教育會例會　同會は去にし十八日華族女學校幼稚園に於て開會し、棚橋女史は教育上弊害のある處を陳べ、次に文學博士瀨川秀雄氏山崎合戰以前の豐太閤に付て講演をなしたり。當日の來會者は會長毛利公爵母堂を始め、子爵松平保子夫人松平男爵夫人鳩山山脇兩夫人も見受けたり。

◉大日本婦人衛生會總會　來る五月二日午後一時より、同會總會及び春季懇親會を兼ね、小石川砲兵工廠内後樂園に於て擧行し、役員の改選あり、餘興には多分講談等の催しあるべしと云ふ。

◉日本女子美術展覽會　同會は上野公園内に於てその第三回を開きたり、同會の美術品は女子美術學校、帝國女學校、婦女技藝專修塾婦人獎勵會靑山技藝學校の出品にて頗る見るべきものありと云ふ。

◉千島婦人同情會　千島の拓殖經營が今日の如く長足の發達を爲したるは、報效義會婦人部の內助與ッて力あり。現に會長郡司大尉の夫人兼代子の如きは、渡島以來十年間一日も內地に歸りたる事なく、一般會員の妻女と辛酸を共にし居れるより。今回占守島在住の婦人に同情を寄せ、之を慰藉するの目的を以て千島同情婦人會なるものを設立せんとて齋藤海軍少將夫人佐藤高木の兩醫學博士夫人愛住女學校長小具貞子女史其他海軍々人の夫人專ら盡力せられ其協議會を去にし十八日開きたり。

◉動物虐待禁止會婦人部　同會は去にし十五日一橋外學士會に於て評議員會を催したる上、婦人部を擴張する事を議したるが、現に會員にも多數の婦人あるにも拘はらず、學士會にては婦人の會合を許さゝる爲め、別に婦人部にても時々會合を爲し、同會の主旨を社會に擴むべき方法を議する樣議決せり。尚同日の會合に某夫人より芝勸業場に繫げる猿の虐待について訴へ出で、尚某西洋婦人よりは馬車の馬を途上に停むるに足に綱を卷く事を禁すべき旨申出られたり。

◉養育院の慈善演劇　東京市養育院は先般の評議員會に於て、本年は川上一座の演劇を催す事に決し、院長澁澤男爵より川上音次郎に內談中なりしが、略纏まりし由にて、本月末歟來月早々歌舞伎座にて興行する筈。

◉女子同情會の近況　長野縣上伊那郡富塚村の平民吉澤おはる（五十三）は、昨年七月中毆打創傷の廉にて重禁錮九ヶ月の刑に處せられ、市ヶ谷監獄署へ入獄したるが、當時お初と呼ぶ二歲の女子ありて、之を携へて行く事叶はねば、據所なくお初は養育院へ送られたり、然るに板垣伯爵夫人等の創立せし女子同情會にて此事を聞き、幼兒の一身を憫れみ、伯爵夫人は自ら監獄女監を巡視してお初を預り保育せんと申出で、之を引取て、相州鎌倉なる乳兒保育會員佐竹音次郎氏に託して養ひ置きしが、おはるは刑期滿て過日放免となりしにつき、板垣夫人は三名の會員を隨へ、お初を抱きて市ヶ谷に到り、母おはるに對して懇に將來を誡めたる上、お初を引渡したるに、見違へるばかり肥太りて、愛らしき我子の姿を見て難有涙に暮れ直に悔悟の色現れ嬉し泣に泣き居たれば一同滿足して引揚たりと。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(み)
東京日本橋區長谷川町
卸部
美濃磯本店
袴誂專門

小賣部
東京本郷區本郷五丁目十一番地
美濃磯支店
電話本局千四百十五番
電話浪花二千八百五十九番
電信略号 ミイソ

婦人最良藥

子宮病血の道
産前、産後の諸症に種々の藥を用ゐて其効なく久しく病床に苦しむ人は本劑を試みよ

●如何なる難病も二三週間に全治す

中將湯

●詳しき効能は大廣告の時御注目ありたし
定價（一日七錢五厘、三日廿錢、一週四十五錢 二週八十五錢、三廻り一圓二十五錢）
●本舗へ御注文の方は病人の容躰御申込あれ

本舗　東京日本橋通四丁目　津村順天堂
大阪堺筋鹽町北入　津村順天堂

中將湯は全國各藥店にあり

目
牛ゑり帶揚類
縮緬肩掛數多
縫模様絞り形
○絞り形染模樣帯片側○絞り形兵兒帯地（帛紗地
○染形しぼり形帯揚○新橋〆下締○染形け出し
○雀形○ゑり治まげ入　特製おろし小賣
高等洗粉 チェリー バイオレット入　發賣元本舗 ゑり治
第五回博覽會御觀覽の際は弊店出品に一覽を乞ふ
拙店出品御賣約品は閉會後東京府下市内御届仕候
新橋竹川町十二番地　電話新橋二千二十七番

新療法開始
瘰癧 如何なる難患にても切開を要せずして治癒す
心臓病 不治性と斷念せし大患も轉地を要せずして根治療法を行ふ
脚氣 衝心性に陷りしものも忽ち全癒す
神田區三崎町三丁目一番地（西通廿五番）
千葉内科院

佛國大博覽會賞牌受領
登録商標
博覽會賜賞牌
東京 東両國横網町
今古改正 寳香 齒磨
伊勢屋吉次郎謹製

●水原産科婦人病院
○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千七百〇九番）○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立産婆學校の設あり

文學士 高鵬 尾田信直氏著
新刊
婚姻文學
全壹册 定價金廿五錢

朝に妻を迎へ夕に去り昨は嫁して今は離るゝ或は琴瑟相和の義を曉らず或は舅姑に事ふる道を知らず嫁娶の大禮を以て一時の離合視するは世弊なり著者は少壯男子の爲に女子教育の爲に風俗改良の爲に筆を執りて婚姻の眞義を論じ良縁好偶の選擇一國一家の繁榮は夫婦相和して其くあるを說き東西古今の美談を擧げ諧謔に交ゆるに教訓を以てし道義を說くに常理を以てし佳趣漫々として堪ふる中に薫陶化育の實あり文章亦高潔にして雅雄相備ふ一篇の修身書なり良縁鑑なり女道訓なり庭訓の好侶伴たり請ふ陸續購讀の榮を賜はらんことを

高瀨花陵氏著 ●自然の子 全一册 金十八錢
弘田醫學博士閲 木村鋭太郎氏著 ●普通育兒法 全一册 金七十五錢
本社篇 ●女子新論 全一册 金七十五錢

高柳秀雄氏著 ●立志の栞 全一册 金廿錢
北島研三氏著 ●處女衛生 全一册 金廿錢
帝國教育會編 ●公德養成 全一册 金五十錢

發兌 東京本町 金港堂書籍株式會社 各地特約店

新刊廣告 ◎坪内文學博士校閲監督

見よ!!!
通俗世界文學

▲世界文學は古今の傑作を網羅し
▲血あり肉ある原作の全影を邦文をもて最も巧に縮寫せるものは本書也
▲文學研究者の好楷梯、一般國民の最上の讀物

毎篇美本製 頗る西洋名畫數葉入

第一編 繁野天來氏著 ミルトン 失樂園物語
第二編 杉谷代水氏著 沙翁物語 マクベス外二編

全部五拾編毎月發行毎篇紙數百五十頁●正價金廿錢六冊金壹圓拾四錢十二冊金貳圓廿二錢廿五冊金四圓六拾錢五十冊金九圓郵税一冊ニ付金四錢ヅヽ毎月一冊宛發行

發兌元 東京神田裏神保町 合資會社 冨山房

醫院案内

兩國病院 内科 小兒科 院長 醫學士 小林廣 診察日本橋區米澤町三ノ六午後 電話浪花壹七七七
同分診所 診察本郷區本郷四丁目廿五午前 本宅 電話本局一七貳貳

婦人科產科榊病院 院長 醫學博士 ドクトル 榊順次郎 東京麹町三番町卅三 電話番町三百九十五 診察午前 入院隨時

小兒科、小兒皮膚病 長井醫院 日本橋區數寄屋町 電話本局百八十

小兒病診療 醫學士 内田愼太郎 淺草區新福井町貳番地 宅診午前 往診午後 ●電話下谷七一八番

外科專門 樂山堂病院 院長 醫學博士 宇野朗 副院長 醫學士 中原德太郎 淺草區小島町 電話浪花一五七七

山龍堂病院 院長 醫學士 土屋艮藏 林伊與造 東京神田小川町四十番地 電話本局二二〇

●醫學博士 中濱東一郎 ●外科擔當 醫學士 桂秀馬 麹町區下二番町四十五番地（電話番町七十五番）
回生病院 月、火、木、土午前外來診察 公務の餘暇每日午前診察

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店

◎東京堂　神田區表神保町三番地

◎東海堂　京橋區銀座四丁目

夏着新荷着

服地。長襦袢用シャレー。其他英佛國更紗各種。帽子。造花。羽根。日傘。手袋。沓下。レース絹木綿各種。ピン。サイコーム。婦人用ネキタイ其他小間物各種

御袴地（海老色、紺、小豆）

シャレーの義は貴婦人、令嬢向き柄合特に撰み取揃有之候間多少共御用向御仰付被下度候

東京市麹町區麹町二丁目七番地

婦人洋服地　附屬小間物　御小賣商　八木原號

大國服装店　電話番町七四二番

美術雛人形　寫生武者人形卸商

學生　武者人形

御誂織

淺草橋通丸町十八番地

催實　販賣

光月本店　電話下谷千四百三十五番

第八版軍人讀本　三冊　定價金參拾六錢　郵税金拾錢

子爵小笠原長生氏著

英皇戴冠式參列　渡英日錄

子爵遣英艦隊の乘員として英皇戴冠式に參列するや其絢爛たる筆に致し蓋に遂に興味ある此行の日乘航路間の名所舊跡細大漏す所なく又戴冠式の實況は云ふ迄も無く史的研究に依り英國民が日本に對する意向如何を細叙し冥々の間に新智識を進取の氣象を鼓吹し海事思想を發ひ國民品性の養成に上資する所大なるものあるべし

定價四十錢郵税八錢

東京市ヶ谷見附内

發行所　軍事教育會　電話番町一二五七番

大和魂

定價金參錢婦人郵税不要

三日十五日發行

立國の要素たる民性の頽敗未だ今日の如きは有らざる也吾人大に茲に感ずるあり徳性涵養の事に從ふ者數年世人の歡迎は茲に月刊を增刊するに至らしめて二回にすなり家庭の良教師たらん

第五版精神教育談　四冊　定價金五拾五錢　郵税金拾錢

ヴワイヲレット製

壽美花おしろい

伊勢屋喜吉製

定價　小瓶二十錢　人瓶十二錢

定價　大瓶廿五錢　中瓶十五錢　小瓶十錢

西洋色白くなる洗劑

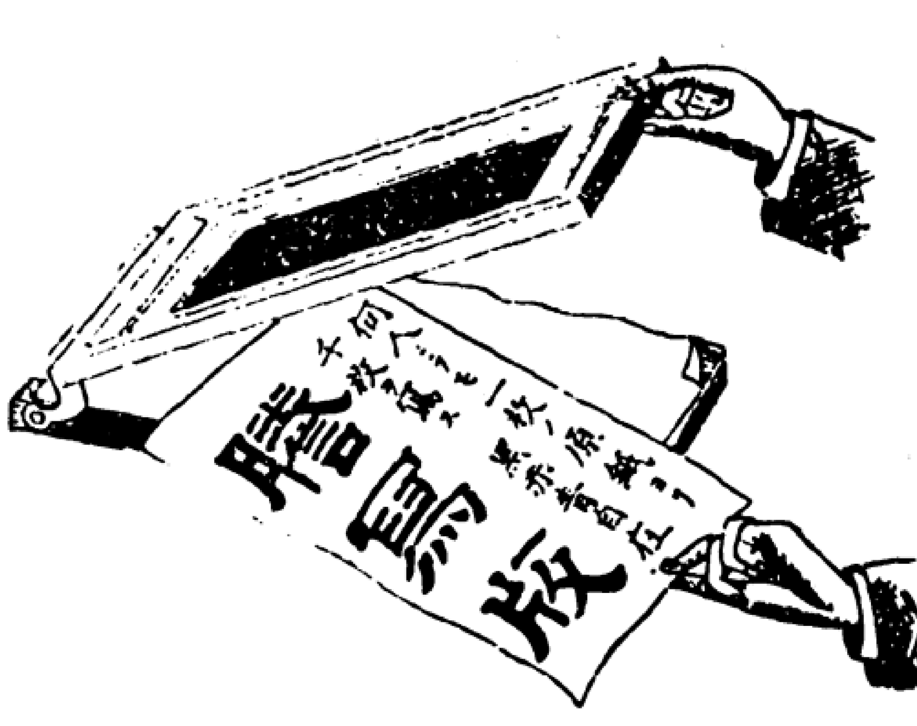
壽美花あらひ粉

定價紙袋紅彩紙函ひ鏡箱六錢五厘ボックス入三錢袋入壹錢

東兩國　伊勢屋壽吉

町村役場に限り特別販賣法あり

大改良謄寫版



水難救濟會員及び本誌購讀の御方に限り藥書にて御通知次第謄寫版定價表及仕用法共謄寫堂より無代にて進呈可申上候

今回佛國より原料を輸入し之に改良を加へ暑寒共變質なき完全なるルーラを發明したる事を本器拾餘萬の御使用者各位へ謹告仕候（明治三十四年九月）

●賜進歩賞牌　陸海軍御用　專賣特許

發明人　堀井新次郎

●●本器は何人にても熟練を要せず直に實用し得らる
●●一枚の原稿にて千枚以上を印刷し得、最も書簡隨意筆記の儘を寫す
●●●音譜は異草行隨意最も最字適當なり
●濃き墨色を主として赤青自在なり
●本器製品番號十餘萬號に及べり以て確實多劣なるを知られよ
●解説書（和英二種有）及印刷見本御申越次第送呈す

東京神田區鍛冶町三番地（電話特本局千〇八十四番）

販賣元　謄寫堂

大阪臨時出張所博覽會正門前東京府賣店内

内國特約　大阪　岡山　門司　名古屋　函館　仙臺　丸龜　福岡　横濱　飯田　秋田　高知　宮山　松江　其他

海外特約店は米、露、濟にあり

皮膚病專門醫坂本李堂氏著（再版）

美顔法

一名　美顔之秘訣

正價金四拾錢郵券一割增郵税金六錢

右ハ著者ガ多年ノ實驗ニ照シ何人ニテモ行ヒ得可キ美貌ノ秘訣ヲ詳説セル珍書ナレバ冀クハ本書ヲ繙ヒテ其容貌ヲ艶麗ナラシメン事ヲ本書非常ノ好評ニテ夥シキ注文數ナレバ可成早々御注文被下度希候

發兌　東京京橋區弓町　松村三松堂

をんな

◎本誌の目的は婦人をして常識に富み、世態に通じ、以て婦人の人格を高めんとを期するに在り。されば、其所說、新に流れず、舊に泥まず、一宗一派に偏らず、而も世に阿りて、徒らに俗流の歡心を迎へず。◎本誌は、輕佻浮華の弊風を避けんが爲に、表紙口繪など、不要の裝飾を省きて、專ら記事の精選を努む。◎本誌に收錄する所は、普通婦人雜誌に掲載する文學上、家政上の記事のみに止めずして、一科學の大意を掲げて、學理の概念を得しめ、一法制理財等の事を平易になして要を掲げて、諸書の渉獵に便ぜしめ、一和漢洋名著の綱要を掲げて、世態に通ぜしむ。◎本誌は、野卑なる言語及び劣等なる文字を避け、下品なる廣告を掲げず。◎本誌は、美風を奬勵せん爲に、毎號勤儉貯蓄の奬勵をなし、讀者は、みやび會員となり、其歌、文を本會に送付して、名家の批評添削を受くることを得。

毎月一回十五日發行毎號紙數百四十頁

定價拾五錢全國無遞送料

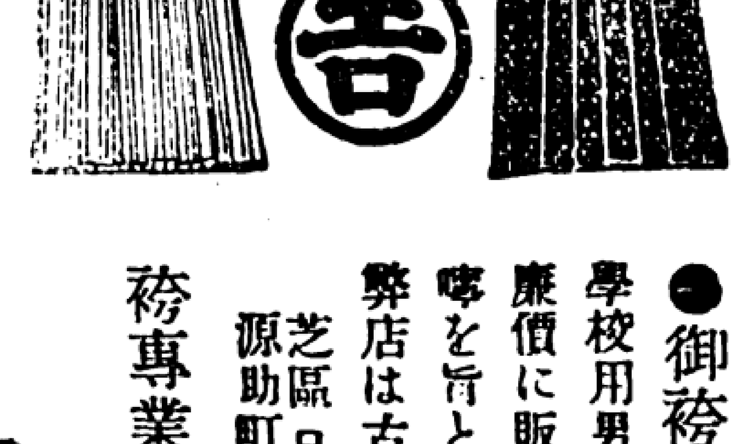
發行所　麹町區下二番町三十七番地　大日本女學會

◎女學生監督◎

近來府下留學女學生の風紀に感ずる處あり、夫洋行の留守中五ヶ年間女學生七八名を限り自宅に預り望の學校に通學せしめ夜間は望に應じ英語並にオルガンを教授す

東京市小石川區春日町四十三番地

英和女學校出身　近藤れん



商標

●御袴地●御仕立袴

學校用男女御徳用向特別品廉價に販賣仕裁縫は殊に叮嚀を旨とし高尚に仕立申候弊店は古昔より袴專業に候

芝區日蔭町通源助町十三番地

袴專業　住吉屋

犬飼吉兵衛　電話新橋二千百六十五番

明治三十六年四月廿五日發行（毎月十日廿五日二回）

明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

發行兼印刷人　山澤俊夫

編輯人　手島益雄

發行所　大日本女學會内

印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會機關

愛國婦人

毎月十日廿五日發行

（定價）一枚參錢五厘一ヶ月分七錢
三ヶ月貳拾壹錢半年分四拾貳錢壹ヶ年分八拾四錢全國無遞送料郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割增

廣告料五號活字一行四拾錢

發行所　東京市麹町區下二番町三十七番地　大日本女學會內　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

社說

偶感

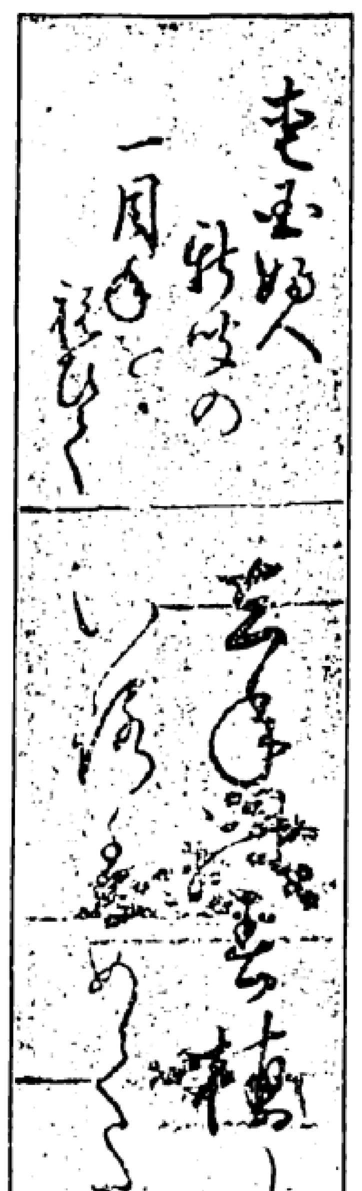
人によって好惡が違ふから、自分には面白い事と思ふとも、人には一向趣味が無いかも知れぬ。社交の花たる婦人は此點に深く注意が入ると思ふ。佛蘭西のセクレイといふ詩人の話に『曾て自分は詩が出來ると、逢ふ人毎に讀み聞かせて居ッた。所が友人の某詩人が、亦近來詩が出來ると來訪して自分に讀み聞かせる。隨分出來の良い詩でも、半ば過ぎまで讀み聞かされると、飽が來て厭になる。其處で自ら省みて其後詩を人に讀み聞かすとを一切止めにした』といふとがある。詩人同志でさへもさうであるから、文學趣味のない人は、如何に迷惑を感じるかも知れない。自分の面白く感じる事は、誰も面白がるてあらうと速斷するは、大なる誤りである。

又自分が其趣味を解せずして、人のする事を、一概につまらぬ事と速斷するのも大間違である。德川家康の遺訓に『予は兵馬倥偬の間に人となッたので、若年の頃から、碁など弄ぶ暇がなかッて、碁の打方を知らず、常に碁を圍む人を見ては、無下に痴漢と思うて居ッた。然るに老年に及んで徒然なまゝに、圍み始めて見ると、中々面白いものである、殊に無聊を慰めるには極めて良い遊戲である。由て思ふに、何事でも、自ら究めずに他人のする事を見て非難するのは、所謂不食嫌で、大きな僻事であるから、愼まねばならぬ。』といふ意味の事がある。實に世の中には、斯樣な僻事が多い。洋學者は漢學者を迂儒と嘲り、漢學者は洋學者を高襟と笑ひ、佛敎家は耶蘇敎を外道と誇り、耶蘇信者は佛敎を惡魔と罵るなど、其例は枚擧に遑がない程澤山にあらう。世の中は成立ッて居る以上は、何事に限らず、理窟を備へて居らぬものはない筈であるから、左樣に一概に非難すべきものではない。たまたま書を讀んで感じたから、茲にしるして、我が親愛なる會員方の同感を求める。

◎風俗改良に付て

伯爵　板垣退助

○我國の進步は總ての點に於て著しく發達して居るが、只社會改良の點は實に調うて居らぬ。之を外人が評して日本人は裸にフロックコートを着て居ると云ふが之は適評である○日本は今や外國に對し國と國との交りは對等に出來ても、人民と人民との交りは對等に出來ぬ有樣である○近來の政海の腐敗は見るに忍びぬが、其原因はつまり選擧が眞正に行はれぬからである、金の爲には政黨主義、人物の如何は顧みずして選擧する結果である。○實業の不振も社會の信用が發達せぬからである。信用なき處には取引が止まり、金融が付かぬも當然である、之を救濟するには矢張り社會から改良せねばならぬ○學校敎育は如何によく行き届いて居ても、學校以外の敎育即ち社會敎育が盛に行はれぬ時は、敎育の目的は達せられぬのである○社會改良風俗改良は如何にすれば行はれるかと云ふに、輿論を作ッて世の風潮を制せねばならぬ。之を制せんとするには、最も通俗で入り易き事より始めねばならぬ○風俗の問題は人の內心の關係よりも、外形の關係である。心の改良よりは形の改良である。心がよくば形はどうでもよいと云ふ譯に往かぬ。道德が盛なればとて、それて直ちに風俗が改良せらるゝとはいかぬ○風俗改良を道德の方面より行ふとするはむつかしい事である。道德のみで往けば政事はいらぬ。政事は外形に顯はれた行爲を、法律によッて制するのであるが、法律以外に社會の制裁力を以て或點迄は改良せねばならぬ○今日日本の社會の有樣はどうてあるか、英國人などが吾野卑な風俗を見たらどうてあらうか、決して日本人と相親まぬてあらう。相親まねば信用も生せぬ、實業も發達せぬ譯である○日本人の不謹愼な事は、內地のみならず、外國に迄往ッて行うて居る。支那朝鮮あたりでも頗る亂暴である。如何に外交が巧妙であッても、後から人民が之を破壞して往ッては、國運を發展せしむる事は出來ぬ○日本人も今日では交際の範圍が昔とは余程異なッて來た。只命令に服從するのみでない、自治の民である外國人と、對等の交際をせねばならぬから、海外の事もよく審かにして、國家の汚辱とならぬ事をばよく心懸けねばならぬ○日本婦人が一寸他人を訪問するにも、土產物を携へねばならぬと云ふ如きは、交際の狹い證據で、之れ等は斷して廢せねばならぬ○年頭歲暮の僅なる贈物の如きも虛禮に近い、自分の贈たものが又轉々して自分の處へ戾るが如き事は赤面すべき風俗である○風俗に大關係を有するは行住坐臥で衣服家屋が改良すべき重なる點であるが、日本人の端座の制は足利の二三代頃より出來たものである西洋人が日本人は足の短い人種であると云ふが之は端坐の結果である、之は直ちに椅子にかけると迄は往かずとも、箕踞位には改良したいものである○日本の衣服は唐の制度を採用したもので、始めは公卿が用ゐて武家は用ゐぬ。歷史にも長袖者流何んぞ兵を知らんと云ふ事がある。處が德川時代より長袖の人となッて平民まで行はれる事になッた○袖か勞働の爲に不便な事は明かである。勞働は神聖である。神聖なる勞働の爲には最も便利なる衣服を作らねばならぬ○日本の下等社會の言葉に一はだぬがふかと云ふ言葉がある。之は即ち袖の不便を證して余りある言葉である○婦人服にも實用的と美術的のものとを選ばねばならぬ。京都の大原女などの服は便利て且つ美術的であるが東北地方の股引は、餘り極端であると思ふ。要は其中庸を採るにありだ○日本の家屋には疊が敷いてある。これはごろごろして寢るには便利であるが、起ッて働くには不便である。それで一寸した事にも人を使ふ樣になる。衣服も之に準して二樣に用ゐて外所往きには着替る。之に反して洋服ならば應接も心安い○上流社會に至ると洋館と日本室とを作り、衣服も洋服と日本服とを作るなどは甚だ不經濟な譯である○如此云へば夫れなら妙案を立てゝ貰ひたいと云ふ人もあらうが、我々が別に立案するにも及ばぬ。兩陛下は畏くも既に其例を御示しになッて居る依て上流社會より段々其例にならうて變更せねばならぬ。其變更方法も日本の歷史を鑑みて、長短取捨せねばならぬ。三千年來の風俗にして、其善良なるものは保存せねばならぬ。



評議員棚橋絢子筆

京都支部第二回大會の盛會をとほきて

京都　會員　花輪余志野子

赤心の花とさきたるこのまとゐ
　いよいよさかりになるぞうれしき

愛國婦人の社說を見る度毎に感するのあまり

見む人よ永久にわすれそ此文の
　世にをしへたる花の言の葉

閑院宮妃殿下を總裁に頂きたりと聞て

長崎　會員　式守澄江子

いや高き富士をあふきて今日よりは
　裾野の松も千代にさかえん

閑院宮妃殿下の總裁にならせ給ふをかしこみまつりて

宮城　會員　山田さと子

大御代に盡させ給ふみこゝろを
　あふきまつるもかしこかりけり

雲井より移らせ給ふ姫ゆりを
　千代のかさしと仰きまつらん

宮城縣支部第一回總會のまとひにつらなりて

宮城縣副幹事長　錦戸順子

眞心のちかひてなれるけふそとて
　さかえゆく世の末そうれしき

朝日子の恵の露のかゝらすは
　老木のうめはにほはさらまし

電話番町壹千三百三十番

◎本號には附錄として評議員山內侯爵夫人同鴻池夫人同一ノ瀬夫人の肖像附錄を添へたり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論説

◎音樂談

東京音樂學校教授　幸田幸子談話

嬢は郡司大尉幸田露伴及び幸田延子諸氏の令妹なり。夙に音樂に志し音樂學校卒業後選ばれて獨乙留學を命せられ、業成りて此程歸朝し、去にし一日同校春期演奏會にて各内親王殿下の御前に其獨特の技を演じて、各殿下及び斯道の達人として自ら任ずる各教授諸氏の喝采を博せられたり、本篇は同孃を訪問して、得たる談話の要領なり、聽誤りの責は記者にあり。

私が獨乙の伯林に留學致して居りましたのは僅に三年餘りで、同地の音樂專門學校で研究し、此程歸朝致して未だ日もありませぬから、十分の御話は出來ませぬが、始め學校への入學試驗はなか〳〵むづかしい方でありましたが、幸に入學を許されまして、同校の教授ヨアヒム氏に就て專らヴァイオリンを研究致しました。始めの程はピアノも兼修して居りましたが、後にはヴァイオリンばかり習ふ事に致しました。私の入學しました學校の生徒の重なる目的は、技術家として世に立たんとするものが多數で、中には教員となる目的のものもありましたが、獨乙は流石音樂の本場だけありまして、世界各國の人が入り込んで居ります。日本よりも、私の外に某と云ふ婦人が一人入學して居りました。獨乙の音樂が盛な事は非常なものて、中等以上の家庭にはピアノの一臺位備へ付けてない家は無い位であります、特に家庭に於ての音樂が盛でありまして、家内一同晩餐を濟ました後は、老幼となく集まッて、音樂を奏して遊ぶと云ふ有樣で、之が爲に家庭も融和して、十分に家の内で快樂を取ることが出來ます。又晩餐等に友人などを招きますと、來客の方から譜本などを携へて來て、音樂を奏して家内のものに聞かすと云ふ樣な風で、子供なども亦之に和して歌ふと云ふ有樣であります。交際と音樂とは常に相伴ふものゝ樣になッて居りまして、中等社會以上のものは、男女に拘はらず音樂が出來ないものはありませぬ。よし音樂が出來ぬにしても、音樂の嗜好のないものはありませぬ。第一交際場裏に於ける話の種としても、音樂の事を知らぬと手持無沙汰であッて、趣味深き交際は出來ぬと云ふ有樣です。夫れてありますから、社會の好みが音樂界に向ひ、總ての會合遊技などには必ず音樂が伴なッて居ります。社會も音樂家を中々優待して居りまして、有名な人になりますと、政府より勳章を貰ッたり、位階を貰ッたり致します。又獨乙の宮中には立派なる音樂隊が組織されてあります。ヲペラへ出る音樂家などは中々高名な人で、音樂會は中々盛んに行はれ、其種類も多くて、大概每晚ある位であります。獨乙皇帝陛下及び皇后陛下の御前で、私が彈いたかとの事ですか……左樣一度あります夫れは或る女學校の開校式へ御臨場の際でありましたが、其時には一同と一緒に彈きました。私が獨乙で箏を彈た事ですか……夫れは同地の博物館に於て、各國からの樂器が出品せられ、東洋からも日本支那の樂器もありましたが、其中に日本の箏がありまして、之を說明する委員の方から私に彈いて呉れとの御依賴てありましたから、昔し習ひ覺えの一曲を其席で彈じ、日本の箏といふものはどう云ふ音が出るかを知した迄であります。

學校と音樂との關係の事は、よく調べて居りませんが、小學校時代では唱歌が余程よく行渡つて居る樣に思ひます、上流社會になりますと、家庭に音樂教師を傭ひ入れて子弟に習はすのもあります、何しろ一般に音樂が盛んでありますから、幼少の時から何時となく自然に聞き覺えて、音樂的趣味を解するやうであります。日本へ歸つて見ますと僅の年月の間に中々音樂界も盛んになつた樣です、音樂會を開く度每に、多くの聽衆が堂に充つると云ふの有樣を見ても、一般に社會の人が音樂を嗜む樣に至つた事も知れます。併し私の見た處では、音樂會に集まる人々が悉く音樂を理解し、面白く愉快に聞く人であるか、或は此度は誰が演奏するとか、誰が往くから自分も往と云ふ風に、聞くよりは見に來る人が多くあるのではないか、其邊の處はまだ日も淺し、確かと知れませんが、學校のコーラスなどは以前に比べると餘程進步して居ると云ふ事は確かに認むる次第であります。日本の音樂會では兎角歐州に流行して居る樂曲などを其儘持つて來て演奏致しますから、始めて聞く人や素人の方には耳が慣れて居ませぬから聞き難うて、折角の面白い處も聞き逃がして仕舞ふと云ふ恐れがあります。之は聞く人の程度に應じて、段々に簡單なものより複雜なものに移ると云ふ有樣でなくてはなりませぬ。つまり聞く人と彈く人との意氣相投する樣に仕組まねばならぬ事と思ひます。夫れてありますから折角苦心して彈かれる曲も聞く人には何だかさッぱり分らぬといふ風では斯界の進步もむつかしい事と思ひます。私は日本に歸りまして、未だ日も淺うありますし、音樂界の觀察も屆きませず、又音樂を普及せしむる方法等についても、別段大した考へを以て歸つた譯でもありませぬから、御話しの材料が少くて御氣の毒であります。

◎衣食住と體育との關係

女子高等師範學校教授　井口あくり子

○米國の婦人は概して交際し易い。何事にても、打解けて話をする。日本婦人は之に反して打解け難く、天眞爛熳と云ふ樣な交際は出來ない○米國の婦人は快闊と進取の氣象に富んて居る。○新智識を得んとする心掛は老ても衰へない。之は體育を重ずる結果、身體が健なのに起因するのだらうと思ふ○米國の婦人は少し氣分でも惡い時は散步するとか運動するとかして、頭を爽にし氣を快闊に持つ、之に反して日本婦人は一室に垂籠て仕舞ふ流儀であるから、自から身體か惡くなる道理である。

○服裝改良の說は近來やかましいが筒袖が高等女學校以上の學校に行なはれて居らぬのは缺點である。何故行はれぬかと聞くと、只見ともないと云ふので之が身體のため利益であるとの考へは一もない、女學校に海老茶袴は流行して居るが、之は今日では一の見榮の爲に我れも〳〵と着るやうになつた爲、種々な惡評さへ受けるに至つたのは流行の弊であります○日本の婦人は衣服に甚だ金を掛けて居る。歐洲の婦人と比べると餘り贅澤て、歐洲では一年に衣服を一二度も新調する樣な事は決してない○殊に小兒の內から、衣服を幾枚も持つて居るのは日本に限ると思はれる、他國ては夏冬大概一枚位のものである○歐洲人は食物に比較的多くの金を掛ける。三度とも肉食と云ふ有樣であるから壯健である。日本では衣類に金を掛けて重いものを着て身體をつからし其上によき食物を食はない、是て以て壯健なる國民が出來る譯がない○特に日本に於て父兄教師の注意すへき事は小兒の學校辨當が至つて少い事である。何故かと聞くと是れも少いのを持て行くを一の見榮の樣にして大な辨當を持つて往けば大食ひとそしられるとの事であるが之は間違ひてある、少食して永く勉强する力か續く道理がない○日本人は小い上に脚部が短いか爲に、殊に少さく見える、之れは小供の時より端坐するので脚部の營養不良の結果である。之は日本の家屋の造方にもよるのであるから之も早晚改良すべきものである○日本婦人の足が內輪に曲つて居るは、端坐の爲であつて端坐は天然の形さへ變更する恐るべきものである○以上種々なる缺點は世間多くの人は知つて居つても中々改良か出來ぬ。其次第は要するに金がないからである、併し金がないからとて、出來ぬ事はない。安價な机と椅子とを一つ宛求めても端坐の弊を廢する事が出來るてはありませぬか○今日では日本婦人は美術なり文學なりを以て樂しみとして居るが、今後は少し運動の方面を熾んにして、運動によつて氣を快闊にし、精神を慰める事を計るやうにしたいものである。

◎男女早婚一覽表

(前號早婚及び晩婚の話參照)

統計局審査官　吳文聰

府縣	結婚組數	結婚每百早婚 夫十九歲まで	結婚每百早婚 妻十七歲まで
青森	五、〇八一	一八、〇五	四〇、四四
岩手	四、八二八	二四、一九	四〇、一八
秋田	五、四三五	一四、四一	三七、六八
山形	六、九三四	一三、七〇	二二、五五
宮城	六、二八四	一二、五七	二五、九四
福島	六、九二九	一六、八四	一九、七〇
新潟	一五、三一三	一一、七五	一五、〇一
富山	五、七四〇	六、三一	二四、三二
石川	五、三八三	五、六三	一九、六七
福井	四、六八四	七、八一	一六、一六
栃木	五、五七二	一四、〇一	一二、一七
茨城	七、二七一	一二、七九	一三、四五
群馬	五、八六九	一四、三五	一一、〇一
埼玉	九、二〇七	一二、七〇	一〇、三八
千葉	八、九二六	一三、六七	一六、六三
東京	一三、一三三	二、九八	九、一一
神奈川	六、二八四	三、五八	八、六二
長野	六、四八九	六、六七	一二、〇二
山梨	三、三九九	六、五六	八、三八
靜岡	九、一九〇	一〇、〇二	二〇、九八
愛知	一〇、三四二	五、六七	一三、四四
岐阜	六、四八九	四、二五	一二、六八
滋賀	四、四九八	三、八九	七、八三
三重	六、三〇〇	六、一三	一一、二七

府縣	結婚組數	結婚每百早婚 夫十九歲まで	結婚每百早婚 妻十七歲まで
和歌山	四、三六七	四、一四	八、八四
奈良	三、〇〇一	五、七五	六、八〇
京都	六、一四八	二、九一	九、七四
大阪	八、七三二	三、二九	八、〇九
兵庫	一〇、一五九	五、一九	一一、九〇
鳥取	二、四二九	一一、四〇	一四、一二
島根	四、〇五一	七、一六	一三、八〇
岡山	六、〇七三	七、〇八	一二、九二
廣島	八、六二二	七、四〇	一五、五四
山口	七、〇八一	四、四一	一二、九二
香川	四、一八七	六、三五	一一、九七
德島	四、一五五	八、七八	一一、八四
愛媛	六、二七二	四、九三	一四、二九
高知	三、五六九	七、六五	一九、三一
長崎	四、七三一	五、五八	一一、五〇
福岡	九、一一三	四、二一	一一、〇七
大分	四、九〇五	五、七一	一二、四二
佐賀	三、九四一	五、一〇	九、五二
熊本	六、八八四	三、九五	七、七九
宮崎	二、四二四	七、五五	一三、六二
鹿兒島	五、九二三	三、四四	七、〇七
北海道	六、三一五	六、一三	一八、七八
沖繩	二、四九三	一六、三二	七、六二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人傳

松尾多世子の傳（承前）

評議員　下田歌子

斯くて、四方勤王の士雲のごとく起りて、皇家の御稜威をかゝげ、武臣の專横をおさへんと呼はるゝ聲の次第々々に、高く且つ多く成りもて行くまゝに久しく廢滅に歸したりし、行幸の通も辛うじて開け初めたり。名は尊嚴に借りて、其實は實權を奪ひ、畏くも一天萬乘の君は、ひとへに座敷牢獄にとらへ置き奉りしが如くなし申しゝかば廣くもあらぬ　皇居のなかにおぼすに適はぬ世を明し暮らさせ給ひ、みじめの內なる比叡、愛宕の高峯にまよふ浮雲も我が世の外のものとのみ、打ち眺め在しましけんを、いと珍らかにも裝ひたつる鳳輦の御簾のすき影、むかしに還る色もめでたし。さて文久三年といふとしの春三月　天皇加茂の御社に行幸ましけるほど、洛中洛外、さゞめき渡りて、近國の民とも、恰も蟻の甘きにつくがごとく、寄り集ひて立ちこみたるさま、まことに立錐の地も無しとは、それをこそ云ふらめと覺えて、夥しといふもおろかなり。多世女、この盛典をつたへ承りて、そゞろに感涙にむせびつゝ、

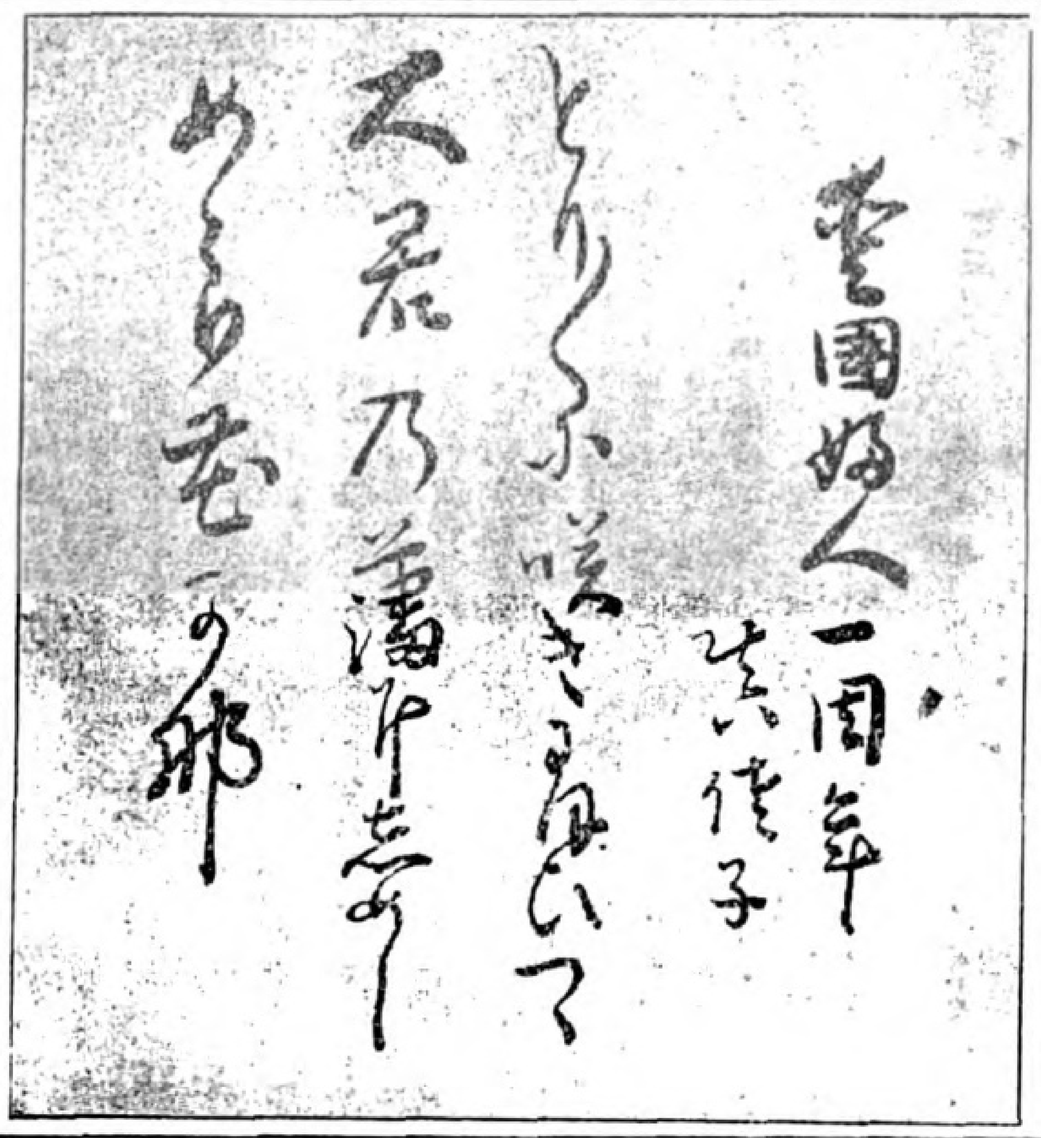
　君と臣と道をたゞすの神垣に、いでましの世となるぞうれしき。とぞうたひたりける。

さるほどに諸國の有志遠く長洲侯が、勤王の志深く且つ士を愛するの情厚きよしを傳聞きて、或は藩を脫し、或は衛りを遁れて、爰に來り集まる者、日に月に多きを加へぬ。斯かりしかば、中には尊王攘夷に借りて、其實已れが口を糊せんとするあり、又は憂國志士の形を眞似て竊かに幕府の探偵をつとむるの徒あり。殊に斯く亂を胎める世のたゞすまひ、昨日は無二の味方と賴みつる人も、今日は忽ちにして敵となり、始めて千尋なす巖の撼かし難き心ぞと信じたりしも、終には柔軟なる綿のごと化し去るも、亦少しとせず。されは死を誓ひ、規律を固くして結べる中の友垣も、狐疑猜忌の念やむ時なく、いと淺間しき世の形態とは成りにたりけり。是故に多世女は常にその潛中に潛伏せる人々の言語擧動にも、子細に能く心をとゞめて、時々そが馬脚を見あらはし、竊かに同士の人に告げて、禍を未發に防ぎしこともしば〳〵なりき。されば女史が注意の大方ならずして且つは人を見る眼の明かなるに誰とて感ぜぬ者も無くいよ〳〵諸士が女史に對する尊敬の心を深めぬ。

◎家庭の快樂と下流に對する同情

文學士　下田次郎述

家庭は一家に於ける樂園て、主婦は此樂園の主であれば、此樂園に集まる人々に各々適當な樂を與へる事は即ち樂園の主の働きに屬します。故に此樂園は常に春風駘蕩の有樣でなくてはなりませぬ、主人なり子供なり外部の働に疲勞して夕暮時に此樂園に入つて慰籍を受けんが爲に歸ッて來るのであります、故に此樂園の主は如何にせば是等の人々を樂しましむるに足るかと云ふ事を常に工夫する事か緊要てあります。所が我日本の家庭には其邊の用意がとんと整うて居らぬ樣てあります。かくては主人の活働力も十分に續かず隨ッて社會の事業も發達せぬ譯であります。さて其工夫も色々あるでありませうが、其一二を申せば、第一家庭的音樂の獎勵、第二文學的趣味の注入、第三家庭的遊技の勵行であると存じます。殊に第三の方法は身體の壯健を來たすの效力と相伴ふものでありまして家內一同が集まッて簡單なる遊技を行ふは頗るよい事と思ひます。



（評議員　三輪田眞佐子筆）

家庭が愉快にありませぬと、主人は家に居ないで家を飛出します。これは日本ばかりでなく、外國にも其弊がありまして、殊に其弊は下等の勞働者に多くあります。何處でも無敎育な婦人は主人を樂ましめる工夫を知りませぬから、兎角家庭の和樂を缺く樣になります。故に外國では主人を家に引付け置くだけの伎倆を養成せしむる爲めに、貴婦人方の計ひで夜學校が設立してあります。即ち工女其他下等社會の婦人が、主婦となッて後、家庭の快樂を作るに必要なる智識を養成する處であります。日本に於いても追ては其樣の設備が欲しいものであります。

次に外國では貴婦人が下等社會のものに同情を表する事が甚だしいのであります。夫の英國に於ける皇室の貧民饗應などは大したもので、一度に五十万人を招き、その爲に費した酒量が船に三艘、牛は幾十頭、團子が列車に幾十列積む程であッたと云ふ位盛なものでありました。貴族も個人て時々貧民を饗應し貴婦人が自から其席に出て斡旋の勞を執るゝと云ふ有樣であります。又、時々下女の饗應會と云ふものがあります。これは時には皇后陛下よりの饗應もありますが、貴婦人の催して饗應會を開いて下女を慰める事になつて居るのであります。日本では下女を奴隷の樣に朝から晩まで制限なく使うて居りますが、之れ等は何んとか工夫して、下女の生活を愉快にせしめ、時々は饗應會を開くと云ふ樣にしたい事と思ひます。

◎家計整理の事について

會員　某夫人談話

貴紙に毎號掲載せらるゝ家計收支の實況は、實に面白く拜見して居りますが、家計の有樣は各々家々によッて種々相違のあるもので、同じ收入の家ても官吏と商人とは暮し向きが違ひ、子のある家と、ない家とは費用の掛り方が余程異ひます。又田舍の生活と東京の生活とは、まるで狀態が異ひますから、田舍の人の出された表は幾ら善く出來て居りましても、私共の參考にはなり兼ます。そこて此東京生活でも、中等社會の人が一番暮し易う御座います。上流社會でも余程上の方になると、暮し易いのは勿論でありますが、其中間のものが實に暮し難いものであります。なぜかと申すと、中等社會の人になると、下女も置かずして濟むし、買物も自身に出掛けて往ッて、最も適當な品を選んで、廉價に買ひ求められますが、少し上流となると、自ら出掛けると云ふ譯には參らぬ慣習になッて居りますから、高價のものと知りながら、出入の八百屋肴屋より買求めねばならず隨て現物を見ないで買ふ樣になりますから、高價なばかりてなく、分量の多い少いの見計ひが付かず、自然不用のものをも買ッたりする事がありまして、不經濟の事が多くあります。其他交際上に付きましても、主人の方も多くかゝりますが、家庭の方も多くかゝる譯であります。夫れて中等上等の標準は、私の考へては先つ五六十圓位が中等で、百二三十圓以上が上流のものと考へます。次に子供のある家と、子供のない家とは費用が余程違ひます十歲以上の子供二人と、成年以上の者一人との割合は、子供二人の方が多くかゝります。又哺乳兒は中々手間がかゝるもので、主婦の働きを拘束しますから、家計の經濟上には餘程影響を及すものであります。夫れから話が變りますが、

會計帳の作り方も色々あらうと思ひますが、日本も歐米各國の樣に、手形が流行すると大變に便利であります。私共の如き官吏に於ても貰ッた金を銀行に預けて、魚屋でも呉服屋でも二三圓以上の支拂には、總て手形で出すと云ふ風習になりますと、會計帳も非常に整理して往きますが、今日では何處でもさうてありませうが、會計帳などは人樣の前に恥かしくて出されぬと云ふ有樣てあります。そこて私は新發明と申す程ではありませぬが、紙の袋を作りまして、之に飮食費、被服費、敎育費、交際費、衛生費、租稅小遣と云ふ風に、大體の科目を書き記し置き、俸給を貰ッた時は其科目に割當、金を其袋の中に入れて置きまして、必要の時其袋より出して仕拂ひ、可成其袋の金と他の袋の金と流用を許さぬ事に致して、殘余があッたら、之を預金する事に致して居りますが、之もまだ十分な方法とは覺えませぬから、どうか皆さんの家計整理上の樣子を少し聞かして戴きたう存します。云々

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎家政要領

家事衛生　食物

海藻　昆布・乾海苔・裙帯菜・荒布・羊栖菜等最も廣く用ゐられ、孰れも多少の蛋白質を含めども、滋養に富める食物にあらず。又、凍瓊脂・心太も賞すべきにあらず。唯、凍瓊脂は魚膠に代用して適當なる食料なり。其他鷄冠菜・海蘊・水松等は、殆んど食物としての効なし。

菌類　松茸・香蕈・青頭菌・松露等は殊に珍重すれども、食料としての價値なし。香蕈・松茸は多少の蛋白質を含めども、消化極めて惡し。又、菌類は腐り易く、且つ其形の食ふべき物に似て毒あるもの多し、普通以外の菌類は一切食ふべからず。

果實　果實は野菜と略同じく、皆酸類・水分及糖分に富み、香氣（特有の揮發油）を有するを以て、人之を嗜好す。現に肉類は勿論五穀をも斷ち、木食のみを爲す修行者あるを見ても、能く榮養を支へ得べき食物たるを知るべし。果實は之を適量に用ゐれば腸胃の工合を整へ、食物の消化を促し、疾病を豫防するの效あり。されども、之を過量に用ゐる時は、下利を生ずるとあり。總じて水菓子は食後直に用ゐるを可とす。間食として夜分に食するは殊に宜しからず。小兒に與ふるには、別して疵なく腐敗に傾かざるものを用ゐるべし。蛔虫は大抵水菓子より生ずるものなり。

油類　西洋にては豚脂・精製牛脂・牛酪を用ゐれども、我國にては其用無し。此等の動物性脂肪の外、植物の油は、西洋にては橄欖油を多く用ゐ、我國にては胡麻、支那にては落花生・榧・胡桃の油を用ゐる。胡麻油は白搾りは害なけれども、油を多く得んが爲に炒りて搾りたるもの、又は陳敗せるものは害あり。又菘子油或は棉實油を以て、本胡麻に代用することあり。是等は消化を害し下利を生ずるとあり。總じて油にてあげたる物は、日本人の如く米飯を食する者には宜しからず。

砂糖　砂糖は其種類に由て糖分を異にす。糖分の最も多きは棒砂糖にて、百分の九十八あり。和三盆は九十六、天光は八十六、黒砂糖（薩摩・大隅產）は僅に七十六だけ糖分にて、其他は交雜物なり。交雜物の多き砂糖中には糖虫の混じ居るものあり。此虫は衛生上害はなきも、是れにて其不潔なるとを知るべし。砂糖は容易に躰内に吸收せらるれども、過量に用ゐる時は、胃中に脂肪酸類を生じ、いはゆる酸敗を起す。近來化學的製法に由て、サクカリンといふ物を製せり。是れは砂糖の二百八十倍の甘味を有す。今日は尚進んでツクケリン・ヅルシンなどの發明ありたり。

飴　飴の製法は麥芽を煎熬めて之に澱粉（もと）を混ずるに在り、而して其澱粉を混ぜざるを水飴といふ。堅練には種々の物を混じたるなり。水飴は百分の七十弱の糖分あり。大に吸收宜しきものなれども、是れのみにて小兒の發育を計るには足らず。

蜜　蜜は糖中の結晶せざる部分にて、粗製の品に多し。蜂蜜は之に反して最も良き糖分なり。

◎東京帝國大學學生の學費計算

文科大學生某報知

小生は東京文科大學の一學生に候、小生の父は地方の一官吏に候而して小生のために毎月俸給の三分一を割くの苦を受けつゝあるものに候、況して此の定額のみにても一小官吏には餘りに苦しき負擔に候、況して此の定額の外毎年歸省の旅費往復凡そ拾六圓を要すべく、又教科書并に衣服類に又拾五六圓を要すべく候へば之等を合算し其他臨時の費用を以てすれば少くも一月平均廿五圓を要すべく候
さてくなるまじきは小官吏、持つまじきものは男の子に候、記者足下以て如何となす。

學費收入高　一金貳拾圓也
支出合計高　一金貳拾圓也

内譯

費目	金額	内譯
宿拂	金九圓八拾五錢	
食料		金六圓五拾錢
間代		金貳圓五拾錢
炭油		金八拾五錢
授業料	金貳圓五拾錢	
交際費	金貳圓拾五錢	
飲食物		金壹圓五拾錢
會費其他		金六拾五錢
書籍新聞雜誌費	金壹圓五拾錢	
雜費	金四圓	
湯、散髮		金五拾錢
郵便切手		金四拾五錢
日用雜品		金貳圓
見料、鞄、馬車賃		金參拾五錢
飲食物		金七拾錢

◎日本女子大學校學生の學費計算

日本女子大學校内　某子報知

左の計算書は私の同寮内一組の一人分にて候まゝ、人々により多少の差異はまぬかれざれども、彼是斟酌せし一ヶ月分の計算に御座候。尚左表の外、別科又は隨意科目を實習するものは、その外壹圓以上を要し候。又化粧飾品に大費ある方々も隨分見受け候も、實行せぬ身には相わからず候かしこ。

學費收入　一金拾參圓也
支出高　一金拾貳圓八拾七錢也

内

費目	金額
授業料及校費	金參圓
食料及會費	金七圓
親睦會費	金拾錢
郷友會費	金參拾錢
筆紙	金貳拾錢
切手	金參拾錢
洗濯石鹸	金貳錢
歯磨粉	金參錢
短冊二枚	金拾八錢
國文大觀豫約代	金五錢
車代	金參錢
小包郵便代	金參錢
髪洗粉	金五錢
ペン先	金參錢
卷紙	金五錢
運動會費	金壹圓五拾錢

殘高拾參錢也

◎各地特殊の料理（寄稿を募る）

（二二）精進薩摩　岡山縣　會員某

前々號に尾の道の姉君より薩摩飯報知せられたるに由り、私も心つき候まゝ薩摩飯の精進のものを御報知申上候

先づ胡麻を熬りて擂り置き、味噌を鍋の蓋にぬりつけて燒きたるを、胡麻にすりまぜ、胡麻味噌をつくりおくなり。又蒟蒻を細く短冊に切り、堅魚節のだし醤油味淋にて煮あげ、薄く味をつけたるを、前にこしらへ置きたる胡麻味噌に混ぜ、更に湯を少し注ぎてそれをゆるめ（漸く箸にてはさめる位にゆるめるにて、ドロ〱してはよろしからず）熱き飯を茶碗に盛りたる上に、適宜にかけて用ゐるなり。藥味は好みに由り何にてもよし、存外に味ひ宜しきものなり。但し蒟蒻の代りに、松茸を用ゐれば一層美味なり、罐詰の松茸にても差支へなし。

編者曰　薩摩飯につき前號掲載後、德島縣愛媛縣よりも報知ありたれど、重複に付き遺憾ながら省きぬ。唯大同の中小異あり、德島よりの報には魚と味噌とすりまぜ、ゆるめたる後に鍋に入れ火にかけ、三度位ふかすべしとあり。愛媛よりの報には味噌をゆるめるに、水にてゆるめず、魚をやきて肉をむしりたるあとの骨を煮出して、其汁にてゆるめるとあり、參考の爲に附記す。

（二三）鯔の丸鮨　大分縣宇佐郡某女報知

鯔の新らしいのを背開きにしまして、骨と眼玉とを除き（小骨は毛拔でぬき鰭は鋏でつみます）、能々洗ひ、酢に鹽を少々入れ浸して置きます。さて飯をたきまして、酢に鹽・砂糖をよき程に入れ、能くまぜてさましまず。其飯を握り、鯔にはらませ、切溜につめ、暫く壓し置き、八分位の厚さに切り客に出します。

此料理は宇佐郡地方特殊の物の樣に聞きました。其起原はしかと存じませんが、當地方では酒宴のをり專ら用ゐます。

◎奥村刀自遊説日記

四月十八日　午后一時より、京都下京區松原通り烏丸因幡藥師堂に於て開會、聽衆六七拾名に過ぎざりしかども二時間の大演説、一同大に感激したり。同四時閉會。

同　十九日　京都師範學校女子部教員河島末菊子（支部評議員）の周旋により、午后六時より同校に於て開會す。聽衆は專ら同校生徒（男子三百名女子百八十余名）にて同十時閉會せり。

同　二十日　午後七時より上京區間の町通竹屋町下る竹間小學校にて開會、聽衆約五百名、同九時半閉會、本日は午後一時より支部に於て幹事會を開き、大森幹事長始め各幹事八名會合、大會の始末に關し協議せられたり。

同　廿一日　午前八時京都支部を出て、九時十三分七條驛より發車、十一時大坂市なる廣岡評議員の邸に入る。午後二時より大坂支部大會に臨む。來會者約一千名にして盛會なりき。當日の盛況は之を別項にかゝげたり。

同　廿二日　廣岡松本鶴原三評議員及び土居鴻池の幹事諸氏の案内にて博覽會を觀る。

同　廿三日　午後一時半廣岡邸を發す、難波停車場迄廣岡評議員見送らる。二時半發車、五時半和歌山停車場に着す、椿幹事長樺山副幹事長以下九鬼折原加藤櫻井橘の各幹事折原參事官楠見縣屬山本市書記外有志家數名出迎はれ、市の有力家橘吉右衛門氏邸に入る。知事及び書記官訪問せられ諸般の協議をなす。

同　廿四日　午前八時より茨木中將小島少將瀧本大佐中村陸軍會計監督椿知事加藤市長樺山書記官櫻井警部長の諸氏を訪問す。午後二時より縣會議事堂に於て開會、聽衆は官吏及び同夫人有志者夫人師範學校男女生徒等約一千名、即時五十餘名の入會者あり、同五時閉會。幹事長各幹事は勿論市長參事官等も幹旋勸誘せられたり。

同　廿五日　午前十時より縣會議事堂に開會す。聽衆約千三百名、即時入會者數十名あり、午後一時閉會。昨今兩日を以て會員百五十餘名を增加せりと聞く。午後幹事長以下の幹旋前日の如し。午後三時橘邸を發し役員一同と共に紀三井寺に參詣し和歌浦妹脊山の某樓に於ける慰勞會の招に應ず。椿幹事長以下有志者の歡待を受けたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉京都支部大會 [illegible] 當日の會計係たりし幹事たちは式後 [illegible] 深更までかゝりて會計を整理せら [illegible] 式後より二千餘ケ所に奔走勤務し、深更までかゝられたりとぞ。◉大阪博覽會に行幸啓遊ばさるゝ [illegible]、京都御所に御駐輦の御都合なれば、去月九日十日先以て京都へ行幸啓あり、兩日共、京都支部の會員方は、[illegible] 御注目に預り、一同よろこびあへりとぞ。◉大阪支部總會は、總裁殿下の御都合を伺ひ、急に開會したるもあり。殊に博覽會の爲に、何れの家にても各地の親戚知人など來客ありて、婦人方は多忙 [illegible] 新橋に奉迎せられたる人々左の如し、松平すま子、岡木とみ子、松平久子、佐藤なほ子、（以上評議員）服部文子、藤田幸子（以上支部幹事總代）

◉正誤　前號堀内氏の總裁殿下御旅行記事中會長 [illegible]

愛國婦人會記事

◉評議員會　本月中の評議員會は左の日割の通り開會す。

五月十三日（第二水曜日）第四の組
五月二十日（第三水曜日）第五の組
五月二十七日（第四水曜日）第一の組

◉評議員會の景況　四月二十二日第一組評議員會に出席せられたるは、一條谷兩理事始め清浦鍊子、島田信子、仁杉歌子、濱尾作子、松平久子、神山万佐子、佐藤猶子、阪井春子の各評議員諸氏なり。又四月廿九日第二組評議員會に出席せられたるは、近衞理事始め松平須磨子、鳩山春子、中山幸子、神山万佐子の各評議員にて種々會務の協議ありたり。

◉神奈川支部發會式　本月廿四日（日曜）午後三時より、神奈川縣支部大會を横濱市横濱小學校内に於て開く筈なり。當日は總裁閑院宮妃殿下も御臨場あらせられ、會長、理事、評議員方も列席せらるゝ都合なるが、今同會に於ける殿下奉迎の順序及び開會の次第を記さんに、幹事長又は副幹事長は新橋にて奉迎し午後一時十五分新橋御發車、同二時十一分横濱停車場御着、幹事一同茲にて奉迎、直に横濱小學校内に御參着御休憩、會員は御休憩所前に於て奉迎、午後三時式場に御臺臨の御豫定なり。尚式の順序は（一）午後一時三十分諸員休憩所に參集（二）午後二時三十分諸員式場に整列（三）總裁殿下御臺臨（諸員敬禮）（四）幹事長支部發會式を兼第一回總會を開く旨を告く（五）幹事長會員表を捧呈す（六）總裁殿下御諭旨（七）幹事長答詞（八）副幹事長事務報告（九）本會出張員演説（十）會員總代祝詞（十一）有志者祝詞（十二）幹事長式の終りを告く（十三）總裁殿下御退場（十四）諸員退場（四時終了の見込）（十五）餘興（四時より開始）殿下御歸京奉送の順序は奉迎の時に同じ、時間は午後五時或は同五時三十分發車の御豫定なり。尚同縣下の會員は極めて多數にて、本部よりも職員の方々出張せらるゝ事なれば當日は定めて盛會なるべし。

◉宮城縣支部第一總會　本會宮城縣支部に於ては、第一回總會を去にし三月廿日仙臺市北一番町元赤十字社支部内に於て開きたるが、今其景況を記さんに、午後二時半會員一同着席、平岡副幹事長開會の辭を陳べ、錦戸副幹事長事務の報告をなし、來賓中平岡書記官、石橋參謀長の祝詞演説あり、嶺幹事會員總代として答辭を陳べ、夫れより餘興に移り、同地滯在米國人の喇叭の吹奏あり、茶菓の饗應に移り、席上平岡錦戸兩副幹事長交々熱心なる擴張演説をなし、一同撮影し、午後四時半散會したるが、來會者は頗る多數にて、中々の盛會なりしと云ふ。

◉大阪支部總會の詳況　去にし四月廿一日を以てしたる同總會の概況はとりあへず前號欄外にて報じ置きたるが、再び詳細にものして、會員方に其盛況を報ずべし。會場は中の島公園なる公會堂（此の公會堂はこたび博覽會協贊會が建築せしにて、大阪ホテル住友圖書館等と相並びて輪奐たる建物なり、優に三千人を容るべしとぞ聞く）を以て之に充て門前に大緑門をたて、祝總會の文字を花もてしつらひたる額面をかゝげ、赤地に白く愛國婦人會大阪支部といふ文字を染めぬきたる會旗を交叉し門内の左右に侍女控所馬車人車置場及び堂脊に茶菓所を設けたり。玄關には、評議員幹事方並び立ちて來會者を迎へられぬ、堂の内外大小の各國旗を縦横につるし、正面なる上段を總裁殿下の御坐所とし、大挿花の位置よくおかれたるなど裝飾いとうるはし。やがて二時半頃數發の烟花をうちあぐると共に、總裁殿下御着あり、劉亮たる奏樂の中に廣岡評議員の先導にて、御川係（花房男爵世嗣夫人）を從へさせ樓上なる御休憩室に入らせらる、次て役員達に拜謁を賜ひそれより君が代の吹奏中に會場なる御座所に渡らせらる、藤田幹事（とみ子）開會の旨を上申し併せて開會の辭を述べ了るや、總裁殿下より御諭旨を賜はる、ついて松本みつ子幹事總代として答辭を述べ、次に鶴原市長の祝詞（菅沼助役代讀）會員總代土居よし子の祝辭、奥村女史の演説あり、藤田幹事閉會を告げ、奏樂の中に總裁殿下御退場暫時御休憩の後、樓上なる設けの席に御着坐ありて、當日の餘興筑前琵琶七檢校の琴合奏及び狂言等御覽遊ばされ、四時二十分頃烟花と奏樂の間に奉送の役員達に御會釋ありて御馬車に召させ給ひぬ當日は幸に雨も晴れ、來會者殆んど壹千名に及びたり。其中重なる人々は廣岡・鴻池・松本・土居・菊池・鶴原の各評議員高崎幹事長を始め、支部幹事數十名大阪府各郡長府廳市役所諸員新聞記者等にて、其他兵庫支部より服部幹事長田中薫丘氏、東京よりは跡見評議員、新潟よりは書記官田中坤六氏秋山縣屬等他府縣よりの來會者もありき、倘ほ當日の御諭旨答詞祝辭を左にかゝぐ。

御諭旨

愛國婦人會大阪支部會員諸氏は夙に本會の趣旨を贊成して其擴張に勉めたるの結果漸く隆盛に赴くに至りしは智惠子の深く喜ぶ處なり茲に總會に臨み諸氏の今後益其志を堅うして撓まず本會の爲に盡さんことを望む（前號欄外再録）

答詞

こたび愛國婦人會大阪支部にてはしめの總會を開くにあたり殿下の御臨場を辱うし加ふるにたふとき御諭旨をさへ賜りしは當支部のいとも光榮として光子等の喜び何にたとへ侍るべき此會の成立ちしより此方日數なほ淺けれと殿下の御餘光により日に月にいや榮えにさかえ行くは誠にあり難き極みにこそ去れば會員たるものは力のあらん限り此會の務をおしひろめて御國の爲に謚しいくさ人等を慰めあるは其道の遺族の人々を扶持するの助ともなりて御諭旨の片端に答へまつることを勉め侍るになん

愛國婦人會大阪支部幹事總代　松本光子

日清の役拳匪の亂我軍行て北清の野に在り將校士卒異域に戰死せし者其數尠なからす是れ忠死也是れ國光を發揚したる戰死也然れ共其遐族たる鰥寡孤獨は如何國法救助の道ありと雖も而も我同胞にして渠等を憐むの情なくんは實に君子國たるに背むく者多し愛國婦人會の突如として起る定に偶然に非らさるなり夫慈愛は婦人の德なりと雖往々一家の外に出てす今や本會の成ると共に婦德を廣く世に及ぼすもの所謂博愛也博愛は仁也此仁心あるに到りて婦德始めて完きを得たり誠に喜ふべく賀すべきなり本日此發會式のあるに當り聊所感を述べて祝詞に代ふと云爾

大阪市長　鶴原定吉

我愛國婦人會の目的は我國を守る軍人等をして後顧の憾みなからしめん爲にしあればこの大日本に住める人々の爭てか之を贊成せさるべきやは去れど御國の廣き蒼生のしげき普くその趣旨を知りえざらんこそ遺憾なれ今や本會は賢德に富ませらるゝ殿下を戴き總裁と崇めまつりたればお御光の餘りをうけて一層の光輝をそへ郡の隈におし致るまで本會を知るに至りしは誠に喜しきのかぎりになん當支部も組織日淺きに拘はらず會務次第に發達して日々に榮えゆきこゝに第一回の總會を開くに及びしは偏に總裁殿下の御庇蔭のたまものと何れも深く感激しまゐらせて今より後は長き御諭旨を服膺して會員互に相勵み相奬みて本會のために愈々盡し侍らん爰に支部會員一同に代りよろこびをのべて祝詞とす

土居芳子

◉故會員小林しま子　本紙の愛讀者の念頭には、定めて大なる記憶の存するならん。そは昨年十月發行の本紙第十五號に於て記載したる、長野市松代町の小林しま子が製糸場の女工たる身を以て本會に同情を寄せ、其將に死せんとするに當り、本會々費の滯納を憂ひ、遺言して之を納付せしめ、且つその妹にも入會を勸誘して死亡したる美談なり。此篤志なる行爲は、はしなくも本會職員方の感激する處となり、種々彼女の身元を取調べしに、一家貧困にして墓表さへ建つるの資なき由を探知し、身貧賤に生まれながら、其志の高潔にして然諾を重んじたると婦人社界の師表となすも耻からざるものなれば一片の石碑を建て永く其名を後世に傳へんとの議起り、島津公爵夫人を始め、多數の貴婦人奮ッて財寶を喜捨し、松代町の片傍り此篤志なる婦人の永眠せる土地に、新らしき紀念の石碑を愈々建設するの運びに至りしと云ふ

●友人の結婚を祝ふ

万代にいろもかはらす榮えなむこかれしろかれ祝ひ重ねて　福岡　帆足親子

ひな鶴のこゑぞまたるゝ相生のまつの榮えはもとよりにして　岡山　稻葉八千代子

上もなきまなひを卒へし君のまた今日のみいはひきくうれしき　神奈川　寺田光子

色もかもきよきふたきのわかさくらくもにやちよの春なしむらん　岡山　淺沼てふ子

あらたなる君かつま居にれかはくはちよの春風たえずふかなん　長崎　高木さか子

相生の二葉の松の翁さへ杖つくまても榮えませ君　和歌山　油　月子

花わらひ鳥もうたひて末遠ききみかちきりを祝ふはるかな　兵庫　吉田梅子

家の風ふきおこすへき若松もやかて生ひ出ん君かそのふに　宮崎　四居保子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮廷録事

◉還幸御日取　天皇陛下には既に大阪博覽會御覽濟みと爲りたるを以て十日京都御發輦靜岡御一泊翌十一日宮城還幸の旨仰出されたり。尚。議會開院式は來る十二日頃御擧行あらせらるべしと承はる。又皇后陛下に於かせられても、同日に御發輿あらせらるゝ旨仰出されたり。

◉皇太子殿下關西行啓　皇太子殿下には同妃殿下御同伴にて、本月末頃東京御出發、京阪地方に行啓相成るべき御內定なる由

◉皇孫御近狀　迪宮・淳宮兩殿下とも極めて御健勝にて、御成育相成り、迪宮殿下は昨年十一月御避寒の前より少しづゝ御歩を覺えさせられ、昨今は御運動も十分なるより御肉附もよく御言も續きたる事は尚むづかしけれど單語は御話の事少からず。時々は淳宮殿下に御揶揄などあそばされ、御兄弟の間柄いと御親密に拜せらるゝ由。又淳宮殿下は既に自由に御匍ひ遊ばさるゝ程にて御體は極めて御肥滿あらせられ、全體に於て御兄君より大きやかにて、數年の後には却て御身長け高きに至らせらるゝやも知るべからずとなり。

◉本年の御避暑地　兩殿下の御避暑には東京近地に別に適當の御場所なき上、富美宮、泰宮兩內親王殿下及前年迪宮殿下の御經驗に依り、本年の夏も矢張り函根宮の下に御避暑あらせらるゝ御豫定なり。

◉迪宮御殿新設　迪宮殿下の御殿は霞ケ關なる現有栖川宮御本邸の三年町新築邸に移轉後同所に新設相成るべく、右は殿下の滿七歲に達せさせられ、學習院御入學の前を以て行はせらるべき筈なるも、萬一有栖川宮新築邸の竣工これなきに於ては、赤阪新築の東宮御所來る四十年迄に落成の上、御移轉の筈なるを以て、當分迪宮殿下の御殿は其後青山御所に置かせらるゝ事となるべしと云ふ。

◎婦人論梗概

◉女學生鉛白禁止　報知記者は近時學校の規則頗る嚴重にして、干涉主義の流行するにも拘はらず、特に重要なる女學生の鉛白禁止の件なきは何故ぞ。鉛白は第一衞生上有害なり、即ち排泄官口を閉鎖し、鉛毒に中てられて皮膚を損傷す。第二道德上有害なり、即ち天眞を蔽ひ人を欺くものなり。第三風俗上有害なり、即ち風俗華美に傾き、頽落するものあるに至る。云々と論せし處、鳩山春子女史は反對論者として說いて曰く、近來女學生の服裝を制限し、或は頭髮の結び方に迄干涉するか如きは、個人の自由意思に迄干涉するものにて、不法の事なり。如此婦人に對する制限著しきに至らば、女學勃興の流勢を防害するに至るべし。況や鉛白は歐洲の婦人と雖、盛に之を用ゐ、獨り日本婦人のみ之を用ゐるにあらず。もと衞生上よりの立論は、其程度によるものにて鉛白の如きは道德上風俗上何れも左迄禁ずへき必要なし。云々、矢島楫子女史は贊成論者にして、其說に曰く、西洋婦人が用ゐればとて日本婦人亦之を用ゐざるべからざるの理なし。殊に衞生上有害なるは万人の認むる處にして、其量の多少は問ふ處にあらず。況や女子は此害を忍んで迄も面貌の美を保つべき必要なし。干涉主義はもとより之を好まざれども禁止の程度に迄かしむる事を要す。云々、

◉中島德藏氏の家庭と倫理　婦人を導くに理窟を以てするは無益にして思想上又は感情上より之を導くの勝れるに如かず。即ち女大學或は女今川流を以て可なりとす。母たるもの若し道德堅固ならば不言不語の間に感化を其子に及すものなり。故に同情或は模倣との點より進むを以て宜しとす。家庭は唯其圓滿なるのみを以ては善良なる家庭と稱し難し、必ずや兒童を相應に修養せしむるだけの勢力なかるべからず。故に獨乙國等には妻女學校の設立ありて其教授は十分些細の點に關して之を教導する制度なり。又嫁を相互交換して之を教育する法あり。即ち親友の嫁と自分の嫁とを相互に下女代りに使役して以て家政を實習せしむる仕組なり。要するに自分は、女大學的教育の普及を望むものなり。(婦人界十二號)

◉時事新報記者の離婚の訴訟　我國に離婚沙汰の多きは、心あるもの丶眉を顰むる所なるが、去る三十二年中に於ける離婚の統計を見るに六万余の多數にして、其內訴訟となりしものは夫よりのもの二十七件、妻よりのもの百四十件、合せて百六十件にて、我國に於て專ら行はるゝは協議上の離婚其多數を占む。此原由は民法の運用を知らざる爲なるべきも、重なる原由は我國に於ける男尊女卑の陋習に在りりと云はざる可からず。夫權盛んにして法律の力を借るを要せず、非理不正に協議上の離婚行はれ、夫よりの申出は主權の命令の如く心得て、之に服從するの結果に外ならざるべし。之に反して妻より離婚を請求する事は實に容易の事にあらずして、訴訟を起すにあらざれば離婚する能はず。故に統計上にても、妻より起したるもの夫より起したるものに超過する所以なり。要するに婚姻に關しては男女平等に權利を有し、正當の理由だにあらば、協議上の離婚を拒絕し得るは勿論、妻よりしても離婚訴訟を起す事を得るを以て、万一離婚沙汰の如き事に際會せば、爾後婦人も法律の保護に依賴して、男子の不正を防禦すべし。

雜報

◉東京音樂學校　同校にては去にし日春期音樂會を催したるが、當日は常宮・周宮・富美宮・泰宮の四內親王殿下も御臨場あらせられ、內外貴顯紳士數百名來會せられたるが、職員の和洋音樂數番及びコーラスもありたりとぞ。

◉女子高等師範學校　新築せし同校の體操科は主として新歸朝者井口あくり孃の受持ちにて、日々教授せるよしなるが、從來の女子には授けし事なき器械體操兵式體操の類も教授する趣きなり。當同校は男子部の方小石川新築校舍に移轉後は、舊校舍を教授用に供すべき筈のよし。且つ同校附屬高等女學校に於ては今十日春期運動會を開く趣きなり。

◉女子美術學校　同校に於ては此程二人の支那婦人入學し西洋畫を研究する趣きなるが、兩人共に同校の寄宿舍に入り、日本婦人と起居を同うして學習するよし。

◉日本女子大學校　同校本科入學生は家政科志願者最も多數にして、附屬高等女學校の卒業生七十餘名も本科に入學せし趣きにて、目下新學期に授業を始めつゝあるが、校堂の外音樂室雨中體操場をも新築に着手せりと云ふ。且つ同校第二週年の紀念日は去月廿日に當りしを以て、同日は紀念の爲め、校內植樹を行ひたるよし。

◉共立女子職業學校校友會　神田區一ツ橋通町の同校は去にし二日三日の兩日校友會を催し各科の授業及び製品陳列場を設けて父兄等に觀覽せしめたり階上の各室には裁縫刺繡編物圖畫の各科階下には造花圖畫割烹の各科に區分し五百餘名の生徒各其課業に營々たり製品陳列場の造花刺繡の中目立ちて美しきもの數十點あり早くも外國婦人等の買取る所となれり。

◉家庭學校　北豐島郡巣鴨村の同校は名は家庭學校なるも婦人の家庭的教育を授くる學校には非ずして、不良少年感化を目的とし、篤志家留岡幸助氏の設立し居る學校なるが、昨年夏第一家族舍燒失したるを以て、氏は其後苦心經營の結果漸く家族舍一棟禮拜堂及び教場一棟を新築し此程落成を告けたるを以て去にし三日其捧堂式を執行したり。

◉婦人衞生會總會　同會は去にし二日午後一時より小石川なる後樂園涵德亭に於て總會を兼ね春季懇親會を開きたるが、今其景況を記さんに、午後二時半會員着席し事務會計の報告あり、後ち役員改撰の結果鳩山春子・羽田三緒子・岡田德子・高木錬子・松平芳子・三浦數子・山本多穗子の諸夫人選ばれて幹事となられ、餘興には蓄音器及講談あり。來會者には粟餅茶菓來賓には立食の饗應ありたり。當日は連日の雨俄かに晴れ渡り、綠した丶る若葉のにほふ好天氣なりしかば來會者も非常に多く、特に同會總裁たる東伏見宮妃殿下も御臨場あらせられ、會員の外家族同伴者多く、其數凡そ五六百人に達し、廣き庭園の東西に令孃たちの三々五々相伴ひ蓮化草摘みて遊ばるゝなど近頃のどけき集會なりき。

◉癸卯園遊會の景況　同會の催しについては屢々報道せしが、愈々去月廿五廿六の兩日を以て擧行せり。來會者は兩日共非常の多數にて前日には獨乙の皇族も臨場せられたる程にて、一般に評判よく、大に成功したりとぞ。今二日間に集まりし金額を聞くに收入總高九千三百八十三圓にして諸費用二千三百六十八圓八十三錢四厘を差引殘金七千十四圓十六錢六厘を得たるを以て內六千五百圓を帝國婦人協會附屬學校寄宿舍建築費に贈與し、又五百圓は式場借入費として水交社に寄附する都合なりと云ふ。

◉大日本婦人教育會懇親會　同會は去にし六日芝二本榎毛利男爵邸に於て開會文學士下田次郎氏の女子教育談あり餘興には講談もありいと盛會なりきと云ふ。

◉割烹の大家赤堀翁の賀筵　割烹を多くの婦人に教授して、食物調理の上に進步をあらはしたる斯道の大家赤堀峯翁の米壽を祝せんため、門弟知人相集まり去にし三日日本橋倶樂部に於て賀筵を張りしが、來會者約四百名非常に盛會なりしと云ふ。

◉獨乙に於ける日本學生の母　獨乙に於ける我水兵の母たるマクリン孃の事を詳細報道せしが、獨乙伯林にも亦我日本學生の母として尊敬せらるゝ婦人あり。名をラーゲル、ストレームと云ひ本年八十歲の高齡に達したるが、日本學生を愛する事甚だしく千八百六十八年以來此に三十六年の長年月を獨逸遊學の我國人の爲めに盡し、婦人の住宅には年中我國人の寓居するもの絕ゆる時なく、其深切にして世話の行屆く事親身の母も及ばぬ程にて、一度同婦人の好意を受し者は、何人も其慈愛に感ぜざるものなきよし。さても、來る六月十日は第八十回の誕辰に當るを以て同地在留の日本人相會して盛んなる祝意を表する計畫あるよし。

◎交詢

愛國婦人二十八號紙上滋賀の部の殘櫻記事中御尋れの女先生は四月初滋賀縣師範學校より東京府第一高等女學校へ御轉任になりましたので只今は三年級ろの組即ち私共の級の主任ていらつしやいます御住所は本郷區切通坂町十九番地石野先生と申方で御坐います御教へをうけし日もいまだ淺う御坐いますが過日の記事を拜讀致しかゝる先生に御をしへをうくる此組の幸ひいか計りぞと嬉しく一同御したひ申して居ります先は御報まてかしこ

東京府第一高等女學校三年級ろの組生徒より

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

理學博士三好學先生新著

博物叢書 植物の感覺

精巧口繪入 菊判頗美本 定價卅五錢 郵稅金四錢

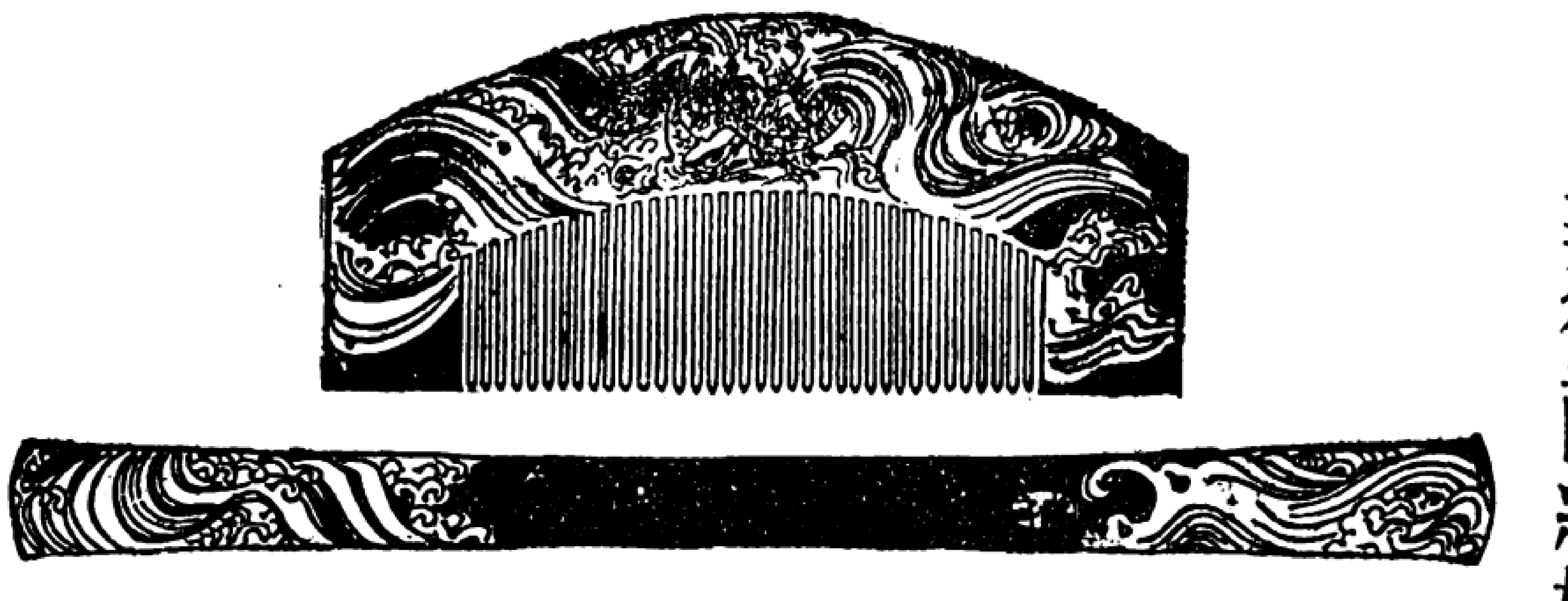
新刊

博物叢書は、一般讀書界の科學智識の要求に應ぜんが爲に、特に石川三好兩先生に請うて自然界に於る最も興味ある事柄を擇み、何人にも解し得るやう、又何人にも好んで讀ましむるやう、平易明快なる言文一致體を以て綴りたる者也。全部廿四冊、決して浩瀚ならずとせず、その材料の豐富にして講述の多趣味なるは言を俟たず。蓋し通俗にして典據すべき方今唯一の博物叢書たるを信ず

理學博士石川千代松先生著 博物叢書第二篇 動物社會 全一册（近刊）

發兌元 東京神田裏神保町 冨山房

美術蒔繪櫛笄



柳の髮のうるはしきに映めを添る月ならで四季を選まぬ櫛笄は花紅葉いろ〳〵候へど今般新製致せしは黑鼈甲又は四方張を以て流行の牛京形に造り是に諸大家の意匠を凝せし名花山水其他の模樣を蒔繪せしもの又は奇貝寶玉類を彫刻嵌入せし佳麗の品なれば世の貴婦人方は流行に後れ給はぬうち御注文あらんことを

黑鼈甲臺一組價 十四圓十三圓十五圓 廿圓以上五十圓迄
四方張臺一組價 三圓五圓六圓八圓 十圓以上十三圓迄

東京市京橋區尾張町 白牡丹本店 松田幸治郎 電話新橋五百五十一番

皮膚病專門醫坂本李堂氏著 一名美貌之秘訣 娚美顏法

正價金四拾錢 郵券一割增 郵稅金六錢

著者多年ノ實驗ニ照シ最モ容易ニシテ何人ニモ行ヒ得可キ美貌ノ秘訣ヲ說キ且ツ美貌ノ要素ハ健康ト順良ナル精神ニアル事ヲ詳說セル者ナレハ風敎上及衞生上大ニ有益ナル珍書ナリ冀クハ諸氏本書ヲ繙ヒテ美ハ倍々其美ヲ表ハシ醜亦此ノ方法ヲ盡シテ其容貌ヲ艶麗ナラシメンコトヲ

發兌元 東京京橋區弓町 松村三松堂 電話新橋三一七三番

枕の草紙詳解

文學博士黑川眞頼閱 文學士芳賀矢一序 飯田武鄕閱弁に序 黑川眞道序 松平靜講述

全三册正價各冊五十錢 郵稅廿錢

國文學の註釋多しと雖も未だ枕の草紙の註釋を見ず本書は斯道に精しき松平靜先生の手に成り更に二大先生の說を以て補ふ其解釋文は平易にして流暢丁寧親切にして餘す所なし國文學に初めて志す者と雖も一讀して直に此草紙の妙味を味ふ事を得べし敢て粉ぜず江湖の諸彦乞ふ本書を繙きて本店の言の虛ならざることを知り賜はらんことを

●紫式部日記講義 三木氏著 價三十錢 郵稅六錢

發行所 神田鍛冶町 誠之堂 電本九四九

婦人ふるちの藥

定價一貼五錢三貼十四錢五貼廿三錢七貼三十二錢

一此藥劑は婦人血の道一切の藥にして淸血を補ひ古血をめぐらすよ、かんようにして少しも脾胃にさわるとなく血を下すにてはなく血をみちびき通ずる藥なり第一月々めぐり少き婦人はたッぷりと見まり殘らずつうずるなり●○南まけづつう目まひによし○ふるちとゝこほり○ながち○しらち○手あしいびれ○血しやく○ひゑるときさしこみいたむに功あり○むねこしいたみ○つきむしによし○さんごあとはらのいたみはいかほどつよきいたみにても一ト包にて功あり○さんごわるちのとどこほりに用ひて功あり○猶能書にくわしくしるす

東京市本所區東兩國横網町一丁目 本家製藥所 卸賣店 伊勢吉本店 （電話浪花二七五八）

牛ゑり帶揚類

縮緬肩掛數多 縫模樣絞り形

○絞り形染模樣帶片側○絞り形兵兒帶地○帛紗地○染形しぼり形帶揚○新橋〆下締○染形け出し○雀形○ゑり治まげ入特製おろし小賣

高等洗粉チェリー バイオレット 入發賣元本舖 ゑり治

第五回博覽會御觀覽の際は弊店出品に一覽を乞ふ 拙店出品御賓納品は閉會後東京府下市內御屆仕候

新橋竹川町十二番地 電話新橋二千二十七番

婦人最良藥

子宮病血の道 產前、產後の諸症にて種々の藥を用ゐて其効なく久しく病床に苦しむ人は本劑を試みよ

●如何なる難病も二三週間に全治す

●詳しき効能は大廣告の時御注目ありたし

（定價 一日七錢五厘、三日廿錢、一週四十五錢 二週八十五錢、三週り一圓二十五錢）

●本舖へ御注文の方は病人の容躰御申込あれ

本舖 東京日本橋通四丁目 津村順天堂 大阪堺筋鹽町北入 津村順天堂

中將湯は全國各藥店にあり

帝國貯蓄銀行

銀座一丁目河岸通り

本鄉一丁目 本鄉支店
飯倉町ヶ辻 飯倉支店
赤坂表町一丁目 赤坂支店
四谷大通り 四谷支店
南品川一丁目 品川支店
横濱吉田町 横濱支店
牛込神樂坂 神樂坂支店
神田須田町 須田町支店
兩國米澤町 米澤町支店
淺草雷門前 吾妻橋支店
代理店 日本橋坂本町 田中銀行

●一錢以上何程にても御預り申し御便利に取扱申候
●毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

醫院案內

院長 醫學博士 榊順次郎

婦人科產科榊病院 診察午前 入院隨時 東京麴町三番町卅三 電話番町三百九十五

●水原產科婦人病院 ○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千七百○九番）○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立產婆學校の設あり

東京小兒科院 院長 醫學博士 瀨川昌耆 駿河臺西紅梅町（電話本局一九五五）

東京產科婦人科病院 院長醫學博士 濱田玄達 副院長醫學士 辻高俊 神田駿河臺袋町（電話本局壹四三四）

電話改正 ●外科●皮膚病●ヂフテリア●痔疾●成形術●脚氣●內科 院長 醫學士 丸茂文良 ●東京下谷區上野櫻木町電下谷百十三 丸茂病院 ●下谷仲徒町二電下谷百十二 院長自宅診察午前九時限り

新療法開始 瘰癧如何なる難患にても切開を要せずして治癒す 心臟病不治性と斷念せし大患も根治療法を行ふ 脚氣に陷りしものも轉地を要せずして衝心性忽ち全癒す

神田區三崎町三丁目一番地（西通廿五番） 千葉內科院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎家政要領

家事衛生　食物

○菽類　菽類も亦必要なる食物にて、就中大豆を以て最も貴重なるものとす。其蛋白質は百分の三十六、七あり。然れとも單に煮豆として食する時は、其蛋白質の三分の二だけ吸收を受けず、大豆に亞ぐものを蠶豆豌豆及び小豆とす、大抵大豆の三分の二の滋養質を含めり、大豆を以て造る味噌・醬油及び豆腐は、いづれも我國の特有產物にて古來行はるゝ所なるが、大豆の成分中普通に吸收を受け難きものを利用せるにて、今日の學理に適し最も感ずべき發明なり。

豆腐は我國に於て最も大切なる滋養食物にて、生豆腐は水分の多きにも拘らず、百分の六乃至八の蛋白質あり、生揚豆腐・油揚豆腐いづれも滋養質に富めり。豆腐の搾り滓、即ち雪花菜も尚ほ幾分の滋養質あり。されとも、人間の胃は之を消化する力なし、牛馬の食餌として最も適當なるものなり。

豆腐皮は豆腐を造る時に濾したる汁に、灰汁を加へて煮れば、表面に膜皮するもの是れなり、是亦滋養に富み貯藏に便なり。

味噌は大豆十分、麴六分、鹽四分の割合に搗き雜ぜて製するものなり、是れは滋養を得る爲に用ゐるに非ず、其味・香氣及び鹽氣を以て、他の味なき食物を躰中に輸送する媒介となすものなり。

醬油は大豆と小麥麴と鹽と水とを各等分に和して釀造し、其成れたるものを濾して用ゐるなり。

○藷類　藷は穀類につぎて重要なる食物なり、就中馬鈴薯・甘藷は常食とも爲すを得るなり。馬鈴薯は料理法に由て消化に相違あり、裏漉にかけ牛乳等を入れたるは磨藷（マッシポテート）とて消化宜し、甘藷は滋養分に富めとも植物纖維とて不消化物ありて、多量に食する時は腸胃を害し風氣を釀す。

○蔬菜　我國にては廣く野菜を用ゐるが故に、培養法進步し佳良なるもの多し。野菜は蛋白質及び脂肪等を目的とせず、其水分及び酸類の多少に着目すべきものなり、即ち其物より滋養分をとるよりも、他の食物の消化を助けしむるに在り。

蘿蔔は滋養質少なけれとも、水分と鹽分とに富み好ましき味を具ふ、慈姑と百合とは澱粉に富み、京菜・菘は、蛋白質や、多く、薇・芋莖等また蛋白質に富む、然れとも是等の乾物は、其滋養質果して吸收せらるゝや否や明ならず。

野菜は新鮮なるを要す、之を貯藏するに鑵詰などにするは可なれとも、陳漬・味噌漬・糠味噌漬にしたるは、野菜の本分を失ひて其効なし、單に味類たるに過ぎす。

正誤　前號滋養分分析中千分の何程とせしは、總べて百分の思ひ違ひなりしにつき茲に正誤す。

◎家計收支の實況

東京　會員　某報知

會員の君だちは、皆上流社會の方々のみにて、下層社會の生活の有様を御覽なさつたならば、さぞや不思議に思召しませうが木綿着て粗食しましても私共の家庭にはそれ相當な愉快があります。「嬉しさや夕顔棚の下凉み」とか申す有様なちと御覽に供したき儘、書送り申候

○明治三十六年一ヶ月分平均額

一家族三人　但し夫婦に子供一人

收　入

一金貳拾圓也

支　出

一金拾七圓九拾錢也

內　譯

金四圓五拾錢	家賃	金參拾五錢	湯賃衛生費
金五圓	米代	金貳拾錢	散髮結髮代
金三圓	副食物費	金柒拾錢	通信費
金五拾錢	薪代	金拾五錢	二六新報代
金參拾錢	炭代	金壹圓	被服料
金五拾錢	醬油代	金六拾錢	主人小遣
金六拾五錢	味噌砂糖		
	醋漬	金拾錢	慈善費
金四拾五錢	石油	金參拾錢	茶菓代

殘金貳圓拾錢

評　僅に貳拾圓の少額を以て貳圓餘の殘金を見るは誠に珍らしき經濟なり。併し米代の五圓は違算にはあらずや三等米位て辨卜て至當なるべし。主人の小遣六拾錢にて交際費も辨ぜらるべきや疑はし。湯錢及び衛生費の參拾五錢も三人分としては如何のものにや。

◎東京市內物價平均額一覽表

東京　麴町　會員某

皆さま方の家計收支の實況を拜見致しまして、實に面白く且つ有益に感じます。されとも市內の物價をよく知りませぬと、八百屋物や米の相場の正否を知る事が出來ませぬ。それで地方の方に御願ひ申したいのは、其地方〳〵の物價を、此表に倣うて御知らせを願ひたいです。是は私一人の希望のみならす、大方の讀者も希望せらるゝことゝ思ひます。調の不行屆きなる處、あらば御訂正を願ひます。

米一斗代	二等米貳圓	茶一斤（並）	五拾錢
醬油一斗代	參圓	筍一貫目	拾五錢
砂糖	拾貳錢	大根一本	貳錢五厘
味噌百目代	參錢參厘	人參牛蒡一本	壹錢乃至壹錢五厘
鰹節百目	參拾錢	小松菜一把	貳錢
薪一把代	五錢	鯛一メ目	壹圓貳拾錢
鷄卵	二錢乃至三錢	髮結賃一度	五錢
炭一俵	大俵六拾貳錢	湯錢一度	貳錢五厘
酒一升	六拾錢	牛乳一合	五錢
牛肉一斤	參拾六錢	鮪一メ目	壹圓貳拾錢
石油一罐	壹圓五拾錢	平目一メ目	九拾錢

◎各地特殊の料理（寄稿を募る）

（一八）鰯のフライ　長崎市愛讀者某　報知

鰯の骨を去りたるを、擂鉢にて能くすり、食鹽を少し入れ、小さき里芋程の大きさに丸め、胡麻油にて揚げます、是れは清汁に入れても、又は煮物に用ゐても宜し。氣候のよき時はあげたまゝ數日貯へ置きても、味ひかはる事なく調法なり。但し何處の料理方なるかは知らず。

（一九）酢蕪　備中會員某　報知

いろ〳〵お珍しいお料理を拜見致しまして、誠に嬉しう存じます。京都の姉君の節儉活法は、實に簡便て、結構て御座います。就いては私も一つ申上げませう。

先づ蕪を五六分位の菜目に切り、其一方から半分位の深さに、堅横に切目を入れ、平らな鉢に並べまして、パラ〳〵に鹽をふり、又其上へ蕪を並べ鹽をふり、幾重にもかさねて置き、一日程過しますと、水が出て、柔かになります。此時水を捨て酢と砂糖と鹽とを加減して煮合せたるを冷して、蕪へたッぷりかけますと、二日位で漬きます。（好みにより唐辛少し加へてもよし。）殊に半分を赤蕪にするか、或は食料紅で染めまして、鉢に盛る時市松に並べますと、奇麗て御座います、是れは普通の千枚漬よりも味よろしく、切目を入れたのが花の様になッて面白う御座います。

（二〇）煎豆腐　備後尾道會員　報知

豆腐を布に包んでかたく搾り、水氣を去り、鍋に入れて火にかけ、杓子で攪きまぜながら出る汁を捨て、パラ〳〵に成ッた頃其豆腐を他の器に移し、其あとの鍋に胡麻油を少し入れ、能く煮えた時再び前の豆腐を入れて攪きまはし、其中に砂糖醬油にてよき程に味をつけた椎茸と穴子の蒲燒など、二三分位に刻みて一緒に入れ、尚ほ攪きまはし穴子の蒲燒のタレ汁などにて、よき程に味をつけるので御座います。

（二一）いとこ汁　長崎市愛讀者　報知

里芋を五分位、胡蘿蔔・牛蒡を二三分位、蒟蒻を四分位、孰れも菜の目に切り、赤小豆を入れ清汁にたきます。是れは昆布だしにする方味が宜しう御座います。此料理は越後の仕方の様に聞いて居りますが、如何ですか御存じの方に御尋ねいたします。

◎婦人の名の下に附する子の字の說（承前）

（一）『子』とは兒の意義にて、もと男女相互に親愛の美稱として用ゐられしなるべし。妻を我妹子、夫を我兄子と呼ぶか如し。されば上古は男子にも何子といふ名の附きたる少なからず、蘇我馬子、小野妹子などの類なり。又婦人は自己の代名詞を『兒子』と稱するが如く、謙遜の意味にて何子と稱へたるもあるべけれど、大方は父母か其兒女を親愛して、何子、何子と呼びならしたるが、終に其女子の名となりたるものなるべし。

他より稱する時は、親愛の美稱となり、自ら稱する時は謙稱ともなるをもて、自他共に「子」の字を添へて苦しからず。されど、今日やんごとなき御あたりの女性の名には必「子」を添へさせらるれば、尊稱の如く聞ゆるをもて、身分なきものが「何子」と名のるは僭越のごとく思ふ人もあれど、決して然らず。男子の名に何彥、何雄、何麿などいふとおなじ意味に添へたるものなれば、上下貴賤を通じて、何人が自己の名とし、又我子の名に命ずとも、毫も憚るところなしと知るべし。但し戶籍上の實名に『子』の字なき人にして、公だちたる時、例へば宮中の御歌會始にたてまつる懷紙堅詠草の如き、或は公衙に出す文書の如きに、濫に何子と書添ふるは、あるまじきことならん。

（二）は（一）の解說中にこもりたるなるべし。

（三）三音以上の名に『子』を附くるは古人の中に三音以上の少なからぬを見ても差支なし、

◉大阪支部總會の景況　本會大阪支部は去にし廿一日午後二時大阪市中の島公園なる公會堂に於て[illegible]ひたり、今其景况の概略を記さんに、午後二時第一振鈴にて會員及び來賓一同着席するや、總裁宮殿下は幹事御先導にて御臨場あらせらる（此間奏樂）次に幹事藤田とみ子開會を言上し、且つ會員に對し開會の旨を述ぶ。夫れより總裁宮殿下は左の[illegible]

愛國婦人會大阪支部會員諸氏は夙に本會の趣旨を贊成して其擴張に勉めたるの結果漸く隆盛に赴くに至りしは智惠子の深く喜ぶ處なり茲に總會に臨み諸氏の今後益其志を堅うして撓まず本會の爲に盡さんとを望む

[illegible]の祝詞あり次に奧村刀自は一場の演說を爲し、幹事藤田とみ子閉會を言上し、且つ會員に對し閉會の旨を述ぶ之れにて總裁殿下御退場あらせらる（此間奏樂）。次に第二振鈴にて會員一同に茶菓を配布し、餘興として筑前琵琶、淨瑠璃三曲、狂言等[illegible]きにも拘はらず已に二千餘名に及べり、實に比類なき長足の進步と云ふべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉大阪支部總會の景況　本會大阪支部は去にし廿一日午後二時大阪市中の島公園なる公會堂に於て [illegible] びたり、今其景況の概略を記さんに、午後二時第一振鈴にて會員及び來賓一同着席するや、總裁宮殿下は幹事御先導にて御臨場あらせらる（此間奏樂）次に幹事藤田とみ子開會を言上し、且つ會員に對し開會の旨を述ぶ。夫れより總裁宮殿下は左 [illegible]

愛國婦人會大阪支部會員諸氏は夙に本會の趣旨を贊成して其擴張に勉めたるの結果漸く隆盛に赴くに至りしは智惠子の深く喜ぶ處なり茲に總會に臨み諸氏の今後益其志を堅うして撓まず本會の爲に盡さんことを望む

[illegible] の祝詞あり次に奥村刀自は一場の演說を爲し、幹事藤田とみ子閉會を言上し、且つ會員に對し閉會の旨を述ぶこれにて總裁殿下御退場あらせらる（此間奏樂）。次に第二振鈴にて會員一同に茶菓を配布し、餘興として筑前琵琶、洋師三曲、狂言等 [illegible] きにも拘はらず已に二千餘名に及べり、實に比類なき長足の進步と云ふべし。

愛國婦人會記事

◉評議員會　本月及び來月中の評議員會は左の日割の通り開會す。

四月廿九日（第五水曜日）第二の組
五月六日（第一水曜日）第三の組
五月十三日（第二水曜日）第四の組
五月二十日（第三水曜日）第五の組
五月二十七日（第四水曜日）第一の組

◉大阪支部大會　同會は去にし廿一日午後一時より同地中之島公會堂に於て開會總裁殿下も御臨場あらせられたり、當日の景況は取り敢ず其概略を欄外に揭げおきたり。

◉奥村刀自　京都及び大阪の大會に臨場の後和歌山支部管內に遊說を試み、更に岡山支部管內に赴き、五月廿四五日頃神奈川縣支部の大會に臨場の上歸京の豫定なり。

◉京都支部大會　既記の如く本會京都支部第二大會は去にし四月十五日午後一時より、京都市議事堂に於て開會、來會者約千餘名、議事堂の階上階下は貴婦人令孃の正裝したるものにて塡められつ。先づ副幹事長木下常子開會の辭を述べ、次に總裁閑院宮妃殿下の御代理花房男爵令嗣夫人總裁妃殿下の左の御諭旨を代讀したり。

愛國婦人會京都支部の會員增加し事務振興して爰に第二回總會を開くにいたれるは誠に喜ばしき事なり猶諸氏が相共に志を同くし力を戮せ本會の旨趣を發達し以て博愛慈善の美擧を盛大ならしめん事を望む

次に幹事長大森齡子左の奉答の辭を述べたり。

愛國婦人會京都支部第二回總會に當り、總裁殿下の優渥なる令旨を賜ひ厚く奬勵を加へさせ給ひしは支部の光榮何事か之に若くべき益す會員諸氏と相助け相勵しみ會務を振興し之を內にしては忠勇尙武の風を家庭に養ひ之を外にしては博愛仁卹の擧を殉難志士の遺族に洽くし以て殿下の令旨に負かざらんことを期せんとす

次に貞廣太郞氏の會務の報告ありて、總裁宮殿下御代理は退場し、次に當日の來賓淸浦司法大臣登壇し、先づ本會の隆盛を祝し、京都は由來我國一に位する都市にして、滿市勤儉の德に富むは、夙に傳聞するところなるが、尙は益す夫の巴里市民に傚うて勤儉貯蓄を勵行し、其蓄積したる所を以て、かゝる會を興隆せしむるに努められん事を希望すとの意にて祝辭を述べ、續いて相談役谷子爵登壇、先づ封建時代と現今立憲治下の時代とは、忠の意義異るを述べ、現時は國民を擧げて、君に忠を盡すを得ることとなれば、士農工商を問はず、士の道を盡さん事は夙に希望する所にして、本會の如きは婦女の士として國家に盡すを得しむるものなりと說き、次に大森知事の祝辭、內貴市長代理莊林助役の祝辭あり、奥村刀自の各地の入會者に丨て特志なる者の例を引きて本會の旨趣を述べたる演說あり、最後に幹事西澤泉子閉會の辭を述べて閉會し、更に餘興に移つり、五時散會したり。當日來賓の重なるは淸浦法相、大森知事、莊林助役、內藤二十八聯隊長等にして、本部よりは理事谷子爵夫人出席し、非常の盛會なりき。

◉三重縣桑名分區會の催　三重縣桑名町に於て、本會三重支部の區分會の設けられたる事は兼て報導せし處なるが、今回同區協議員發起人となり、三重感化院の爲に、慈善音樂會を催したるが、當日は天氣快晴にして、特に櫻花爛熳の好時節なりしにより近在よりも會するもの非常に多く、入場者一千餘人に達し、同地における近來の盛會なりしよし、本會々員が團結の結果地方に於てもかゝる慈善的又は公共的事業の行はるゝは、實に喜ばしき限りなり。

◉熊本支部の景況　去にし十三日午後一時より赤十字社熊本支部に於て開會。當日出席者は、師團より佐藤軍醫部長、大谷派より大友達行師、矢毛智達師、有志者戸張瀧三郞氏、福山正登氏會員には副幹事長飯田政子、幹事佐藤たか子、以下六十餘名の出席あり。佐藤軍醫部長は傳染病のことにつき、種々の例を引き有益なる講話あり。大友達行師は慈善心に關する講話あり。夫れより係員德永軍太氏は去にし十二日阿蘇郡分區總會に付東新次郞仝令夫人幹事東やす子の熱心なる盡力、總會の模樣及び本會よりの救護金のとに付報告ありて、午後四時散會せり。

◉熊本支部阿蘇郡錦野分區總會　去にし十二日熊本縣阿蘇郡錦野尋常小學校に於て、本分區總會を開きたり、先づ定の如く一同着席了るや、爆竹三發を合圖に、幹事東やす子登壇開會の挨拶、中西郡長は赤十字社へ給はりたる勅語奉讀了りて、君が代の唱歌を奏し、夫れより德久幹事長代理飯田副幹事長の挨拶あり、西行德量師は赤十字社員、愛國婦人會員の感ずへきことにつき講話あり、東幹事は閉會の旨を述べ、午後一時式を了へたり、引續き餘興として日淸事件の講談俄、盲擊劍、等ありて非常の盛會なりき。當日は赤十字社分區總會と愛國婦人會分區總會と合併なりし故に、出席者も無慮八百餘名なりしと云ふ。

◎奥村刀自遊說日誌

四月十三日　午後零時三十分新橋發の列車により奥村首唱者、山澤本誌主幹及び中村事務員西下す。車中存外乘客少く睡眠も差支なかりき。

同　十四日　午前六時京都着（支部役員方出迎の煩勞を慮り豫め到着の時間を報ぜざりき。）下車して朝食を辨じ八時頃支部に到る。支部よりの通知により、やがて役員達續々來訪あり。

同　十五日　夜來雨降る。刀自は早朝隣家なる柊屋に淸浦司法大臣に面會し本日の大會に出席演說あらんとを乞ひ、承諾を得たり。又山澤主幹と共に谷子爵御夫婦を訪問したり。支部役員方は早朝より會場たる京都市議事堂に打揃ひ、諸般の準備に忙はしく、豫定の如く午後一時より大會を開き、五時過散會したり。當日の景況は別項記載の如し。

同　十六日　午後一時三十分幹事諸氏と共に二條停車場を發し、嵯峨驛に下車し、刀自は小倉山二尊院なる二條家祖先の墓に奠し、了つて嵐山に到る。三軒屋に於て諸氏は刀自の爲に慰勞の宴を張られたり。出席者は木下副幹事長中澤廣瀨中井八田馬杉齋藤山田の七幹事及び山澤主幹中村事務員なり。中澤氏の執事中村某氏種々周旋せられたり。午後六時嵯峨驛發二條驛に下車し一同當夜開くべき演說會場たる室町尋常小學校に到り、同八時より開會す。同校長開會の趣旨を述べ、次で刀自登壇す、聽衆約三百名、一同大に感激せり、同十一時閉會。

同　十七日　山澤主幹は午前十一時三十分發車にて鄕里廣島に向へり。刀自も同列車にて大坂府茨木町より出張の橋川恕順氏と共に同地に向ふ。午後〇時三十分同地大谷派本願寺別院に着し、一時より本堂に於て開會。聽衆約五百餘名、郡長坂田氏開會の趣旨を述べ、次に淺岡評議員は高崎幹事長に代り、簡單に本會の趣旨を述べ、次に橋川氏の巧なる演說あり、了つて刀自登壇。五時頃閉會す。即時四五十名の入會者ありき。來る廿一日の大會に關し、打合のため大坂より出張の諸氏と共に廣岡評議員の邸に會し、了つて八時半發車にて京都に歸る。（以下次號）

◎京都支部大會餘聞

◉大會の景況は別項に揭げたる如くなるが、支部役員其他各夫人等それ〴〵定めの部署に就きて幹旋せられ、よく千餘名の來會者に滿足を與へられたり。當日看護婦の雇入れありたる杯、以て用意の周到なるを見るべし。又開會中時々樂隊の嚠喨たる軍樂ありき。

◉當日新入會者百餘名あり、由て當府會員數は貳千餘名に達したり。

◉當日最も感心したるは、散會の際多人數大混雜にて（退出者を一時に出ださゞりしにも拘はらず）、下足手間取り、會員に迷惑をかくるを見兼ねて、左の人々は雨中自ら庭におりたちて、濡れながら下足番の手傳をせられたると是なり。參會の會員達も、大に之に感激したりとぞ。

幹事八田艶子（八田辯護士夫人）廣瀨（廣瀨醫學士夫人）
同大槻つな子（市助役大槻法學士夫人）同山田龜代子（醫師山田氏夫人）
同戸井田德子（豪商戸井田氏夫人）同小泉ます子（醫科大學藥劑師小泉氏夫人）
藤澤ちか子（常磐幼稚園保姆）三崎さと子、小泉藥劑師、
山本醫師

右は山澤主幹が目擊したる人々なるが、此他にも尙ありしなるべし。斯く身分ある人々が下足の手傳までせらるゝ事、京都支部の隆盛に赴ける偶然に非るを知る。右の人々の中には衣服のいたく雨に濡れたるため、衣服を自宅より取寄せ、又は近處の親戚にて借着せられしもありきとぞ。

◉當日の餘興は二十五弦、八雲琴抔の彈奏及び長刀の仕合あり。孰も會員の技にて、趣味に富み且上品なりき。此他の樂曲演奏の爲に雇入れたる藝人等は、其技を寄附し、且つ多少の寄附金をなしたりと云ふ。感ずべき事なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮廷録事

◉天皇皇后兩陛下　京都御所に御駐輦中の御模樣を漏れ承るに京都は兩陛下の生ひ立ち給ひし御故郷といひ、山紫水明の土地にて、御苑内の空氣良好なるが上に、御殿の搆造及び御庭園の御模樣も、東京の宮城と趣きを異にしあれば、屢〻御苑内を御逍遙あらせられ、益々御健全にあらせらるゝよし。

◉皇太子及妃殿下　兩殿下は大阪博覽會御見物旁た來る五月十日前後行啓相成るべきよし。皇太子殿下には常に農事にも御心を懸けさせられ、御所内に三段歩ばかりの畑地を設け、時々御手づから蔬菜の種を下し給ひ、其生育の有樣に付き御研究遊ばさるゝよし。

◉迪宮淳宮兩殿下　來る廿八日頃沼津より御歸京あらせられ、翌廿九日は迪宮殿下第三回の御誕辰に相當するを以て、川村伯邸に於て御養育主任以下の人々へ御祝酒を賜はるよし。

◉兩内親王御學問所　昨年來高輪御殿内に新築中なる常宮、周宮兩内親王殿下の御學問所は、既に竣功せしを以て、此程より御二方共日々新學問所にて御修學あそばされつゝありと申す。

◉三若宮殿下測候所視察　千葉縣下へ御修學御旅行遊ばされたる成久王鳩彦王稔彦王三若宮殿下には、去にし十七日風雨を冒し、同窓生徒百三十餘名と共に、銚子測候所へ成らせられたり。同所長は業務の大要を認めたる書面を捧呈して、御研學の料に供し奉りたるよし。

◎下田歌子女史の形態の清潔と精神の高潔と　太古の人は長命したるが、後世に至る程短命なりと云ふものあれども、そは誤りなり。古代は天然に任せて生命を長くする法を講ずる事を知らざりしが開明に趣くに及んで衛生の方法進みて壽命は益す長くなる道理なり。然るに日本には古代より自然に清潔の方法行はれて長命したるもの多し。其法とは禊と云ふ事是なり、之は神代より行はれたるものにて、身體の禊と精神の禊と二つながら行ひたるものなり。其方法は清き流れに入りて身體を清め、然る後神に向つて懺悔して罪を謝する也。斯くして精神の高潔を計りたるものなるが儒教の擴まるに從かつて此法の廢たれたるは甚た惜むべき事なり。要するに形態と心とは相伴ふものにして、形態を清潔にすれば、自然心も高潔となる理なれば互に注意して衛生を重んじ、長命する事を務めざるべからず。云々（大日本婦人教育會雜誌）

◎日本新聞記者の女學者　數日間引續き掲載せる大文字なり。其論の一節に日く、男子は男子の職分あり、女子には女子の職分ありて、古來より女子にして男子のなすべき部分に事業を行ふたるもの よく成功したるものなしと。又婦人の特權としては、慈善の事業等に從事するを適當なりとし、其例として佛國婦人會議の領袖ダーリヤンの夫人の左の女權請願書を示して、以て婦人に最適切なる希望なるべしと論定せり。『男子は國債を拂ひ國土を護るの義務あり、女子亦た同じく義務を盡すを要す、凡そ未婚の婦女は少なくとも一年間、施療院又は慈善會又は教養所に通勤するの義務を負ふべし。是れ獨り義務にあらずして又た權利なり又た名譽なり。寡婦に至りては勿論なり。余は廿一歲の寡婦にして、一生の大望は唯だ第一番にこの名譽職に就かんと欲するのみ』

◎小山作之助氏の平民音樂と趣味性　人は天然の樂器と云ふべき口舌を有するを以て、宜しく此樂器を完全に使用する法を考ふべきなり。即ち極めて通俗的の音樂を用ゐて、しかも高尚なる趣味を養ふに適する歌謡を作り、之を最も面白くして歌ひ易き曲となして廣く世人に頒つことは最も必要の事なりとす。我邦人は概して沒趣味にして音樂又は遊戲杯によりて、精神を休養し慰藉することは非常に實益の存するものなることを知らず。元來人は心が面白からずんば何事にも成功すること難し、而して心を樂しますには、音樂に如くものなし、音樂は人の趣味性を高尚に導き、國民の品格を高むるものなれば社會國家のために一日も忽にすべからざるものなり。云々（成功二卷ノ一）

雜報

◉女子高等師範學校　同校本科入學生は豫定の如く、七十五名入學を許され、新學期を開き目下既に授業しつゝありと云ふ。又國語體操科の新募集生も三十名入學を許可せられ、近日より授業を始むるよし。

◉東京音樂學校　同校の甲種師範科の生徒は愈よ二十五名假入學を許す事となり、内女子の入學生は十七名にして、去にし廿一日より既に授業を始めたり。尙同校にては來月五日頃春期演奏會を催す豫定のよし。

◉東京美術學校の女生徒養成の議　上野の東京美術學校にては、曾て岡倉覺三氏校長在任の當時も詮議あり、物議多くして遂に立消えとなりしが、現校長正木直彦氏は時期既に到りとして、此程女生徒養成の意見を具して文部大臣に建議したりと云ふ。右に對して當局者中にも校規紊亂を招くの基なりとて、反對の意見を有するものもある由なれば、中々容易には實行に至るまじと云ふ。

◉實踐女學校　本會評議員下田歌子女史の專ら經營せらるゝ同校は、府下豐多摩郡澁谷村に新築中の處、此程漸く校舍の一部出來上りて移轉し去にし十八日十九日の兩日生徒作品展覽會を開き、關係の人々を招待したり。

◉芝區高等女學校　芝區三田四國町の舊水產講習所跡へ建築中なりし私立高等女學校は、去にし十九日落成式を兼ね開校式を行ひたるが、同日は校長棚橋絢子女史始め、來賓岡田文部總務長官の演說ありたり。同校は新設にも拘はらず、既に七十餘名の出願者あるよし。

◉和洋裁縫實修女學校の設立　同校は今度神田區北神保町に設立せられたるが、其の學科課程を、本科、教員養成科、洋服專攻科、刺繡科の四科とし傍ら女子に必要なる學科をも授くべしといふ。

◉各府縣高等女學校の景況　此の程發表せられたる、文部省の報告によれば、從來高等女學校の設備甚だ少く、隨ッて生徒の數も少く不振の有樣なりしが、高等女學校令發布せられ各縣に必ず之を置くべき制度となりし以來、大に其趨勢を一變し、本年度に在ても增設新設を爲したるもの多く、現に一縣に四校を設立せるもの四縣もある趣なるが、兎角女子は中途廢學するもの多く一ヶ年六千餘人の廢學者と、千餘名の除名者を見るに至るは全く女子の素志堅固ならず、一時の風潮に誘はれたるものに外ならすと云ふ。

◉癸卯園遊會　屢報導せし同會は愈々今廿五日廿六日の兩日水交社に於て催す由なるが、當日は華族女學校に關係ある宮樣方も、多分出席あるべし。催主の中にて夫れ〳〵役割あるものは去にし廿二日より日々水交社に集まり、熱心に豫習を行はれたりと云ふ、定めて當日は盛會なる可し、詳細は次號に讓る。

◉婦人教育會例會　同會は去にし十八日華族女學校幼稚園に於て開會し、棚橋女史は教育上弊害のある處を陳べ、次に文學博士瀨川秀雄氏山崎合戰以前の豐太閤に付て講演をなしたり。當日の來會者は會長毛利公爵母堂を始め、子爵松平保子夫人松平男爵夫人鳩山山脇兩夫人も見受けたり。

◉大日本婦人衛生會總會　來る五月二日午後一時より、同會總會及び春季懇親會を兼ね、小石川砲兵工廠内後樂園に於て擧行し、役員の改選あり、餘興には多分講談等の催しあるべしと云ふ。

◉日本女子美術展覽會　同會は上野公園内に於て、その第三回を開きたり、同會の美術品は女子美術學校、帝國女學校、婦女技藝專修塾婦人獎勵會青山技藝學校の出品にて頗る見るべきものありと云ふ。

◉千島婦人同情會　千島の拓殖經營が今日の如く長足の發達を爲したるは、報効義會婦人部の内助與ッて力あり。現に會長郡司大尉の夫人兼代子の如きは、渡島以來十年間一日も内地に歸りたる事なく、一般會員の妻女と辛酸を共にし居れるより。今回占守島在住の婦人に同情を寄せ、之を慰藉するの目的を以て千島同情婦人會なるものを設立せんとて齋藤海軍少將夫人佐藤高木の兩醫學博士夫人愛住女學校長小具貞子女史其他海軍々人の夫人專ら盡力せられ其協議會を去にし十八日開きたり。

◉動物虐待禁止會婦人部　同會は去にし十五日一橋外學士會に於て評議員會を催したる上、婦人部を擴張する事を議したるが、現に會員にも多數の婦人あるにも拘はらず、學士會にては婦人の會合を許さゞる爲め、別に婦人部にても時々會合を爲し、同會の主旨を社會に擴むべき方法を議する樣議決せり。尙同日の會合にて某夫人より芝勸業場に繋げる猿の虐待について訴へ出て、尙某西洋婦人よりは馬車の馬を途上に停むるに足に綱を卷く事を禁すべき旨申出られたり。

◉養育院の慈善演劇　東京市養育院は先般の評議員會に於て、本年は川上一座の演劇を催す事に決し、院長澁澤男爵より川上音次郎に内談中なりしが、略纒まりし由にて、本月末歟來月早々歌舞伎座にて興行する筈。

◉女子同情會の近況　長野縣上伊那郡富塚村の平民吉澤おはる(三十)は、昨年七月中毆打創傷の廉にて重禁錮九ヶ月の刑に處せられ、市ヶ谷監獄署へ入獄したるが、當時初と呼ぶ二歲の女子ありて、之を携へて行く事叶はねば、據所なくお初は養育院へ送られたり、然るに板垣伯爵夫人等の創立せし女子同情會にて此事を聞き、幼兒の一身を憫れみ、伯爵夫人は自ら監獄女監を巡視してお初を預り保育せんと申出で、之を引取て、相州鎌倉なる乳兒保育會員佐竹音次郎氏に託して養ひ置きしが、おはるは刑期滿て過日放免となりしにつき、板垣夫人は三名の會員を隨へ、お初を抱きて市ヶ谷に到り、母おはるに對して懇に將來を誡めたる上、お初を引渡したるに、見違へるばかり肥太りて、愛らしき我子の姿を見て難有涙に暮れ直に悔悟の色現れ嬉し泣に泣き居たれば一同滿足して引揚たりと。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

㋯ 東京日本橋區長谷川町
卸部 美濃磯本店
袴誂專門

電話浪花二千八百五十九番
電信略号 ミイツ

小賣部 東京本郷區本郷五丁目十三番地
美濃磯支店
電話 本局千四百十五番

婦人最良藥
子宮病血の道 産前、産後の諸症にて種々の藥を用ゐて其効なく久しく病床に苦しむ人は本劑を試みよ
●如何なる難病も二三週間に全治す

中將湯

●詳しき効能は大廣告の時御注目ありたし
定價 一日七錢五厘、三日廿錢、一週四十五錢 二週八十五錢、三廻り一圓二十五錢
●本舗へ御注文の方は病人の容躰御申込あれ
本舗 東京日本橋通四丁目 津村順天堂
大阪堺筋鹽町北入 津村順天堂
中將湯は全國各藥店にあり

目 半ゑり帯揚類 縮緬肩掛數多 縫模樣絞り形
○絞り形染模樣帯片側○絞り形兵兒帯地（帛紗地）
○染形しぼり形帯揚○新橋〆下締○染形げ出し
○雀形○ゑり治まげ入 おろし小賣
特製 高等洗粉 チエリー バイオレット
入發賣元本舗 ゑり治
第五回博覽會御觀覽の際は弊店出品に一覽を乞ふ
拙店出品御賣約品は閉會後東京府下市内御届仕候
新橋竹川町十二番地 電話新橋二千二十七番

新療法開始
瘰癧 如何なる難患にても切開を要せずして治癒す
心臓病 不治性と断念せし大患も轉地を要せずして衝心性
脚氣 に陥りしものも忽ち全癒す
根治療法を行ふ
千葉内科院
神田區三崎町三丁目一番地（西通廿五番）

佛國大博覽會賞牌受領
登録商標
博覽會賜賞牌
今古改正 寶香 齒磨
東京 東兩國横網町
伊勢屋吉次郎謹製

●水原産科婦人病院
○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千七百○九番）○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立産婆學校の設あり

新刊廣告 ◎坪内文學博士校閲監督
通俗世界文學
見よ!!!
▲世界文學は古今の傑作を網羅し
▲血あり肉ある原作の全影を邦文をもて最も巧に縮寫せるものは本誌也
▲文學研究者の好楷梯、一般國民の最上の讀物
毎篇頗美本裝 西名畫數葉入
第一編 ミルトン 失樂園物語 繁野天來氏著
第二編 沙翁物語 マクベス外二編 杉谷代水氏著
全部五拾篇毎月發行毎篇紙數百五十頁 ●正價金廿錢 六冊金壹圓拾四錢 十二冊金貳圓廿二錢 廿五冊金四圓六拾錢 五十冊金九圓 郵税一冊ニ付金四錢ツ、 毎月一回發行
發兌元 東京神田表神保町 合資會社 冨山房

新刊 婚姻文學
文學士 高鵬 尾田信直氏著
全壹冊 定價 金廿五錢

朝に妻を迎へ夕に去り昨は嫁して今は離るる或は琴瑟相和の義を知らず嫁娶の大禮を以て一時の離合視するは世弊なり著者は少壯男子の爲に女子教育の爲に風俗改良の爲に筆を執りて婚姻の眞義を論じ良縁好偶の選擇一國一家の繁榮は夫婦相和に基くあるを説き東西古今の美談を擧げ諧謔に交るに教訓を以てし道義を説くに常理を以てし其佳趣漫々として堪ふる中に薫陶化育の實あり文章亦高潔にして雅雄相備ふ一篇の修身書なり良縁鑑なり女道訓なり庭訓の好侶伴たり請ふ陸續購讀の榮を賜はらんことを

●自然の子 高瀬花陵氏著 全一冊 金十八錢
●普通育兒法 弘田醫學博士閲 木村鉞太郎氏著 全一冊 金七十五錢
●女子新論 本社篇 全一冊 金七十五錢

●立志の栞 高柳秀雄氏著 全一冊 金廿錢
●處女衛生 北島研三氏著 全一冊 金廿錢
●公德養成 帝國教育會編 全一冊 金五十錢

發兌 東京本町 書籍株式會社 金港堂 各地特約店

醫院案内

兩國病院 内科 小兒科 院長 醫學士 小林廣 診察 日本橋區米澤町三ノ六 午後 電話浪花壹七七七
同分診所 本宅 診察 本郷區本郷四丁目廿五 午前 電話本局一七貳貳

婦人科産科榊病院 院長 醫學博士 ドクトル 榊順次郎 東京麹町三番町卅三 診察午前 入院隨時 電話番町三百九十五

小兒科、小兒皮膚病 長井醫院 日本橋區數寄屋町 電話本局百八十

小兒病診療 醫學士 内田愼太郎 浅草區新福井町貳番地 宅診午前 往診午後 ●電話下谷七一八番

樂山堂病院 外科專門 院長 醫學博士 宇野朗 副院長 醫學士 中原德太郎 浅草區小島町 電話浪花一五七七

山龍堂病院 院長 醫學士 土屋良藏 林伊與造 東京神田小川町四十番地 電話本局二二〇

●醫學博士 中濱東一郎 ●外科擔當 醫學士 桂秀馬 麹町區下二番町四十五番地（電話番町七十五番） 月、火、木、土 午前外來診察 公務の餘暇毎日午前診察 回生病院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店

◎東京堂 神田區表神保町三番地

◎東海堂 京橋區銀座四丁目

夏着新荷着

服地○長襦袢用シャレー○其他英佛國更紗各種○帽子○造花○羽根○日傘○手袋、沓下○レース絹木綿各種○ピン○サイコーム○婦人用ネキタイ其他小間物各種

御袴地(海老色、紺、小豆)

シャレーの義は貴婦人、令孃向き柄合特に撰み取揃有之候間多少共御用向御仰付被下度候

東京市麹町區麹町二丁目七番地

婦人洋服地 附屬小間物 卸小賣商 八木屋號 大國服裝店 電話番町七四二番

美術雛人形 寫生武者人形 卸商

寫生 武者人形

謹製 幟 販賣

淺草橋通丸町十四番地 光月本店 電話下谷千四百三十五番

第八版 軍人讀本 三冊

定價金參拾六錢 郵稅金拾錢

子爵小笠原長生氏著 英皇戴冠式參列 渡英日錄

子爵遣英艦隊の乘員として英皇戴冠式に參列するや其絢爛たる筆致に遂に興味ある此行の日乘と爲り戴冠式の實況は云ふ迄も無く航路間の名所舊跡細大漏す所なく又史的研究に依りて進取の氣象を鼓吹し英國民が日本に對する意向如何を細叙し冥々の間に新智識を修めしめ海事思想を發ひ史に國民品性の養成上資する所大なるものあるべし

定價四十錢郵稅八錢

東京市ヶ谷見附内 發行所 軍事教育會 電話番町一二五七番

大和魂

定價金參錢婦人郵稅不要

三日十五日發行

立國の要素たる民性の頹敗未だ今日の如きは有らざる也吾人大に茲に感ずるあり德性涵養の事に從ふ者數年世人の歡迎は茲に月刊を二回に增刊するに至らしめ家庭の良教師たらんたり

第五版 精神教育談 四冊

定價金五拾五錢 郵稅金拾錢

ヴワイヲレット製 壽美禮おしろい 伊勢吉 臺室製

定價 人瓶二十錢 小瓶十二錢

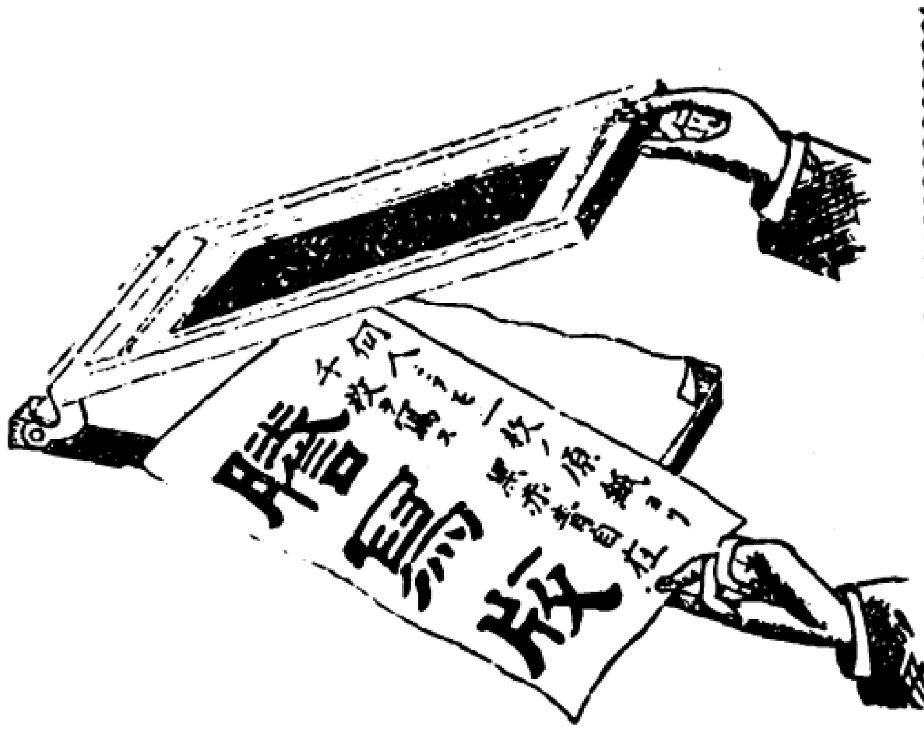
定價 大瓶廿五錢 中瓶十五錢 小瓶十錢

西洋色白くする洗劑 壽美禮あらひ粉 東兩國 伊勢吉 壽美禮堂

定價 練壹紅彩蝶雷ひ纏箱六錢五厘ボックス入三錢袋入壹錢

町村役場に限り特別販賣法あり

大改良騰寫版



今回佛國より原料を輸入し之に改良を加へ暑寒共變質なき完全なるルーラを發明したる事を本器拾餘萬の御使用者各位へ謹告仕候(明治三十四年九月)

水難救濟會員及び本誌購讀の御方に限り薬書にて御通知次第騰寫版定價表及仕用法共騰寫堂より無代にて進呈可申上候

●賜進步賞牌 陸海軍御用 專賣特許 發明人 堀井新次郎

●本器は何人にても熟練を要せず直に實用し得らる

●一枚の原稿にて千枚以上を印刷し得、最も書簡隨意筆記の繪を寫す

●書體は眞草行隨意最も最字適當なり

●濃き墨色を主として赤青自在なり

●本器製品番號十餘萬號に及べり以て確實多效なるを知られよ

●解說書(和英二種有)及印刷見本御申越次第發呈す

東京神田區鍛冶町三番地(電話特本局千〇八十四番) 販賣元 騰寫堂

大阪臨時出張所博覽會正門前東京府賣店内

內國特約 大阪 岡山 門司 名古屋 函館 仙臺 丸龜 福岡 橫濱 飯田 秋田 高知 宮山 松江 其他

海外特約店は米、露、濟にあり

皮膚病專門醫坂本李堂氏著 (再版)

男女美顏法

一名 美顏之秘訣

正價金四拾錢郵券一割增郵稅金六錢

右ハ著者が多年ノ實驗ニ照シ何人ニテモ行ヒ得可キ美貌ノ秘訣ヲ詳說セル珍書ナレバ冀クハ本書ヲ繙ヒテ其容貌ヲ艶麗ナラシメン事ヲ本書非常ノ好評ニテ夥シキ注文數ナレバ可成早々御注文被下度希候

發兌 東京京橋區弓町 松村三松堂

をんな

◎本誌の目的は婦人をして常識に富み、世態に通じ、以て婦人の人格を高めんことを期するに在り。されば、其所載、新に流れず、舊に泥まず、一宗一派に偏らず、而も世に阿りて、徒らに俗流の歡心を迎へず。◎本誌は、輕佻浮華の弊風を避けんが爲に、表紙口繪など、不要の裝飾を省きて、專ら記事の精選を努む。◎本誌に收錄する所は、普通婦人雜誌に掲載する文學上、家政上の記事のみに止めずして、一科學の大意を揭て、學理の槪念を得しめ、一法制理財等の事を平易に要を揭げて、讀書の涉獵に便せしめ、一和漢洋名著の綱要を揭げて、讀書の渉獵に便せしむ。◎本誌は、野卑なる言語及び劣等なる文字を避け、下品なる廣告を揭げず。◎本誌は、其模範を示す。名家の愛讀者を奬勵せん爲に、每號懸賞貯金切手を附して、勤儉貯蓄の美風を獎勵す。◎本誌愛讀者は、みやび會員となり、其歌、文を本會に送付して、名家の批評添削を受くることを得。

每月一回十五日發行 每號紙數百四十頁 定價拾五錢全國無遞送料

發行所 麹町區下二番町三十七番地 大日本女學會

◎女學生監督◎

近來府下留學女學生の風紀に感ずる處あり、夫洋行の留守中五ヶ年間女學生七八名を限り自宅に預り望の學校に通學せしめ夜間は望に應じ英語並にオルガンを教授す

東京市小石川區春日町四十三番地 英和女學校出身 近藤れん

商標 吉

●御袴地●御仕立袴

學校用男女御德用向特別品廉價に販賣仕裁縫は殊に叮嚀を旨とし高尙に仕立申候弊店は古昔より袴專業に候

芝區日蔭町通源助町十三番地

袴專業 住吉屋 犬飼吉兵衛 電話新橋二千百六十五番

明治三十六年四月廿五日發行(每月十日廿五日二回) 明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

發行兼印刷人 山澤俊夫 編輯人 手島益雄 發行所 大日本女學會內

印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會機關

愛國婦人

每月十日廿五日發行

（定價）一枚參錢五厘　一ケ月分七錢　三ケ月貳拾壹錢　半年分四拾貳錢　壹ケ年分八拾四錢　全國無遞送料　郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割增
廣告料五號活字一行四拾錢

發行所　東京市麴町區下二番町三十七番地　大日本女學會內　愛國婦人發行所
印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

電話番町壹千三百三十番

◎本號には附錄として評議員山內侯爵夫人同鴻池夫人同一ノ瀨夫人の肖像附錄を添へたり

社說

偶感

人によッて好惡が違ふから、自分には面白い事と思うとも、人には一向趣味が無いかも知れぬ。社交の花たる婦人は此點に深く注意が入ると思ふ。佛蘭西のセクレイといふ詩人の話に『曾て自分は詩が出來ると、逢ふ人每に讀み聞かせて居ッた。所が友人の某詩人が、亦近來詩が出來ると來訪して自分に讀み聞かせる。隨分出來の良い詩でも、半ば過ぎまで讀み聞かされると、飽が來て厭になる。其處で自ら省みて其後詩を人に讀み聞かすとを一切止めにした』といふとがある。詩人同志でさへもさうであるから、文學趣味のない人は、如何に迷惑を感じるかも知れない。自分の面白く感じる事は、誰も面白がるであらうと速斷するは、大なる誤りである。

又自分が其趣味を解せずして、人のする事を、一概につまらぬ事と速斷するのも大間違である。德川家康の遺訓に『予は兵馬倥偬の間に人となッたので、若年の頃から、碁など弄ぶ暇がなかッて、擲方を知らず、常に碁を圍む人を見ては、無下に痴漢と思うて居ッた。然るに老年に及んで徒然なまゝに、圍み始めて見ると、中々面白いものである、殊に無聊を慰めるには極めて良い遊戲である。由て思ふに、何事でも、自ら究めずに他人のする事を見て非難するのは、所謂不食嫌で、大きな僻事であるから、愼まねばならぬ。』といふ意味の事がある。實に世の中には、斯樣な僻事が多い。洋學者は漢學者を迂儒と嘲り、漢學者は洋學者を高襟と笑ひ、佛敎家は耶蘇敎を外道と謗り、耶蘇信者は佛敎を惡魔と罵るなど、其例は枚擧に遑がない程澤山にあらう。世の中に成立ッて居る以上は、何事に限らず、理窟を備へて居らぬものはない筈であるから、左樣に一概に非難すべきものではない。たまく書を讀んで感じたから、茲にしるして、我が親愛なる會員方の同感を求める。

◎風俗改良に付て

伯爵　板垣退助

○我國の進步は總ての點に於て著しく發達して居るが、只社會改良の點は實に調うて居らぬ。之を外人が評して日本人は裸にフロックコートを着て居ると云ふが之は適評である○日本は今や外國に對し國と國との交りは對等に出來ても、人民と人民との交りは對等に出來ぬ有樣である○近來の政海の腐敗は見るに忍びぬが、其原因はつまり選擧が眞正に行はれぬからである、金の爲には政黨主義、人物の如何は顧みずして選擧する結果である。○實業の不振も社會の信用が發達せぬからである。信用なき處には取引が止まり、金融が付かぬも當然である、之を救濟するには矢張り社會から改良せねばならぬ○學校敎育は如何によく行き屆いて居ても、學校以外の敎育即ち社會敎育が盛に行はれぬ時は、敎育の目的は達せられぬのである○社會改良風俗改良は如何にすれば行はれるかと云ふに、輿論を作ッて世の風潮を制せねばならぬ。之を制せんとするには、最も通俗で入り易き事より始めねばならぬ○風俗の問題は人の內心の關係よりも、外形の關係である。心の改良よりは形の改良である。心がよくば形はどうでもよいと云ふ譯に往かぬ。道德が盛なればとて、それで直ちに風俗が改良せらるゝとはいかぬ○風俗改良を道德の方面より行ふとするはむつかしい事である。道德のみで往けば政事はいらぬ。政事は外形に顯はれた行爲を、法律によッて制するのであるが、法律以外に社會の制裁力を以て或點迄は改良せねばならぬ○今日日本の社會の有樣はどうであるか、英國人などが吾野卑な風俗を見たらどうであらうか、決して日本人と相親まぬであらう。相親まねば信用も生ぜぬ、實業も發達せぬ譯である○日本人の不謹愼な事は、內地のみならず、外國に迄往ッて行うて居る。支那朝鮮あたりでも頗る亂暴である。如何に外交が巧妙であッても、後から人民が之を破壞して往ッては、國運を發展せしむる事は出來ぬ○日本人も今日では交際の範圍が昔とは余程異なッて來た。只命令に服從するのみでない、自治の民である外國人と、對等の交際をせねばならぬから、海外の事もよく審かにして、國家の汚辱とならぬ事をばよく心懸けねばならぬ○日本婦人が一寸他人を訪問するにも、土產物を携へねばならぬと云ふ如きは、交際の狹い證據で、之れ等は斷して廢せねばならぬ○年頭歲暮の僅なる贈物の如きも虛禮に近い、自分の贈たものが又轉々して自分の處へ戾るが如き事は赤面すべき風俗である○風俗に大關係を有するは行住坐臥で衣服家屋が改良すべき重なる點であるが、日本人の端座の制は足利の二三代頃より出來たものである、西洋人が日本人は足の短い人種であると云ふが之は端坐の結果である、之は直ちに椅子にかけると迄は往かずとも、箕踞位には改良したいものである○日本の衣服は唐の制度を採用したもので、始めは公卿が用ゐて武家は用ゐぬ。歷史にも長袖者流何んぞ兵を知らんと云ふ事がある。處が德川時代より長袖の人となッて平民まで行はれる事になッた○袖か勞働の爲に不便な事は明かである。勞働は神聖である。神聖なる勞働の爲には最も便利なる衣服を作らねばならぬ○日本の下等社會の言葉に一はだぬがふかと云ふ言葉がある。之は即ち袖の不便を證して余りある言葉である○婦人服にも實用的と美術的のものとを選ばねばならぬ。京都の大原女などの服は便利で且つ美術的であるが東北地方の股引は、餘り極端であると思ふ。要は其中庸を採るにありだ○日本の家屋には疊が敷いてある。これはごろく\して寢るには便利であるが、起ッて働くには不便である。それで一寸した事にも人を使ふ樣になる。衣服も之に準して二樣に用ゐて外所往きには着替る。之に反して洋服ならば應接も心安い○上流社會に至ると洋館と日本室とを作り、衣服も洋服と日本服とを作るなどは甚だ不經濟な譯である○如此云へば夫れなら妙案を立てゝ貰ひたいと云ふ人もあらうが、我々が別に立案するにも及ばぬ。兩陛下は畏くも既に其例を御示しになッて居る依て上流社會より段々其例にならうて變更せねばならぬ。其變更方法も日本の歷史を鑑みて、長短取捨せねばならぬ。三千年來の風俗にして、其善良なるものは保存せねばならぬ。

評議員棚橋絢子筆

京都支部第二回大會の盛會をとほきて

京都　會員　花輪余志野子

赤心の花とさきたるこのまとゐ
　いよゝさかりになるぞうれしき

愛國婦人の社說を見る度每に感するのあまり

見む人よ永久にわすれそ此文の
　世にをしへたる花の言の葉

閑院宮妃殿下を總裁に頂きたりと聞て

長崎　會員　式守澄江子

いや高き富士をあふぎて今日よりは
　裾野の松も千代にさかえん

閑院宮妃殿下の總裁にならせ給ふをかしこみまつりて

宮城　會員　山田さと子

大御代に盡させ給ふみこゝろを
　あふぎまつるもかしこかりけり

雲井より移らせ給ふ姬ゆりを
　千代のかさしと仰ぎまつらん

宮城縣支部第一回總會のまとひにつらなりて

宮城縣副幹事長　錦戸順子

眞心のちかひてなれるけふぞとて
　さかえゆく世の末ぞうれしき

朝日子の惠の露のかゝらずは
　老木のうめはにほはさらまし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論說

◎音樂談

東京音樂學校敎授　幸田幸子談話

孃は郡司大尉幸田露伴及び幸田延子諸氏の令妹なり。夙に音樂に志し音樂學校卒業後選ばれて獨乙留學を命せられ、業成りて此程歸朝し、去にし一日同校春期演奏會に於て各內親王殿下の御前に其獨特の技を演じて、各殿下及び斯道の達人として自ら任ずる各敎授諸氏の喝采を博せられたり、本篇は同孃を訪問して、得たる談話の要領なり、聽誤りの責は記者にあり。

私が獨乙の伯林に留學致して居りましたのは僅に三年餘りて、同地の音樂專門學校で研究し、此程歸朝致して未だ日もありませぬから、十分の御話は出來ませぬが、始め學校への入學試驗はなかなかむづかしい方でありましたが、幸に入學を許されまして、同校の敎授ヨアヒム氏に就て專らヴイオリンを研究致しました。始めの程はピアノも兼修して居りましたが、後にはヴァイオリンばかり習ふ事に致しました。私の入學しました學校の生徒の重なる目的は、技術家として世に立たんとするものが多數で、中には敎員となる目的のものもありましたが、獨乙は流石音樂の本場だけありまして、世界各國の人が入り込んで居ります。日本よりも、私の外に某と云ふ婦人が一人入學して居りました。獨乙の音樂が盛な事は非常なもので、中等以上の家庭にはピアノの一臺位備へ付けてない家は無い位であります、特に家庭に於ての音樂が盛でありまして、家內一同晩餐を濟ました後は、老幼となく集まッて、音樂を奏して遊ぶと云ふ有樣で、之が爲に家庭も融和して、十分に家の內で快樂を取ることが出來ます。又晩餐等に友人などを招きますと、來客の方から譜本などを携へて來て、音樂を奏して家內のものに聞かすと云ふ樣な風で、子供なども亦之に和して歌ふと云ふ有樣であります。交際と音樂とは常に相伴ふものゝ樣になッて居りまして、中等社會以上のものは、男女に拘はらず音樂が出來ないものはありませぬ。よし音樂が出來ぬにしても、音樂の嗜好のないものはありませぬ。第一交際場裏に於ける話の種としても、音樂の事を知らぬと手持無沙汰であッて、趣味深き交際は出來ぬと云ふ有樣です。夫れでありますから、社會の好みが音樂界に向ひ、總ての會合遊技などには必ず音樂が伴なッて居ります。社會も音樂家を中々優待して居りまして、有名な人になりますと、政府より勳章を貰ッたり、位階を貰ッたり致します。又獨乙の宮中には立派なる音樂隊が組織されてあります。ヲペラへ出る音樂家などは中々高名な人で、音樂會は中々盛んに行はれ、其種類も多くて、大概每晩ある位であります。獨乙皇帝陛下及び皇后陛下の御前で、私が彈いたかとの事ですか……左樣一度あります夫れは或る女學校の開校式へ御臨場の際でありましたが、其時には一同と一緒に彈きました。私が獨乙で箏を彈た事ですか……夫れは同地の博物館に於て、各國からの樂器が出品せられ、東洋からも日本支那の樂器もありましたが、其中に日本の箏がありまして、之を說明する委員の方から私に彈いて呉れとの御依賴でありましたから、昔し習ひ覺えの一曲を其席で彈じ、日本の箏といふものはどう云ふ音が出るかを知した迄であります。學校と音樂との關係の事は、よく調べて居りませんが、小學校時代では唱歌が余程よく行渡つて居る樣に思ひます、上流社會になりますと、家庭に音樂敎師を傭ひ入れて子弟に習はすのもありますが、何しろ一般に音樂が盛んでありますから、幼少の時から何時となく自然に聞き覺えて、音樂的趣味を解するやうであります。日本へ歸つて見ますと僅の年月の間に中々音樂界も盛んになつた樣です、音樂會を開く度每に、多くの聽衆か堂に充つると云ふの有樣を見ても、一般に社會の人が音樂を嗜む樣に至つた事も知れます。併し私の見た處では、音樂會に集まる人々が悉く音樂を理解し面白く愉快に聞く人であるか、或は此度は誰が演奏するとか、誰が往くから自分も往と云ふ風に、聞くよりは見に來る人が多くあるのではないか、其邊の處はまだ日も淺し、確かと知れませんが、學校のコーラスなどは以前に比べると餘程進步して居ると云ふ事は確かに認むる次第であります。日本の音樂會では兎角歐州に流行して居る樂曲などを其儘持つて來て演奏致しますから、始めて聞く人や素人の方には耳が慣れて居ませぬから聞き難うて、折角の面白い處も聞き逃がして仕舞ふと云ふ恐れがあります。之は聞く人の程度に應じて、段々に簡單なものより複雜なものに移ると云ふ有樣でなくてはなりませぬ。つまり聞く人と彈く人との意氣相投する樣に仕組まねばならぬ事と思ひます。夫れでありますから折角苦心して彈かれる曲も聞く人には何だかさッぱり分らぬといふ風では斯界の進步もむつかしい事と思ひます。私は日本に歸りまして、未だ日も淺うありますし、音樂界の觀察も屆きませず、又音樂を普及せしむる方法等について、別段大した考へを以て歸つた譯でもありませぬから、御話しの材料が少くて御氣の毒であります。

◎衣食住と體育との關係

女子高等師範學校敎授　井口あくり子

○米國の婦人は概して交際し易い。何事にても、打解けて話をする。日本婦人は之に反して打解け難く、天眞爛熳と云ふ樣な交際は出來ない○米國の婦人は快闊と進取の氣象に富んで居る。之は新智識を得んとする心掛は老ても衰へない。之は體育を重する結果、身體が健なのに起因するのだらうと思ふ○米國の婦人は少し氣分でも惡い時は散步するとか運動するとかして、頭を爽にし氣を快闊に持つ、之に反して日本婦人は一室に垂籠て仕舞ふ流儀であるから、自から身體か惡くなる道理である。

○服裝改良の說は近來やかましいが筒袖が高等女學校以上の學校に行なはれて居らぬのは缺點である。何故行はれぬかと聞くと、只見ともないと云ふので之が身體のため利益であるとの考へは一もない、女學校に海老茶袴は流行して居るが、之は今日では一の見榮の爲に我れも〳〵と着るやうになつた爲、種々な惡評さへ受けるに至つたのは流行の弊であります○日本の婦人は衣服に甚だ金を掛けて居る。歐洲の婦人と比べると餘り贅澤で、歐洲では一年に衣服を一二度も新調する樣な事は決してない○殊に小兒の內から、衣服を幾枚も持つて居るのは日本に限ると思はれる、他國では夏冬大概一枚位のものである○歐洲人は食物に比較的多くの金を掛ける。三度とも肉食と云ふ有樣であるから壯健である。日本では衣類に金を掛けて重いものを着て身體をつからし其上によき食物を食はない、是で以て壯健なる國民が出來る譯がない○特に日本に於て父兄敎師の注意すへき事は小兒の學校辨當が至つて少い事である。何故かと聞くと是れも少いのを持て行くを一の見榮の樣にして大な辨當を持つて往けば大食ひとそしられるとの事であるが之は間違ひてある、少食して永く勉强する力が續く道理がない○日本人は小い上に脚部か短いか爲に、殊に少さく見える、之れは小供の時より端坐するので脚部の營養不良の結果である。之は日本の家屋の造り方にもよるのであるから之も早晩改良すべきものである○日本婦人の足が內輪に曲つて居るは、端坐の爲であつて端坐は天然の形さへ變更する恐るべきものである○以上種々なる缺點は世間多くの人は知つて居つても中々改良か出來ぬ。其次第は要するに金がないからである、併し金がないからとて、出來ぬ事はない。安價な机と椅子とを一つ宛求めても端坐の弊を廢する事が出來るではありませぬか○今日では日本婦人は美術なり文學なりを以て樂しみとして居るが、今後は少し運動の方面を熾んにして、運動によつて氣を快闊にし、精神を慰める事を計るやうにしたいものである。

◎男女早婚一覽表

(前號早婚及び晩婚の話參照)

統計局審査官　吳文聰

府縣	結婚組數	結婚每百早婚 夫十九歲まで	結婚每百早婚 妻十七歲まで
青森	五、〇八一	一八、〇五	四〇、四四
岩手	四、八二八	二四、一九	四〇、一八
秋田	五、四三五	一四、四一	三七、六八
山形	六、九三四	一三、七〇	三二、五五
宮城	六、二八四	一二、五七	二五、九四
福島	六、九二九	一六、八四	一九、七〇
新潟	一五、三一三	一一、七五	一五、〇一
富山	五、七四〇	六、三一	二四、三二
石川	五、三八三	五、六三	一九、六七
福井	四、六八四	七、八一	一六、一六
栃木	五、五七二	一四、〇一	一二、一六
茨城	七、二七一	一二、七九	一三、四五
群馬	五、八六九	一四、三五	一一、〇一
埼玉	九、二〇七	一二、七〇	一〇、三八
千葉	八、九二六	一三、六七	一六、六三
東京	一三、一三三	二、九八	九、一一
神奈川	六、二八四	三、五八	八、六二
長野	六、四八九	六、六七	一二、〇二
山梨	三、三九九	六、五六	八、三八
静岡	九、一九〇	一〇、〇二	二〇、九八
愛知	一〇、三四二	五、六七	一三、四四
岐阜	六、四八九	四、二五	一二、六八
滋賀	四、四九八	三、八九	七、八三
三重	六、三〇〇	六、一三	一一、二七
和歌山	四、三六七	四、一四	八、八四
奈良	三、〇〇一	五、七五	六、八〇
京都	六、一四八	二、九一	九、七四
大阪	八、七三二	三、二九	八、〇九
兵庫	一〇、一五九	五、一九	一一、九〇
鳥取	二、四二九	一一、四〇	一四、一二
島根	四、〇五一	七、一六	一三、八〇
岡山	六、〇七三	七、〇八	一二、九二
廣島	八、六二二	七、四〇	一五、五四
山口	七、〇八一	四、四一	一二、九二
香川	四、一八七	六、三五	一一、九七
德島	四、一五五	八、七八	一一、八四
愛媛	六、二七二	四、九三	一四、二九
高知	三、五六九	七、六五	一九、三一
長崎	四、七三一	五、五八	一一、五〇
福岡	九、一一三	四、二一	一一、〇七
大分	四、九〇五	五、七一	二、四二
佐賀	三、九四一	五、一〇	九、五二
熊本	六、八八四	三、九五	七、七九
宮崎	二、四二四	七、五五	一二、六二
鹿兒島	五、九二三	三、四四	七、〇七
北海道	六、三一五	六、一三	一八、七八
沖繩	二、四九三	一六、三二	七、六二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人傳

松尾多世子の傳（承前）

評議員　下田歌子

斯くて、四方勤王の士雲のごとく起りて、皇家の御稜威をかゝげ、武臣の專横をおさへんと呼はるゝ聲の次第々々に、高く且つ多く成りもて行くまゝに久しく廢滅に歸したりし、行幸の通も辛うじて開け初めたり。名は尊嚴に借りて、其實は實檻を奪ひ、畏くも一天萬乘の君は、ひとへに座敷牢獄にとらへ置き奉りしが如くなし申しゝかば廣くもあらぬ　皇居のなかにおぼすに適はぬ世を明し暮らさせ給ひ、みじめの内なる比叡、愛宕の高峯にまよふ浮雲も我が世の外のものとのみ、打ち眺め在しましけんを、いと珍らかにも装ひたつる鳳輦の御簾のすき影、むかしに還る色もめでたし。さて文久三年といふとしの春三月　天皇加茂の御社に行幸ましけるほど、洛中洛外、さゞめき渡りて、近國の民とも、恰も蟻の甘きにつくがごとく、寄り集ひて立ちこみたるさま、まことに立錐の地も無しとは、それをこそ云ふらめと覺えて、夥しといふもおろかなり。多世女、この盛典をつたへ承りて、そゞろに感涙にむせびつゝ、

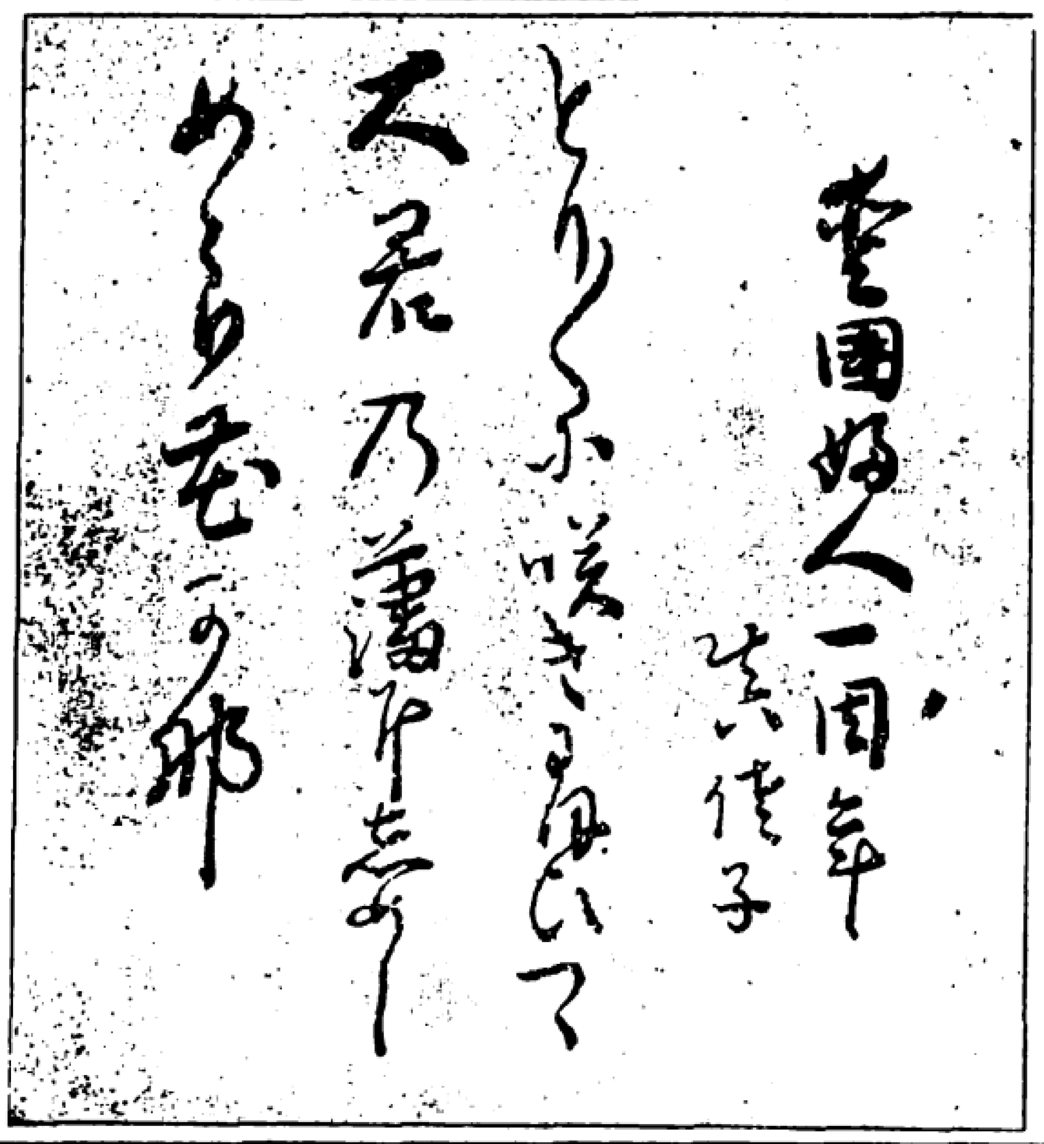
君と臣と道をたゞすの神垣に、いてましの世となるぞうれしき。とぞうたひたりける。

さるほどに諸國の有志遠く長洲侯が、勤王の志深く且つ士を愛するの情厚きよしを傳聞きて、或は藩を脱し、或は衛りを遁れて、爰に來り集まる者、日に月に多きを加へぬ。斯かりしかば、中には尊王攘夷に借りて、其實已れが口を糊せんとするあり、又は憂國志士の形を眞似て竊かに幕府の探偵をつとむるの徒あり。殊に斯く亂を胎める世のたゞすまひ、昨日は無二の味方と賴みつる人も、今日は忽ちにして敵となり、始めて千尋なす巖の堿かし難き心ぞと信じたりしも、終には柔軟なる綿のごと化し去るも、亦少しとせす。されは死を誓ひ、規律を固くして結べる中の友垣も、狐疑猜忌の念やむ時なく、いと淺間しき世の形態とは成りにたりけり。是故に多世女は常にその藩中に潛伏せる人々の言語擧動にも、子細に能く心をとゞめて、時々そが馬脚を見あらはし、竊かに同士の人に告げて、禍を未發に防ぎしこともしばしばなりき。されば女史が注意の大方ならずして且つは人を見る眼の明かなるに誰とて感ぜぬ者も無くいよいよ諸士が女史に對する尊敬の心を深めぬ。

◎家庭の快樂と下流に對する同情

文學士　下田次郎述

家庭は一家に於ける樂園で、主婦は此樂園の主であれば、此樂園に集まる人々に各々適當な樂を與へる事は即ち樂園の主の働きに屬します。故に此樂園は常に春風駘蕩の有樣でなくてはなりませぬ、主人なり子供なり外部の働に疲勞して夕暮時に此樂園に入つて慰籍を受けんが爲に歸ッて來るのであります、故に此樂園の主は如何にせば是等の人々を樂しましむるに足るかと云ふ事を常に工夫する事か緊要であります。所が我日本の家庭には其邊の用意がとんと整うて居らぬ樣であります。かくては主人の活働力も十分に續かず隨ッて社會の事業も發達せぬ譯であります。さて其工夫も色々あるでありませうが、其一二を申せば、第一家庭的音樂の奬勵、第二文學的趣味の注入、第三家庭的遊技の勵行であると存じます。殊に第三の方法は身體の壯健を來たすの効力と相伴ふものでありまして家內一同が集まッて簡單なる遊技を行ふは頗るよい事と思ひます。



（評議員　三輪田眞佐子筆）

家庭が愉快にありませぬと、主人は家に居ないで家を飛出します。これは日本ばかりでなく、外國にも其弊がありまして、殊に其弊は下等の勞働者に多くあります。何處でも無敎育な婦人は主人を樂ましめる工夫を知りませぬから、兎角家庭の和樂を缺く樣になります。故に外國では主人を家に引付け置くだけの伎倆を養成せしむる爲めに、貴婦人方の計ひで夜學校が設立してあります。即ち工女其他下等社會の婦人が、主婦となッて後、家庭の快樂を作るに必要なる智識を養成する處であります。日本に於いも追ては其樣の設備が欲しいものであります。

次に外國では貴婦人が下等社會のものに同情を表する事が甚だしいのであります。夫の英國に於ける皇室の貧民饗應などは大したもので、一度に五十万人を招き、その爲に費した酒量が船に三艘、牛は幾十頭、團子が列車に幾十列積む程であッたと云ふ位盛なものでありました。貴族も個人で時々貧民を饗應し貴婦人が自から其席に出て斡旋の勞を執るゝと云ふ有樣であります。又、時々下女の饗應會と云ふものがあります。これは時には皇后陛下よりの饗應もありますが、貴婦人の催して饗應會を開いて下女を慰める事になつて居るのであります。日本では下女を奴隷の樣に朝から晩まで制限なく使うて居りますが、之れ等は何んとか工夫して、下女の生活を愉快にせしめ、時々は饗應會を開くと云ふ樣にしたい事と思ひます。

◎家計整理の事について

會員　某夫人談話

貴紙に每號掲載せらるゝ家計收支の實況は、實に面白く拜見して居りますが、家計の有樣は各々家々によッて種々相違のあるもので、同じ收入の家でも官吏と商人とは暮し向きが違ひ、子のある家と、ない家とは費用の掛り方が余程異ひます。又田舍の生活と東京の生活とは、まるで狀態が異ひますから、田舍の人の出された表は幾ら善く出來て居りましても、私共の參考にはなり兼ます。そこで此東京生活でも、中等社會の人が一番暮し易う御座います。上流社會でも余程上の方になると、暮し易いのは勿論でありますが、其中間のものが實に暮し難いものであります。なぜかと申すと、中等社會の人になると、下女も置かずして濟むし、買物も自身に出掛けて往ッて、最も適當な品を選んで、廉價に買ひ求められますが、少し上流となると、自ら出掛けると云ふ譯には參らぬ慣習になッて居りますから、高價のものと知りながら、出入の八百屋肴屋より買求めねばならず隨て現物を見ないで買ふ樣になりますから、高價なばかりでなく、分量の多い少いの見計ひが付かず、自然不用のものをも買ッたりする事がありまして、不經濟の事が多くあります。其他交際上に付きましても、主人の方も多くかゝりますが、家庭の方も多くかゝる譯であります。夫れて中等上等の標準は、私の考へては先づ五六十圓位が中等で、百二三十圓以上が上流のものと考へます。次に子供のある家と、子供のない家とは費用が余程違ひます十歲以上の子供二人と、成年以上の者一人との割合は、子供二人の方が多くかゝります。又哺乳兒は中々手間がかゝるもので、主婦の働きを拘束しますから、家計の經濟上には餘程影響を及すものであります。夫れから話が變りますが、會計帳の作り方も色々あらうと思ひますが、日本も歐米各國の樣に、手形が流行すると大變に便利であります。私共の如き官吏に於ても貰ッた金を銀行に預けて、魚屋でも呉服屋でも二三圓以上の支拂には、總て手形で出すと云ふ風習になりますと、會計帳も非常に整理して往きますが、今日では何處でもさうでありませうが、會計帳などは人樣の前に恥かしくて出されぬと云ふ有樣であります。そこで私は新發明と申す程ではありませぬが、紙の袋を作りまして、之に飲食費、被服費、敎育費、交際費、衛生費、租稅小遣と云ふ風に、大體の科目を書き記し置き、俸給を貰ッた時は其科目に割當、金を其袋の中に入れて置きまして、必要の時其袋より出して仕拂ひ、可成其袋の金と他の袋の金と流用を許さぬ事に致して、殘余があッたら、之を預金する事に致して居りますが、之もまだ十分な方法とは覺えませぬから、どうか皆さんの家計整理上の樣子を少し聞かして戴きたう存します。云々

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎家政要領

家事衞生　食物

海藻　昆布・乾海苔・裙帶菜・荒布・羊栖菜等最も廣く用ゐられ、孰れも多少の蛋白質を含めども、滋養に富める食物にあらず。又、凍瓊脂・心太も賞すべきにあらず。唯、凍瓊脂は魚膠に代用して適當なる食料なり。其他鷄冠菜・海蘊・水松等は、殆んど食物としての効なし。

菌類　松茸・香蕈・青頭菌・松露等は殊に珍重すれども、食料としての價値なし。香蕈・松茸は多少の蛋白質を含めども、消化極めて惡し。又、菌類は腐り易く、且つ其形の食ふべき物に似て毒あるもの多し、普通以外の菌類は一切食ふべからず。

果實　果實は野菜と畧同じく、皆酸類・水分及糖分に富み、香氣（特有の揮發油）を有するを以て、人之を嗜好す。現に肉類は勿論五穀をも斷ち、木食のみを爲す修行者あるを見ても、能く榮養を支へ得べき食物たるを知るべし。果實は之を適量に用ゐれば腸胃の工合を整へ、食物の消化を促し、疾病を豫防するの效あり。されども、之を過量に用ゐる時は、下利を生ずるとあり。總じて水菓子は食後直に用ゐるを可とす。間食として夜分に食するは殊に宜しからず。小兒に與ふるには、別して疵なく腐敗に傾かざるものを用ゐるべし。蛔虫は大抵水菓子より生ずるものなり。

油類　西洋にては豚脂・精製牛脂・牛酪を用ゐれども、我國にては其用無し。此等の動物性脂肪の外、植物の油は、西洋にては橄欖油を多く用ゐ、我國にては胡麻、支那にては落花生・榧・胡桃の油を用ゐる。胡麻油は白搾りは害なけれども、油を多く得んが爲に炒りて搾りたるもの、又は陳敗せるものは害あり。又菘子油或は棉實油を以て、本胡麻に代用することあり。是等は消化を害し下利を生ずるとあり。總じて油にてあげたる物は、日本人の如く米飯を食する者には宜しからず。

砂糖　砂糖は其種類に由て糖分を異にす。糖分の最も多きは棒砂糖にて、百分の九十八あり。和三盆は九十六、天光は八十六、黒砂糖（薩摩・大隅産）は僅に七十六だけ糖分にて、其他は交雜物なり。交雜物の多き砂糖中には糖虫の混じ居るものあり。此虫は衞生上害はなきも、是れにて其不潔なるを知るべし。砂糖は容易に腸内に吸收せらるれども、過量に用ゐる時は、胃中に脂肪酸類を生じ、いはゆる酸敗を起す。近來化學的製法に由て、サクカリンといふ物を製せり。是れは砂糖の二百八十倍の甘味を有す。今日は尚進んでツクケリン・ヅルシンなどの發明ありたり。

飴　飴の製法は麥芽を煎熬めて之に澱粉（もと）を混ずるに在り、而して其澱粉を混ぜざるを水飴といふ。堅糖には種々の物を混じたるなり。水飴は百分の七十弱の糖分あり。大に吸收宜しきものなれども、是れのみにて小兒の發育を計るには足らず。

蜜　蜜は糖中の結晶せざる部分にて、粗製の品に多し。蜂蜜は之に反して最も良き糖分なり。

◎東京帝國大學學生の學費計算

文科大學生某報知

小生は東京文科大學の一學生に候、小生の父は地方の一官吏に候而して小生のために毎月俸給の三分一を割くの苦を受けつゝあるものに候、毎月の定額のみにても一小官吏には餘りに苦しき負擔に候、況して此の定額の外毎年歸省の旅費往復凡そ拾六圓を要すべく、又教科書幷に衣服類に又拾五六圓を要すべく候へば之等を合算し其他臨時の費用を以てすれば少くも一月平均廿五圓を要すべく候

さて〳〵なるまじきは小官吏、持つまじきものは男の子に候、記者足下以て如何となす。

學費收入高　一金貳拾圓也
支出合計高　一金貳拾圓也

内譯

- 宿拂　金九圓八拾五錢
  - 内　食料　金六圓五拾錢
  - 間代　金貳圓五拾錢
  - 炭油　金八拾五錢
- 授業料　金貳圓五拾錢
- 交際費　金貳圓拾五錢
  - 内　飲食物　金壹圓五拾錢
  - 會費其他　金六拾五錢
- 書籍新聞雜誌費　金壹圓五拾錢
- 雜費　金四圓
  - 内　湯、散髮　金五拾錢
  - 郵便切手　金四拾五錢
  - 日用雜品　金貳圓
  - 見料、牌、馬車賃　金參拾五錢
  - 飲食物　金七拾錢

◎日本女子大學校學生の學費計算

日本女子大學校内　某子報知

左の計算書は私の同寮内一組の一人分にて候まゝ、人々により多少の差異はまぬかれざれども、彼是斟酌せし一ヶ月分の計算に御座候。尚左表の外、別科又は随意科目を實習するものは、その外壹圓以上を要し候。又化粧装飾品に大費ある方々も隨分見受け候も、實行せぬ身には相わからず候かしこ。

一金拾參圓也　學費收入
一金拾貳圓八拾七錢也　支出高

内

- 授業料及校費　金參圓
- 食料及會費　金七圓
- 親睦會費　金拾錢
- 郵友會費　金參拾錢
- 車代　金貳拾錢
- 小包郵便代　金參拾錢
- 髮洗粉　金貳錢
- ペン先　金參錢
- 卷紙　金拾八錢
- 運動會費　金五錢
- 罫紙　金參錢
- 切手　金參錢
- 洗濯石鹼　金五錢
- 歯磨粉　金參錢
- 短冊二枚　金五錢
- 國文大觀約代　金壹圓五拾錢

殘高拾參錢也

◎各地特殊の料理（寄稿を募る）

（二二）精進薩摩　岡山縣　會員某

前々號に尾の道の姉君より薩摩飯報知せられたるに由り、私も心つき候まゝ薩摩飯の精進のものを御報知申上候

先づ胡麻を熬りて擂り置き、味噌を鍋の蓋にぬりつけて燒きたるを、胡麻にすりまぜ、胡麻味噌をつくりおくなり。又蒟蒻を細く短冊に切り、堅魚節のだし醤油味淋にて煮あげ、薄く味をつけたるを、前にこしらへ置きたる胡麻味噌に混ぜ、更に湯を少し注ぎてそれをゆるめ、（漸く箸にてはさめる位にゆるめるにて、ドロ〳〵してはよろしからず）熱き飯を茶碗に盛りたる上に、適宜にかけて用ゐるなり。藥味は好みに由り何にてもよし、存外に味ひ宜しきものなり。但し蒟蒻の代りに、松茸を用ゐれば一層美味なり、罐詰の松茸にても差支へなし。

編者曰　薩摩飯につき前號掲載後、徳島縣愛媛縣よりも報知ありたれど、重複に付き遺憾ながら省きぬ。唯大同の中小異あり、徳島よりの報には魚と味噌とすりまぜ、ゆるめたる後に鍋に入れ火にかけ、三度位ふかすべしとあり。愛媛よりの報には味噌をゆるめるに、水にてゆるめず、魚をやきて肉をむしりたるあとの骨を煮出して、其汁にてゆるめるとあり、參考の爲に附記す。

（二三）鯔の丸鮨　大分縣宇佐郡某女報知

鯔の新らしいのを背開きにしまして、骨と眼玉とを除き（小骨は毛拔でぬき鱗は鋏でつみます）、能々洗ひ、酢に鹽を少々入れ浸して置きます。さて飯をたきまして、酢に鹽・砂糖をよき程に入れ、能くまぜてさまします。其飯を握り、鯔にはらませ、切溜につめ、暫く壓し置き、八分位の厚さに切り客に出します。

此料理は宇佐郡地方特殊の物の樣に聞きました。其起原はしかと存じませんが、當地方では酒宴のをり專ら用ゐます。

◎奥村刀自遊説日記

四月十八日　午后一時より、京都下京區松原通り烏丸因幡藥師堂に於て開會、聽衆六七拾名に過ぎざりしかども二時間の大演説、一同大に感激したり。同四時閉會、小泉幹事專ら幹旋せられたり。

同　十九日　京都師範學校女子部教員河島末菊子（支部評議員）の周旋により、午后六時より同校に於て開會す。聽衆は專ら同校生徒（男子三百名 女子百八十余名）にて同十時閉會せり。

同　二十日　午後七時より上京區間の町通竹屋町下る竹間小學校にて開會、聽衆約五百名、同九時半閉會、本日は午後一時より支部に於て幹事會を開き、大森幹事長始め各幹事八名會合、大會の始末に關し協議せられたり。

同　廿一日　午前八時京都支部を出て、九時十三分七條驛より發車、十一時大坂市なる廣岡評議員の邸に入る。午後二時より大坂支部大會に臨む。來會者約一千名にして盛會なりき。當日の盛況は之を別項にかゝげたり。

同　廿二日　廣岡松本鶴原三評議員及び土居鴻池の幹事諸氏の案内にて博覽會を觀る。

同　廿三日　午後一時半廣岡邸を發す、難波停車場迄廣岡評議員見送らる。二時半發車、五時半和歌山停車場に着す、椿幹事長樺山副幹事長以下九鬼折原加藤櫻井橘の各幹事折原參事官楠見縣屬山本市書記外有志家數名出迎はれ、市の有力家橘吉右衞門氏邸に入る。知事及び書記官訪問せられ諸般の協議をなす。

同　廿四日　午前八時より茨木中將小島少將瀧本大佐中村陸軍會計監督椿知事加藤市長樺山書記官櫻井警部長の諸氏を訪問す。午後二時より縣會議事堂に於て開會、聽衆は官吏及び同夫人有志者夫人師範學校男女生徒等約一千名、即時五十餘名の入會者あり、同五時閉會。幹事長各幹事は勿論市長參事官等も斡旋勸誘せられたり。

同　廿五日　午前十時より縣會議事堂に開會す。聽衆約千三百名、即時入會者數十名あり、午後一時閉會。昨今兩日を以て會員百五十餘名を增加せりと聞く。幹事長以下の幹旋前日の如し。午後三時橘邸を發し役員一同と共に紀三井寺に參詣し和歌浦妹脊山の某樓に於ける慰勞會の招に應ず。椿幹事長以下有志者の歡待を受けたり。

◉京阪支部大會餘聞

◉京都支部大會　當日の會計係たりし幹事たちは式後……深更までかゝりて會計を整理せら……

為、京都御所に御駐輦の御都合なれば、去月九日十日先以て京都へ行幸啓あり、兩日共、京都支部の會員方ま……

……も各地の親戚知人など來客ありて、婦人方は多忙……たるもあり。殊に博覽會の爲に、何れの家にて……

服部文子　藤田幸子（以上芝區幹事總代）

◎正誤　前號……内氏の總裁殿下御旅行記事中會長

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◉評議員會　本月中の評議員會は左の日割の通り開會す。

五月十三日（第二水曜日）第四の組
五月二十日（第三水曜日）第五の組
五月二十七日（第四水曜日）第一の組

◉評議員會の景況　四月二十二日第一組評議員會に出席せられたるは、一條、谷兩理事始め淸浦鍒子、島田信子、仁杉歌子、濱尾作子、松平久子、神山万佐子、佐藤猶子、阪井春子の各評議員諸氏なり。又四月廿九日第二組評議員會に出席せられたるは、近衞理事始め松平須磨子、鳩山春子、中山幸子神山万佐子の各評議員にて種々會務の協議ありたり。

◉神奈川支部發會式　本月廿四日（日曜）午後三時より、神奈川縣支部大會を横濱市横濱小學校內に於て開く筈なり。當日は總裁閑院宮妃殿下も御臨場あらせられ、會長、理事、評議員方も列席せらるゝ都合なるが、今同會に於ける殿下奉迎の順序及開會の次第を記さんに、幹事長又は副幹事長は新橋にて奉迎し午後一時十五分新橋御發車、同二時十一分横濱停車場御着、幹事一同玆にて奉迎、直に横濱小學校內に御參着御休憩、會員は御休憩所前に於て奉迎、午後三時式場に御臺臨の御豫定なり。尙式の順序は（一）午後一時三十分諸員休憩所に參集（二）午後二時三十分諸員式場に整列（三）總裁殿下御臺臨（諸員敬禮）（四）幹事長支部發會式を兼第一回總會を開く旨を告く（五）幹事長會員表を捧呈す（六）總裁殿下御諭旨（七）幹事長答詞（八）副幹事長事務報告（九）本會出張員演說（十）會員總代祝詞（十一）有志者祝詞（十二）幹事長式の終りを告く（十三）總裁殿下御退場（十四）諸員退場（四時終了の見込）（十五）餘興（四時より開始）殿下御歸京奉送の順序は奉迎の時に同、時間は午後五時或は同五時三十分御發車の御豫定なり。尙同縣下の會員は極めて多數にて、本部よりも職員の方々出張せらるゝ事なれば當日は定めて盛會なるべし。

◉宮城縣支部第一總會　本會宮城縣支部にては、第一回總會を去にし三月廿日仙臺市北一番町元赤十字社支部內に於て開きたるが、今其景況を記さんに、午後二時半會員一同着席、平岡副幹事長開會の辭を陳べ、錦戸副幹事長事務の報告をなし、來賓中平岡書記官石橋參謀長の祝詞演說あり、嶺幹事會員總代として答辭を陳べ、夫れより餘興に移り、同地滯在米國人の喇叭の吹奏あり、茶菓の饗應に移り、席上平岡錦戸兩副幹事長交々熱心なる擴張演說をなし、一同撮影し、午後四時半散會したるが、來會者は頗る多數にて、中々の盛會なりしと云ふ。

◉大阪支部總會の詳況　去にし四月廿一日を以て前號欄外にもよほし同總會の概況はとりあへず報じ置きたるが、再び詳細にものして、會員方に其盛況を報ずべし。會場は中の島公園なる公會堂（此の公會堂はこたび博覽會協贊會が建築せしにて、大阪ホテル住友圖書館等と相並びて輪奐たる建物なり、優に三千人を容るべしとぞ聞く）を以て之に充て門前に大綠門をたて、祝總會の文字を花もてしつらひたる額面をかゝげ、赤地に白く愛國婦人會大阪支部といふ文字を染めぬきたる會旗を交叉し門內の左右に侍女控所馬車人車置場及び堂脊に茶菓所を設けたり。玄關には、評議員幹事方並ひ立ちて來會者を迎へられぬ、堂の內外大小の各國旗を縱横につるし、正面なる上段を總裁殿下の御坐所とし、大挿花の位置よくおかれたるなど裝飾いとうるはし。やがて二時半頃數發の烟花をうちあぐると共に、總裁殿下御着あり、劉亮たる奏樂の中に廣岡評議員の先導にて、御川係（花房男爵世嗣夫人）を從へさせ樓上なる御休憩室に入らせらる、次て役員達に拜謁を賜ひそれより君が代の吹奏中に會場なる御座所に渡らせらる、藤田幹事（とみ子）開會の旨を上申し併せて開會の辭を述べ了るや、總裁殿下より御諭旨を賜はる、ついて松本みつ子幹事總代として答辭を述べ、次に鶴原市長の祝詞（菅沼助役代讀）會員總代土居よし子の祝辭、奥村女史の演說あり、藤田幹事閉會を告げ、奏樂の中に總裁殿下御退場暫時御休憩の後、樓上なる設けの席に御着坐ありて、當日の餘興筑前琵琶七檢校の琴合奏及び狂言等御覽遊ばされ、四時二十分頃烟花と奏樂の間に奉送の役員達に御會釋ありて御馬車に召させ給ひぬ當日は幸に雨も晴れ、來會者殆んど壹千名に及びたり。其中重なる人々は廣岡・鴻池・松本・土居・菊池・鶴原の各評議員高崎幹事長を始め、支部幹事數十名大阪府各郡長府廳市役所職員新聞記者等にて、其他兵庫支部より服部幹事長田中薫丘氏、東京よりは跡見評議員、新潟よりは書記官田中坤六氏秋山縣屬等他府縣よりの來會者もありき、尙ほ當日の御諭旨答詞祝辭を左にかゝぐ。

御諭旨

愛國婦人會大阪支部會員諸氏は夙に本會の趣旨を贊成して其擴張に勉めたるの結果漸く隆盛に赴くに至りしは智惠子の深く喜ぶ處なり玆に總會に臨み諸氏の今後益其志を堅うして撓まず本會の爲に盡さんことを望む　（前號欄外再錄）

答詞

こたび愛國婦人會大阪支部にてはしめの總會を開くにあたり殿下の御臨場を辱うし加ふるにたふとき御諭旨をさへ賜りしは當支部のいとも光榮として光子等の喜び何にたとへ侍るべき此會の成立ちしより此方日數なほ淺けれと殿下の御餘光により日に月にいや榮えにさかえ行くは誠にあり難き極みにこそ去れば會員たるものは力のあらん限り此會の務をおしひろめて御國の爲に逝しいくさ人等を慰めあるは其遺族の人々を扶持するの助ともなりて御諭旨の片端に答へまつることを勉め侍るになん

愛國婦人會大阪支部幹事總代
松本光子

日淸の役拳匪の亂我軍行て北淸の野に在り將校士卒異域に戰死せし者其數尠なからす是れ忠死也是れ國光を發揚したる戰死也然れ共其遺族たる鰥寡孤獨は如何國法救助の道ありと雖も而も我同胞にして渠等を憐むの情なくんば實に君子國たるに背むく者多し愛國婦人會の突如として起る寔に偶然に非らさるなり夫慈愛は婦人の德なりと雖徃々一家の外に出てす今や本會の成ると共に婦德を廣く世に及ほすもの所謂博愛也博愛は仁也此仁心あるに到りて婦德始めて完きを得たり誠に喜ふべく賀すべきなり本日此發會式のあるに當り聊所感を述べて祝詞に代ふと云爾

大阪市長　鶴原定吉

我愛國婦人會の目的は我國を守る軍人等をして後顧の憾みなからしめん爲にしあればこの大日本に住める人々の爭てか之を贊成せざるべきやは去れど御國の廣き蒼生のしげき普くその趣旨を知りえざらんこそ遺憾なれ今や本會は賢富に富ませらるゝ殿下を戴き總裁と崇めまつりたれば御光の餘りをうけて一層の光輝をそへ鄙の隈にもおし致るまで本會を知るに至りしは誠に喜しきのかぎりになん當支部も組織日淺きに拘はらず會務次第に發達して日々に榮えゆきこゝに第一回の總會を開くに及びしは偏に總裁殿下の御庇蔭のたまものと何れも深く感激しまゐらせて今より後は長き御諭旨を服膺して會員互に相勵み相奬みて本會のために愈々盡し侍らん爰に支部會員一同に代りよろこびをのべて祝詞とす

土居芳子

◉故會員小林しま子　本紙の愛讀者の念頭には、定めて大なる記憶の存するならん。そは昨年十月發行の本紙第十五號に於て記載したる、長野市松代町の小林しま子が製糸場の女工たる身を以て本會に同情を寄せ、其將に死せんとするに當り、本會々費の滯納を憂ひ、遺言して之を納付せしめ、且つその妹にも入會を勸誘して死亡したる美談なり。此篤志なる行爲は、はしなくも本會職員方の感激する處となり、種々彼女の身元を取調べし處一家貧困にして墓表さへ建つるの資なき由を探知し、身貧賤に生まれながら、其志の高潔にして然諾を重んじたると婦人社界の師表となすも耻からざるものなれば一片の石碑を建て永く其名を後世に傳へんとの議起り、島津公爵夫人を始め、多數の貴婦人奮ツて財寶を喜捨し、松代町の片傍り此篤志なる婦人の永眠せる土地に、新らしき紀念の石碑を愈々建設するの運びに至りしと云ふ

●友人の結婚を祝ふ

万代にいろもかはらす榮えなむこかれしろかれ祝ひ重ねて　福岡　帆足親子
ひな鶴のこゑぞまたるゝ相生のまつの榮えはもとよりにして　岡山　稻葉八千代子
上もなきまなひの卒へし君のまた今日のみいはひきくぞうれしき　神奈川　寺田光子
色もかもきよきふたきのわかさくらくもにやちよの春をしむらん　岡山　淺沼てふ子
あらたなる君かつま屋にれかはくはちよの春風たえずふかなん　長崎　高木さか子
相生の二葉の松の栄さへ杖つくまても榮えませ君　和歌山　油月子
花わらひ鳥もうたひて末遠ききみかちきりな祝ふけるかな　兵庫　吉田梅子
家の風ふきおこすへき若松もやかて生ひ出ん君かそのふに　宮崎　四屆保子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮廷錄事

◉還幸御日取　天皇陛下には既に大阪博覽會御覽濟みと爲りたるを以て十日京都御發輦靜岡御一泊翌十一日宮城還幸の旨仰出されたり。尚、議會開院式は來る十二日頃御擧行あらせらるべしと承はる。又皇后陛下に於かせられても、同日に御發輿あらせらるゝ旨仰出されたり。

◉皇太子殿下關西行啓　皇太子殿下には同妃殿下御同伴にて、本月末頃東京御出發、京阪地方に行啓相成るべき御內定なる由

◉皇孫御近狀　迪宮・淳宮兩殿下とも極めて御健勝にて、御成育相成り、迪宮殿下は昨年十一月御避寒の前より少しづゝ御歩を覺えさせられ、昨今は御運動も十分なるより御肉附もよく御言も續きたる事は尚むづかしけれど單語は御話の事少からず。時々は淳宮殿下に御揶揄などあそばされ、御兄弟の間柄いと御親密に拜せらるゝ由。又淳宮殿下は既に自由に御匍ひ遊ばさるゝ程にて御體は極めて御肥滿あらせられ、全體に於て御兄君より大きやかにて、數年の後には却て御身長け高きに至らせらるゝやも知るべからずとなり。

◉本年の御避暑地　兩殿下の御避暑には東京近地に別に適當の御場所なき上、富美宮、泰宮兩內親王殿下及前年迪宮殿下の御經驗に依り、本年の夏も矢張り函根宮の下に御避暑あらせらるゝ御豫定なり。

◉迪宮御殿新設　迪宮殿下の御殿は霞ケ關なる現有栖川宮御本邸の三年町新築邸に移轉後同所に新設相成るべく、右は殿下の滿七歲に達せさせられ、學習院御入學の前を以て行はせらるべき筈なるも、萬一有栖川宮新築邸の竣工これなきに於ては、赤阪新築の東宮御所來る四十年迄に落成の上、御移轉の筈なるを以て、當分迪宮殿下の御殿は其後青山御所に置かせらるゝ事となるべしと云ふ。

◎婦人論梗概

◉女學生鉛白禁止　報知記者は近時學校の規則頗る嚴重にして、干涉主義の流行するにも拘はらず、特に重要なる女學生の鉛白禁止の件なきは何故ぞ。鉛白は第一衞生上有害なり、即ち排泄管口を閉鎖し、鉛毒に中てられて皮膚を損傷す。第二道德上有害なり、即ち天眞を欺ひ人を欺くものなり。第三風俗上有害なり、即ち風俗華美に傾き、墮落するものあるに至る。云々と論せし處、鳩山春子女史は反對論者として說いて曰く、近來女學生の服裝を制限し、或は頭髮の結び方に迄干涉するか如きは、個人の自由意思に迄干涉するものにて、不法の事なり。如此婦人に對する制限著しきに至らば、女學勃興の流勢を防害するに至るべし。況や鉛白は歐洲の婦人と雖、盛に之を用ゐ、獨り日本婦人のみ之を用ゐるにあらず。もと衞生上よりの立論は、其程度によるものにて鉛白の如きは道德上風俗上何れも左迄禁ずべき必要なし。云々、矢島楫子女史は贊成論者にして、其說に曰く、西洋婦人が用ゐればとて日本婦人亦之を用ゐざるべからざるの理なし。殊に衞生上有害なるは万人の認むる處にして、其量の多少は問ふ處にあらず。況や女子は此害を忍んで迄も面貌の美を保つべき必要なし。干涉主義はもとより之を好まざれども禁止の程度に近かしむる事を要す。云々、

◉中島德藏氏の家庭と倫理　婦人を導くに理窟を以てするは無益にして思想上又は感情上より之を導くの勝れるに如かず。即ち女大學或は女今川流を以て可なりとす。母たるもの若し道德堅固ならば不言不語の間に感化を其子に及すものなり。故に同情或は模倣との點より進むを以て宜しとす。家庭は唯其圓滿なるのみを以ては善良なる家庭と稱し難し、必ず兒童を相應に修養せしむるだけの勢力なかるべからず。故に獨乙國等には要女學校の設立ありて其敎授は十分些細の點に關して之を敎導する制度なり。又嫁を相互交換して之を敎育する法あり。即ち親友の嫁と自分の嫁とを相互に下女代りに使役して以て家政を實習せしむる仕組なり。要するに自分は、女大學的敎育の普及を望むものなり。（婦人界十二號）

◉時事新報記者の離婚の訴訟　我國に離婚沙汰の多きは、心あるもの丶眉を顰むる所なるが、去る三十二年中に於ける離婚の統計を見るに六万余の多數にして、其內訴訟となりしものは夫よりのもの二十七件、妻よりのもの百四十件、合せて百六十件にて、我國に於て專ら行はるゝは協議上の離婚其多數を占む。此原因は民法の運用を知らざる爲なるべきも、重なる原由は我國に於ける男尊女卑の陋習に在りりと云はざる可からず。夫權盛んにして法律の力を借るを要せず、非理不正に協議上の離婚行はれ、夫よりの申出は主權の命令の如く心得て、之に服從するの結果に外ならざるべし。之に反して妻より離婚を請求する事は實に容易の事にあらずして、訴訟を起すにあらざれば離婚する能はず。故に統計上にても、妻より起したるもの夫より起したるものに超過する所以なり。要するに婚姻に關しては男女平等に權利を有し、正當の理由だにあらば、協議上の離婚を拒絕し得るは勿論、妻よりしても離婚訴訟を起す事を得るを以て、万一離婚沙汰の如き事に際會せば、爾後婦人も法律の保護に依賴して、男子の不正を防禦すべし。

雜報

◉東京音樂學校　同校にては去にし日春期音樂會を催したるが、當日は常宮・周宮・富美宮・泰宮の四內親王殿下も御臨場あらせられ、內外貴顯紳士數百名來會せられたるが、職員の和洋音樂數番及びコーラスもありたりとぞ。

◉女子高等師範學校　新築せし同校の體操科は主として新歸朝者井口あくり孃の受持ちにて、日々敎授せるよしなるが、從來の女子には授けし事なき器械體操兵式體操の類も敎授する趣きなり。尚同校は男子部の方小石川新築校舍に移轉後は、舊校舍を敎授用に供すべき筈のよし。且つ同校附屬高等女學校に於ては今十日春期運動會を開く趣きなり。

◉女子美術學校　同校に於ては此程二人の支那婦人入學し西洋畫を研究する趣きなるが、兩人共に同校の寄宿舍に入り、日本婦人と起居を同うして學習するよし。

◉日本女子大學校　同校本科入學生は家政科志願者最も多數にして、附屬高等女學校の卒業生七十餘名も本科に入學せし趣きにて、目下新學期に授業を始めつゝあるが、校室の外音樂室雨中體操場をも新築に着手せりと云ふ。且つ同校第二週年の紀念日は去月廿日に當りしを以て、同日は紀念の爲め、校內植樹を行ひたるよし。

◉共立女子職業學校校友會　神田區一ツ橋通町の同校は去にし二日三日の兩日校友會を催し各科の授業及び製品陳列場を設けて父兄等に觀覽せしめたり階上の各室には裁縫刺繡編物圖畫の各科、階下には造花圖畫割烹の各科に區分し五百餘名の生徒各其課業に營々たり製品陳列場の造花刺繡の中目立ちて美しきもの數十點あり早くも外國婦人等の買取る所となれり。

◉家庭學校　北豐島郡巢鴨村の同校は名は家庭學校なるも婦人の家庭的敎育を授くる學校には非ずして、不良少年感化を目的とし、篤志家留岡幸助氏の設立し居る學校なるが、昨年夏第一家族舍燒失したるを以て、氏は其後苦心經營の結果漸く家族舍一棟禮拜堂及び敎場一棟を新築し此程落成を告けたるを以て去にし三日其捧堂式を執行したり。

◉婦人衞生會總會　同會は去にし二日午後一時より小石川なる後樂園涵德亭に於て總會を兼ね春季懇親會を開きたるが、今其景況を記さんに、午後二時半會員着席し事務會計の報告あり、後ち役員改撰の結果鳩山春子・羽田三緒子・岡田德子・高木鐐子・松平芳子・三浦敎子・山本多穗子の諸夫人選ばれて幹事となられ、餘興には蓄音器及講談あり。來會者には粟餅茶菓來賓には立食の饗應ありたり。當日は連日の雨俄かに晴れ渡り、綠したゝる若葉のにほふ好天氣なりしかば來會者も非常に多く、特に同會總裁たる東伏見宮妃殿下も御臨場あらせられ、會員の外家族同伴者多く、其數凡そ五六百人に達し、廣き庭園の東西に令孃たちの三々五々相伴ひ蓮華草摘みて遊ばるゝなど近頃のどけき集會なりき。

◉癸卯園遊會の景況　同會の催しについては屢々報道せしが、愈々去月廿五廿六の兩日を以て擧行せり。來會者は兩日共非常の多數にて、前日には獨乙の皇族も臨場せられたる程にて、一般に評判よく、大に成功したりとぞ。今二日間に集まりし金額を聞くに收入總高九千三百八十三圓にして諸費用二千三百六十八圓八十三錢四厘を差引殘金七千十四圓十六錢六厘を得たるを以て內六千五百圓を帝國婦人協會附屬學校寄宿舍建築費に贈與し、又五百圓は式場借入費として水交社に寄附する都合なりと云ふ。

◉大日本婦人敎育會懇親會　同會は去にし六日芝二本榎毛利男爵邸に於て開會文學士下田次郎氏の女子敎育談あり餘興には講談もありいと盛會なりきと云ふ。

◉割烹の大家赤堀翁の賀筵　割烹を多くの婦人に敎授して、食物調理の上に進步をあらはしたる斯道の大家赤堀峯翁の米壽を祝せんため、門弟知人相集まり去にし三日日本橋俱樂部に於て賀筵を張りしが、來會者約四百名非常に盛會なりしと云ふ。

◉獨乙に於ける日本學生の母　英國に於ける我水兵の母たるマクリン孃の擧を詳細報道せしが、獨乙伯林にも亦我日本學生の母として尊敬せらるゝ婦人あり。名をラーゲル、ストレームと云ひ本年八十歲の高齡に達したるが、日本學生を愛する事甚だしく千八百六十八年以來此に三十六年の長年月を獨逸遊學の我國人の爲めに盡し、婦人の住宅には年中我國人の寓居するもの絕ゆる時なく、其深切にして世話の行屆く事親身の母も及ばぬ程にて、一度同婦人の好意を受し者は、何人も其慈愛に感ぜざるものなきよし。さても、來る六月十日は第八十回の誕辰に當るを以て同地在留の日本人相會して盛んなる祝意を表する計畫あるよし。

◉交詢

愛國婦人二十八號紙上滋賀の部の投稿記事中御尋ねの女先生は四月初滋賀縣師範學校より東京府第一高等女學校へ御轉任になりましたので只今は三年級ろの組即ち私共の級の主任ていらつしやいます御住所は本郷區切通坂町十九番地石野先生と申方て御坐いますしかゝる先生に御敎へをうけし日もいまだ淺う御坐いますが過日の記事を拜讀致し一同御したひ申して居ります先は御報まてかしこ

東京府第一高等女學校三年級ろの組生徒より

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

理學博士三好學先生新著

博物叢書 植物の感覺

精巧口繪入 菊判頗美本 定價卅五錢 郵税金四錢

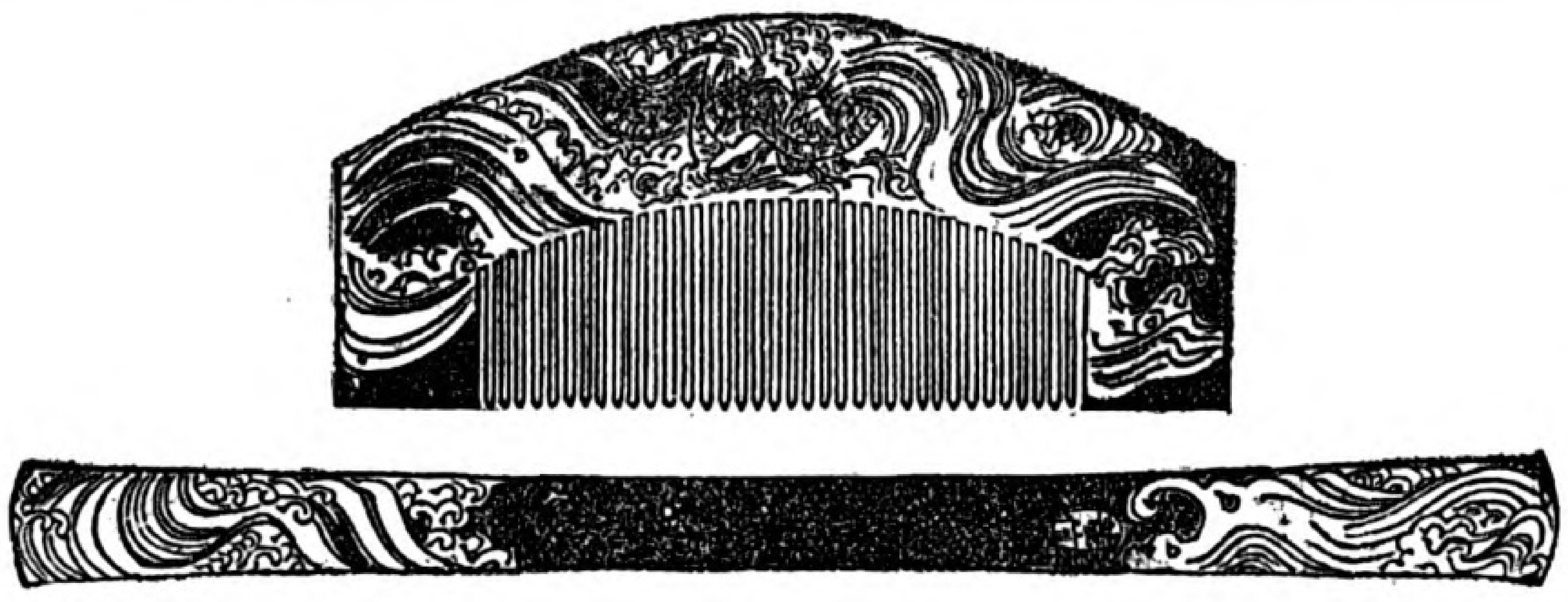
博物叢書は、一般讀書界の科學智識の要求に應ぜんが爲に、特に石川三好兩先生に請うて自然界に於る最も興味ある事柄を擇み、何人にも解し得るやう、又何人にも好んで讀ましむるやう、平易明快なる言文一致體を以て綴りたる者也。全部廿四冊、決して浩瀚ならずとせず、その材料の豐富にして講述の多趣味なるは言を俟たず。蓋し通俗にして典據すべき方今唯一の博物叢書たるを信ず

新刊　理學博士石川千代松先生著

博物叢書第二篇 動物社會 全一冊(近刊)

發兌元 東京神田裏神保町 富山房

美術蒔繪櫛笄



柳の髮のうるはしきに眺めを添ゆる月ならで四季を選まぬ櫛笄は花紅葉いろ／＼候へど今般新製致せしは黒鼈甲又は四方張を以て流行の中京形に造り是に諸大家の意匠を凝せし名花山水其他の模樣を蒔繪せしもの又は奇貝寶玉類を彫刻嵌入せし佳麗の品なれば世の貴婦人方は流行に後れ給はぬうち御注文あらんことを

黒鼈甲臺一組價 十圓十三圓十五圓 廿圓以上五十圓迄

四方張臺一組價 三圓五圓六圓八圓 十圓以上十三圓迄

東京市京橋區尾張町 白牡丹本店 松田幸治郎 電話新橋五百五十一番

文學博士黒川眞頼閲 飯田武郷閲弁に序
文學士芳賀矢一序 黒川眞道序 松平静講述

枕の草紙詳解

全三冊正價各冊五十錢 郵税廿錢

國文學の註釋多しと雖も未だ枕の草紙の註釋を見ず本書は斯道に精しき松平静先生の手に成り更に二大先生の説を以て補ふ其解釋文は平易にして流暢丁寧一切にして餘す所なし國文學に初めて志す者と雖も一讀して直に此草紙の妙味を味ふ事を得べし敢て贅せず江湖の諸彥乞ふ本書を繙きて本店の言の虚ならざることを知り賜はらんことを

●紫式部日記講義 三木氏著 價三十錢 郵税六錢

發行所 神田鍛冶町 電本九四九 誠之堂

婦人ふるちの藥

定價一貼五錢三貼十四錢五貼廿三錢七貼三十二錢

一此藥劑は婦人血の道一切の藥にして清血を補ひ古血をめぐらすとかんようにして少しも脾胃にさわることなく血を下すにてはなく血をみちびき通ずる藥なり第一月々めぐり少き婦人はたツぷりと見るなり數年古血滯りある婦人は其のふるちのかたまり殘らずつうずるなり●南まけづつう目まひによし○ふるちとゝこほり○ながち○しらち○手あしゝびれ○血しやく○ひゑるときさしこみいたむに功あり○むねこしいたみ○つぎむしによし○さんごあとはらのいたみはいかほどつよきいたみにても一ト包にて功あり○さんごわるちのとどこほりに用ひて功あり○猶能書にくわしくしるす

本家製藥所 齒磨店 伊勢吉本店 東京市本所區東兩國横綱町一丁目 (電話浪花二一七五八)

皮膚病專門醫坂本李堂氏著

婦美顔法 一名美貌之秘訣

正價金四拾錢 郵券一割增 郵税金六錢

著者多年ノ實驗ニ照シ最モ容易ニシテ何人ニモ行ヒ得可キ美貌ノ秘訣ヲ說キ且ツ美貌ノ要素ハ健康ト順良ナル精神ニアル事ヲ詳說セル者ナレハ風敎上及衞生上大ニ有益ナル珍書ナリ冀クハ諸氏本書ヲ繙ヒテ美ハ倍々其美ヲ表ハシ醜亦此ノ方法ヲ盡シテ其容貌ヲ艷麗ナラシメンコトヲ

發兌元 東京京橋區弓町 松村三松堂 電話新橋三一七三番

目 牛ゑり帯揚類 縮緬肩掛數多 縫模樣絞り形

○絞り形染模樣帶片側○絞り形兵兒帶地○帛紗地
○染形しぼり形帶揚○新橋〆下締○染形け出し
○雀形○ゑり治まげ入 特製 おろし小賣

高等洗粉 チエリー バイオレット入 發賣元本舗 ゑり治

第五回博覽會御觀覽の際は弊店出品に一覽を乞ふ

拙店出品御買約品は閉會後東京府下市内御屆仕候

新橋竹川町十二番地 電話新橋二千二十七番

婦人最良藥

子宮病血の道

產前、產後の諸症に種々の藥を用ゐて其効なく久しく病床に苦しむ人は本劑を試みよ

●如何なる難病も二三週間に全治す

中將湯

●詳しき効能は大廣告の時御注目ありたし

定價 一日七錢五厘、三日廿錢、一週四十五錢 二週八十五錢、三週り一圓二十五錢

●本舗へ御注文の方は病人の容躰御申込あれ

本舗 東京日本橋通四丁目 津村順天堂 大阪堺筋鹽町北入 津村順天堂

中將湯は全國各藥店にあり

帝國貯蓄銀行 銀座一丁目河岸通り (電話新橋八一大番)

本郷支店 本郷一丁目
飯倉支店 飯倉ツ辻
赤坂支店 赤坂裏一丁目
四谷支店 四谷大通り
品川支店 南品川一丁目
横濱支店 横濱吉田町
神樂坂支店 牛込神樂坂
須田町支店 神田須田町
米澤町支店 兩國米澤町
吾妻橋支店 淺草雷門前
代理店 日本橋坂本町 田中銀行

●一錢以上何程にても御預り品も御預利に取扱申候
●毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

醫院案內

院長 醫學博士 榊順次郎

婦人科產科榊病院

東京麹町三番町卅三 電話番町三百九十五 診察午前 入院隨時

●水原產科婦人病院

○所在神田區猿樂町十二番地(電話本局千七百〇九番)○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立產婆學校の設あり

東京小兒科院 駿河臺西紅梅町(電話本局一九五五)

院長 醫博學士 瀨川昌耆

院長醫學博士 濱田玄達
副院長醫學士 辻高俊

東京產科婦人科病院 神田駿河臺袋町(電話本局壹四三四)

電話改正

●外科●皮膚病●ヂフテリア●痔疾●成形術●脚氣●內科

院長 醫學士 丸茂文良

丸茂病院 東京下谷區上野櫻木町 電下谷百十三 下谷仲徒町二 電下谷百十二 院長自宅診察午前九時限り

新療法開始

瘰癧 如何なる難患にても切開を要せずして治癒す

心臟病 不治性と斷念せし大患も轉地を要せずして衝心性根治療法を行ふ

脚氣 に陷りしものも忽ち全癒す

神田區三崎町三丁目一番地(西通廿五番) 千葉內科院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店

◎東京堂　神田區表神保町三番地

◎東海堂　京橋區銀座四丁目

㋯

東京日本橋區長谷川町
卸部　美濃磯本店

誂袴專門

小賣部　東京本郷區本郷五丁目十三番地
美濃磯支店

電話浪花二千八百五十九番
電信略号ミノイソ

電話本局千四百十五番

鉛毒を恐るゝお方は名譽白粉をお使なさい

前警察醫長山根正次先生無害證明

名譽白粉

本舗　東京芝南佐久間町一　藤村錦水
電話新橋三〇三八番

全國各學校徽章賞牌ハ弊店ノ獨專業ニ有之候
價格表ハ御報次第呈送ス

日本帝國徽章商會
東京市麹町區飯田町三丁目
電話番町八百五十七番

婦女新聞

毎週月曜

發行所

(定價)一部金三錢▲一ヶ月十二錢▲三ヶ月三十七錢▲半年七十二錢　全國無郵稅

東京市牛込區東五軒町四十一番地
(電話番町千三百六番)

婦女新聞社

五月十日第三週年の紀念號を發行せり

ヴワイヲレツト製
壽美花おしろい
伊勢吉　壽室製

定價　大瓶二十錢　小瓶十二錢

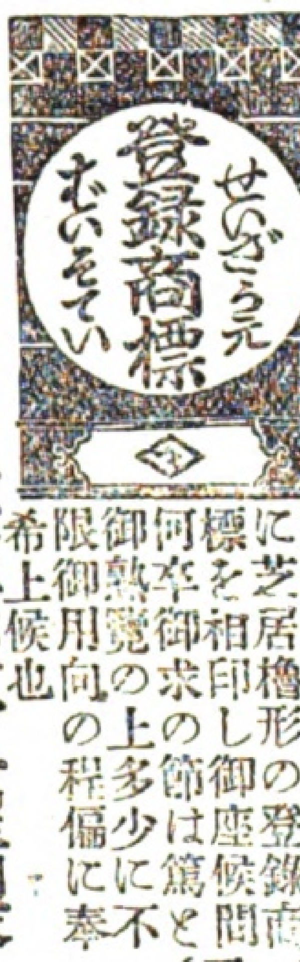
定價　大瓶廿五錢　中瓶十五錢　小瓶十錢

西洋色白くなる洗劑
壽美花あらひ粉
東兩國　伊勢吉　壽美花堂

定價綠藍紅彩蝶番ひ鑵詰六錢五厘ホツクス入三錢袋入壹

全國有名小間物店にあり

賣價　壹袋壹錢　罐詰五錢



此名題洗粉は皆々樣の御引立に依り益々盛大に相成難有仕合に奉存候然るに近來諸方に名題洗粉の摸造品澤山顯はれ候に付弊舖製造品には袋の裏面に芝居櫓形の登錄商標を相印し御座候間何卒御求の節は篤と御熟覽の上多少に不限御用向の程偏に奉希上候也

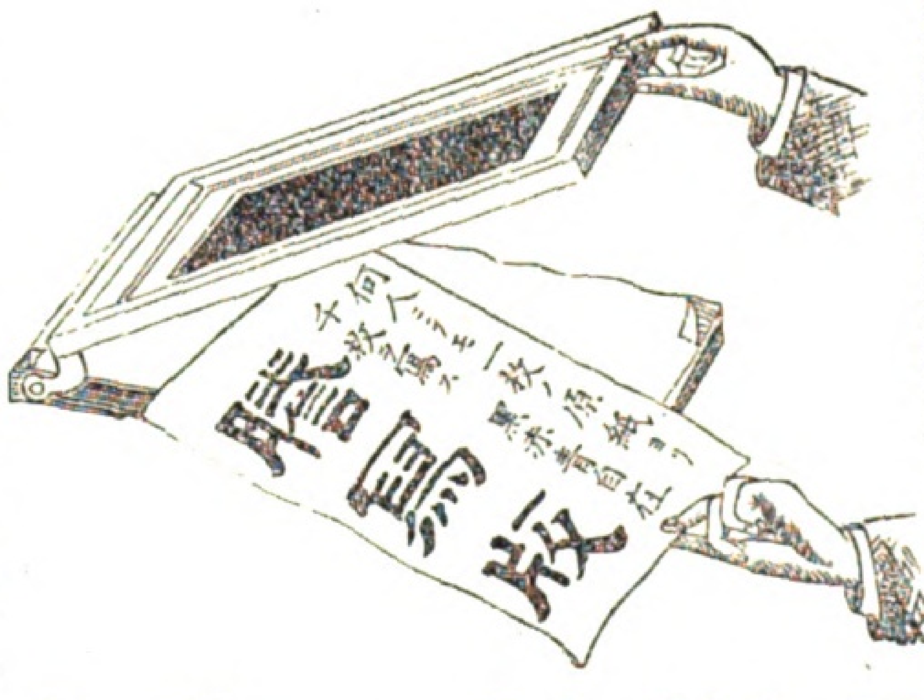
東京淺草區黑船町
梅素亭謹製

(電話下谷二百三十四番)

町村役場に限り特別販賣法あり

大改良謄寫版

水難救濟會員及び本誌購讀の御方に限り葉書にて御通知次第謄寫版定價表及仕用法共謄寫堂より無代にて進呈可申上候



今回佛國より原料を輸入し之に改良を加へ暑寒共變質なき完全なるルーラを發明したる事を本器拾餘萬の御使用者各位へ謹告仕候(明治三十四年九月)

◉賜進步賞牌　陸海軍御用　專賣特許　發明人　堀井新次郎

◉本器は何人にても熟練を要せず直に實用し得らる
◉一枚の原稿にて千枚以上を印刷し得、最も書畫隨意筆記の體を寫す
◉書體は眞草行隨意最も細字に適當なり
◉濃き墨色を主として赤青自在なり
◉本器製品番號十餘萬號に及べり以て確實多望なるを知られよ
◉解說書(和英二種有)及印刷見本御申越次第送呈す

東京神田區鍛治町三番地(電話特本局千〇八十四番)
販賣元　謄寫堂
大阪臨時出張所博覽會正門前東京府賣店內

內國特約　大阪　岡山　門司　名古屋　函館　仙臺　丸龜　福岡　橫濱　飯田　秋田　高知　富山　松江　其他

海外特約店は米、露、淸にあり

◎本誌の目的は婦人をして常識に富み、世態に通じ、以て婦人の人格を高めんとを期するに在り。されば、其所說、新に流れず、舊に泥まず、一宗一派に偏らず、而も世に阿りて、徒らに俗流の歡心を迎へず。◎本誌は、輕佻浮華の弊風を避けんが爲に、表紙口繪など、不要の裝飾を省きて、專ら記事の精選を努む。◎本誌に收錄する所は、普通婦人雜誌に掲載する文學上、家政上の記事のみに止めずして、●科學の大意を掲て、學理の槪念を得しめ、●法制理財等の事を平易に要を掲げて、諸書の涉獵に便ぜしめ、●和漢洋名著の綱要を掲げて、世態に通ぜしむ。◎本誌は、野卑なる言語及び劣等なる戀愛文字を避け、下品なる廣告を掲げず。◎本誌は、勤儉貯蓄の美風を奬勵せん爲に、毎號懸賞貯金切手を附して、其模範を示す。◎本誌讀者は、みやび會員となり、其歌、文を本會に送付して、名家の批評添削を受くることを得。

來る十五日發行の本誌には癸卯園遊會活人畫の寫眞拾二種を掲ぐ

毎月一回十五日發行毎號紙數百四十頁
定價拾五錢全國無遞送料
發行所　麹町區下二番町三十七番地
大日本女學會

商標　㊍

◉御袴地◉御仕立袴

學校用男女御徳用向特別品廉價に販賣仕裁縫は殊に叮嚀を旨とし高尚に仕立申候
弊店は古昔より袴專業に候

芝區日蔭町通
源助町十三番地
袴專業　住吉屋
犬飼吉兵衛
電話新橋二千百六十五番

明治三十六年五月十日發行(毎月十日廿五日二回)
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄
發行所　大日本女學會內

印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN